

第5章 地域別構想

5-1 地域区分の設定

地域別構想は、全体構想を受けて、各地域固有の課題について整備方針を定めるものです。

地域の区分は、「地域自治組織」ごととし、以下に示す13地域としました。

○十日町地域	○高山地域
○十日町西部地域	○十日町南地域
○中条飛渡地域	○大井田地域
○吉田地域	○下条地域
○水沢地域	○川西地域
○中里地域	○松代地域
○松之山地域	



5-2 各地域の構想

(1) 十日町地域

1) 地域の現況と課題

① 概況

○十日町地域は、JR飯山線・ほくほく線十日町駅東側やしんざ駅を中心に市街地が形成された本市の玄関口となる地域です。

○地域内を国道117号、JR飯山線が南北に並行しているほか、主要地方道十日町六日町線、ほくほく線が東西方向に通っています。

○織物等の各種産業や地域住民の日常生活を支える商業など、本市の経済活動の中心地です。

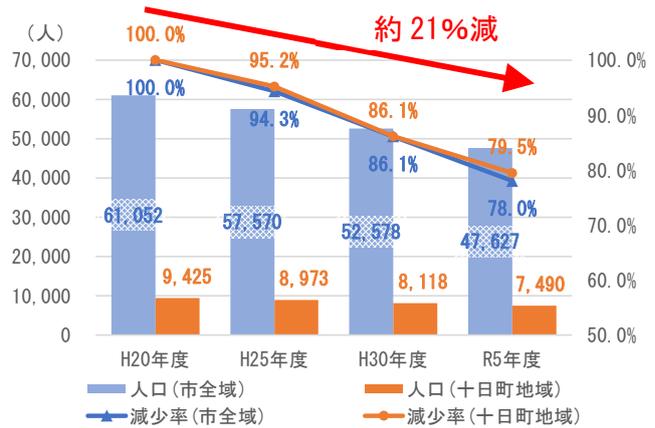
○「道の駅クロスステン十日町」、「越後妻有交流館」、「越後妻有文化ホール段十ろう」等が立地しており、本市の商業、文化、情報発信の拠点となっています。



② 人口

○十日町地域の総人口は、15年間で約21%（約1,940人）減少していますが、市全域の人口減少率（-22%）よりやや緩やかな減少となっています。

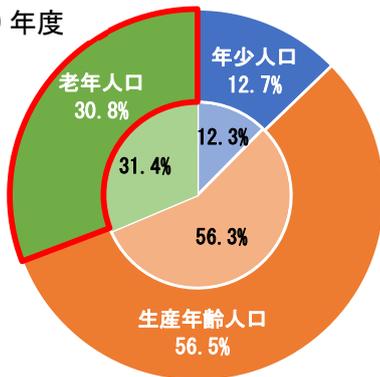
○十日町地域の年齢3区分構成割合については、少子高齢化が進行しており、特に、老年人口の割合は、市全域の老年人口の割合（41.7%）を下回るものの、令和5年度では40.2%まで増加しています。



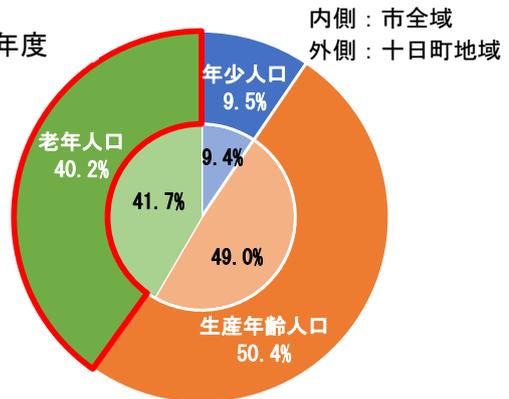
資料：十日町市

図 十日町地域の人口の推移

平成20年度



令和5年度



※年少人口：0～14歳、生産年齢人口：15～64歳、老年人口：65歳以上

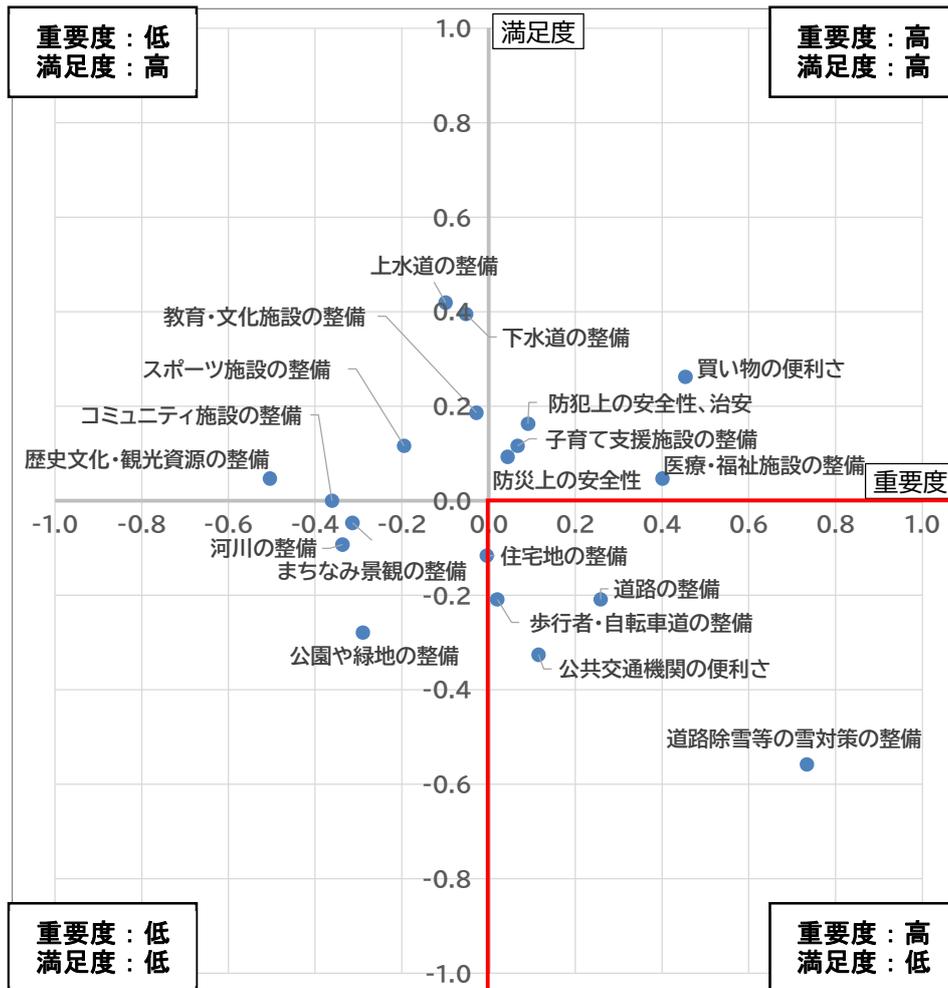
資料：十日町市

図 十日町地域の年齢3区分別人口割合の推移

③ 住民意向

【市民アンケートの意見概要】

- 令和4年に実施した市民アンケート調査結果では、十日町地域における地域拠点
は「十日町駅東口」周辺と回答された方が最も多くなっています。
- 生活環境における優先的に改善すべき事項(満足度が低く、重要度が高い)として、
「道路除雪等の雪対策の整備」「公共交通機関の便利さ」「道路の整備」「歩行者・
自転車道の整備」の項目が該当しています。



【市民意見交換会の意見概要】

- 生産年齢人口の減少対策として、既存商店街の活性化が必要
- 十日町市の玄関口として、中心市街地の賑わい創出などの機能強化が必要
- 高齢化を踏まえた除雪体制の構築が必要
- 高齢化を踏まえた福祉施設整備の検討が必要

④ 総合計画における位置づけ

【振興方針（基本構想）】

人と人との絆を深め、より安全、安心で笑顔ある地域をめざす

中心市街地活性化事業で整備した拠点施設の活用や、市街地に増えつつある空き地・空き店舗・空き家に民間活力を導入し、利活用するなど、中心市街地の活性化を推進します。また、振興連合会を核として、各振興会が協働してさらなる地域力の向上を図ります。

【振興方策】

- 交流拠点を核とする中心市街地の活性化と街なかコミュニティの確立
- 市街地近郊の住宅供給地としての新たなまちづくり
- 日常の安全安心の環境づくり
- 防災まちづくりの推進



越後妻有文化ホール「段十ろう」



十日町市市民交流センター「分じろう」



十日町市市民活動センター「十じろう」

⑤ 地域づくりの主要課題

1 土地利用に関する課題

- ・ 中心市街地の活性化（都市機能の集積、商店街の活性化など）
- ・ 空地・空家対策の促進
- ・ 農地の保全

2 都市施設整備に関する課題

- ・ 鉄道やバスなど公共交通機関の利便性向上
- ・ 幹線道路の整備充実
- ・ 安全な歩行者空間の確保
- ・ 公園・緑地の利用促進と再編・再整備
- ・ 医療・福祉施設の維持・充実

3 防災に関する課題

- ・ 地震・雪害・水害・土砂災害等の自然災害対策の推進
- ・ 避難や救助活動ができる防災組織体制の強化

4 自然環境保全・都市環境形成に関する課題

- ・ 魚沼丘陵地等の良好な自然環境の保全
- ・ 適正な地下水の利用
- ・ 環境に配慮した再生可能エネルギーの取組

5 克雪・利雪・親雪に関する課題

- ・ 道路の除雪体制の充実強化
- ・ 冬期の安全な歩行空間の確保
- ・ 安全で快適な冬期生活環境の確保

6 都市景観形成・文化財保全に関する課題

- ・ 雪国文化の雰囲気を感じられる街並み景観の形成
- ・ 地域の文化財の保存・活用
- ・ 魚沼丘陵地等の森林景観の保全

7 地域コミュニティ活性化に関する課題

- ・ 中心市街地における地域コミュニティの活性化
- ・ 各地区のコミュニティの維持に向けた対策の強化

2) 地域の将来像

交流・賑わい・活気のある 安全・安心な中心市街地の形成

本市の中心市街地にふさわしい、都市的な機能の集積と安全・安心で質の高い快適な環境を整えて居住を誘導します。また、多くの人々が集い、きものや雪国文化にふれあい、交流を育むことにより、賑わいと活気のある中心市街地の形成を推進します。

十日町地域における地域拠点：『十日町駅東口周辺』

3) 地域づくりの方針

① 土地利用の方針

- 都市機能の維持・集積によりコンパクトで利便性の高い中心市街地形成を図ります。
- 中心市街地活性化事業で整備した施設を活用しながら、駅前の利便性を生かした商業・サービス施設の民間開発を促進します。
- 十日町地域の観光拠点である「道の駅クロステン十日町」、「越後妻有交流館（越後妻有里山現代美術館 MonET、明石の湯）」などのエリアについては、市民の憩いの場と交流を生み出す空間としての活用を図ります。
- 新たな賑わい創出のため、中心市街地に点在する空地・空家・空店舗を活用した中心市街地活性化や移住定住促進を図ります。
- 高品質・良食味米の生産基盤として、また、良好な景観資源として、農地を守る土地利用を推進するとともに、営農環境の向上を図ります。

② 都市施設整備の方針

- 十日町駅について、各交通機関相互の乗換ダイヤの調整による公共交通サービスの利便性を維持しながら、交通結節点としての機能充実を図ります。
- 十日町駅をはじめ、市街地の高校、病院等への運行体制の充実など、利便性の高い公共交通の確保を図ります。また、中山間地域に暮らす人々の通院・買い物等の日常生活を支えるため、地域拠点周辺と中山間地域を結ぶ生活交通の維持・利便性向上を図ります。
- 児童センター「めぐらんど」等の子育て支援施設では、子どもに遊び場を提供するとともに、子育て支援センターでは、子育て相談機能や体験活動、交流の機会の提供など、サービスの充実を図ります。

- 主要地方道における歩道の設置、危険箇所の整備改善を推進します。
- 市街地内において長期にわたって未着手となっている都市計画道路については、その必要性や事業実現性を踏まえて見直しを進め、必要となる路線については整備を促進します。
- 地域住民の憩いの場のみならず、防災ネットワークの結節部ともなる身近な公園・緑地の整備・維持管理を図るとともに、人口減少などを踏まえた公園の再編整備を検討します。
- 十日町総合公園について、市民の憩いの場およびレクリエーション拠点として、機能の充実と適切な更新・維持管理に努めます。
- 中山間地域における合併処理浄化槽の施設整備を推進します。
- 「生活用水確保対策事業補助金要綱」等に基づき、中山間地域の水道未普及地域における生活水の確保を促進します。
- 日常生活に必要な医療・福祉施設の維持・充実を図ります。

③ 防災の方針

- 木造住宅が密集する市街地においては、人口減少などの各地における現状を踏まえた必要性や優先度を見極めながら、火災・震災に対する安全性の向上の視点から、オープンスペースの確保や敷地・建物の改善等により、地区環境の改善を促進します。
- 公園は憩いの場や運動等の目的の他に、防災に供する広場としての活用を図ります。
- 雪崩防止施設の設置や段切り工事等を推進し、雪崩危険箇所の早期解消に努めます。
- 自然環境の保全に配慮しながら、森林整備や河川整備、治山・治水の施設など、総合的な対策を推進し、水害や土砂災害の防止に努めます。
- 危険区域における地すべり防止対策、急傾斜地崩壊防止対策および土石流災害防止対策を計画的に進め、災害の防止に努めます。
- 地域の状況に応じて生活道路の改善を図り、防災機能の向上を図ります。
- 住民と行政が協力しながら、地震や豪雨などの災害時における備えなどの対策を計画的に進めます。
- 地域住民の防災意識を高揚し、防災組織体制の強化を図るとともに、災害時における高齢者世帯や障がい者などの災害弱者への対応に備えた取組を推進します。

④ 自然環境保全・都市環境形成の方針

- 地域東側に広がる魚沼丘陵地等の自然環境は、水源かん養や自然災害防止など、多様な公益的機能を担っており、将来にわたり保全していきます。
- 田川、晒川等の水辺空間の保全を図ります。
- 地下水利用の現状把握に努めるとともに、消雪パイプの節水タイマー設置の拡充、新技術や地中熱など他の手段への切り替えを検討します。

○豊富な地域資源を生かし、都市環境に配慮した再生可能エネルギーの活用を推進します。

⑤ 克雪・利雪・親雪の方針

○除雪車のオペレーターの人材確保と育成などに努め、除雪体制の維持を図ります。

○中山間地域の道路については、危険性等を踏まえた優先度を考慮しながら、幅員の拡大や急こう配、急カーブ、通行止めの解消等の整備を促進し、安全な除雪作業と作業効率の向上を図ります。

○効率的な除雪による通行環境の確保を図るため、新たな雪捨て場等のオープンスペースの確保に努めます。

○家屋が連たんしている箇所における消雪パイプの更新を順次に進めます。

○流雪溝未整備地区において、必要性や事業実現性を踏まえて、流雪溝の整備を検討します。

○集落安心づくり事業や冬期集落安全・安心確保対策事業を活用し、住民が主体となった共助による克雪体制の支援を図ります。また、克雪住まいづくり支援事業の活用促進や、住宅の立地特性に応じた補助制度の拡充を検討し、冬期間でも安心して暮らせる居住環境改善に努めます。

⑥ 都市景観形成・文化財保全の方針

○中心市街地においては雪国の風土やきもの文化が感じられる景観形成に向けたソフト事業を推進します。

○「十日町市文化財保存活用地域計画」に基づき、国登録建造物の「角屋社屋別館」や市指定文化財を有する来迎寺や智泉寺、諏訪神社等の寺社、町屋（商家）など織物産業に関する歴史文化遺産の保存と管理の徹底に努めます。

○地域内に広がる田園風景について、良好な郷土景観として維持・保全に努めます。

○緑豊かな魚沼丘陵地等の森林景観を保全します。

○大地の芸術祭においては、拠点施設である「越後妻有里山現代美術館 MonET」を中心に、通年誘客や新たな活用策に取り組みます。

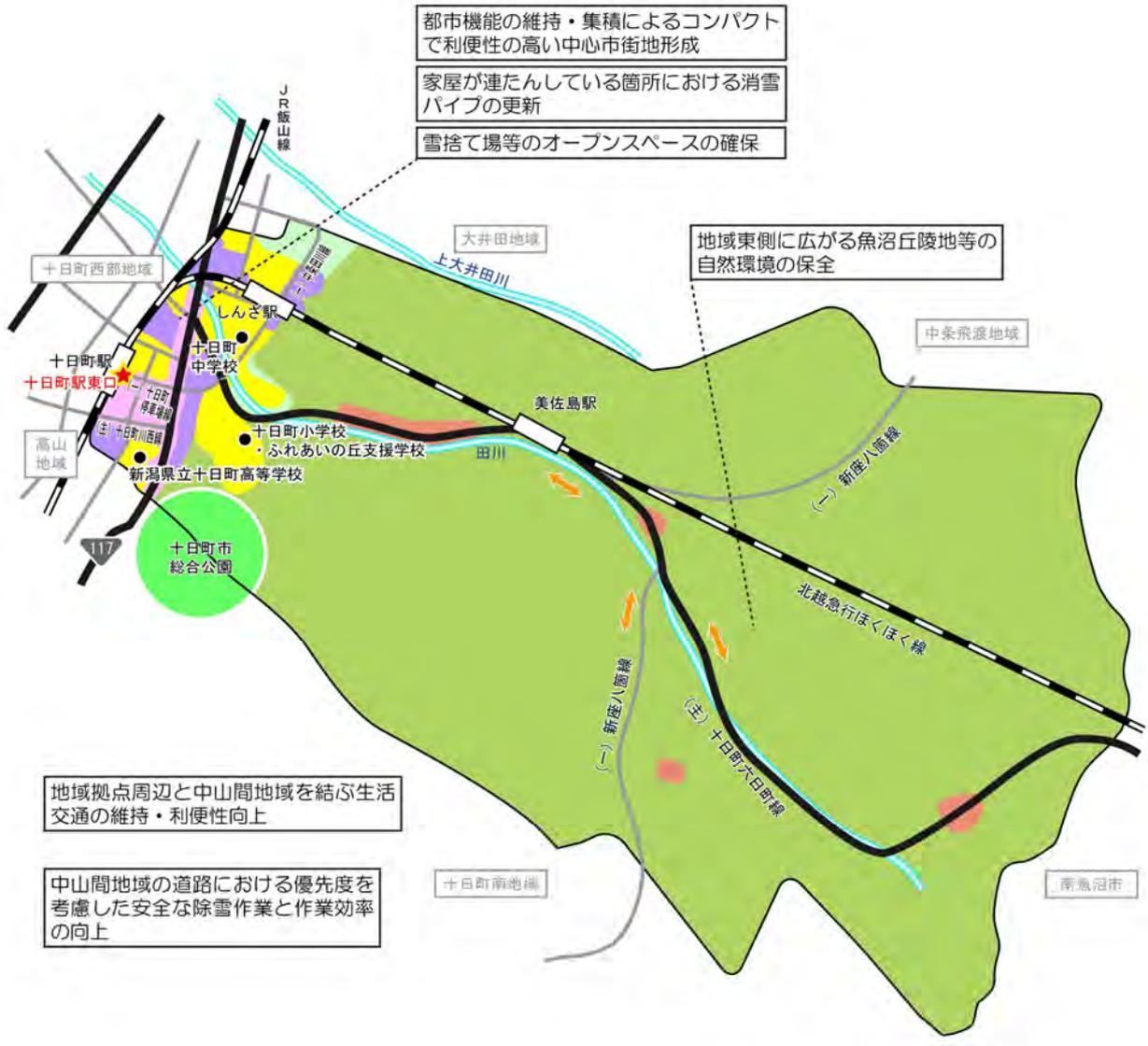
⑦ 地域コミュニティ活性化の方針

○地域コミュニティの拠点となる「市民交流センター 分じろう」や「市民活動センター 十じろう」、「越後妻有文化ホール 段十ろう」などを活用し、まちなかの特性を生かしたコミュニティの確立を目指します。

○各地区のコミュニティ活動の拠点となる集会所などの整備・改修を支援します。

○地域の各種イベントに若者の参加を促すこと等により、地域活動への参画意識の高揚と地域コミュニティの活性化・基盤強化を図ります。

地域づくりの方針図



都市機能の維持・集積によるコンパクトで利便性の高い中心市街地形成
 家屋が連たんしている箇所における消雪パイプの更新
 雪捨て場等のオープンスペースの確保

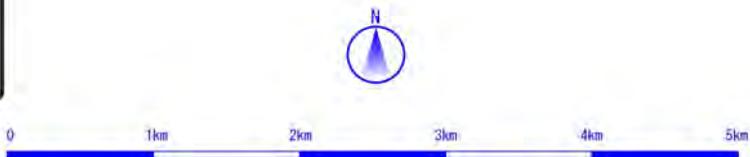
地域東側に広がる魚沼丘陵地等の自然環境の保全

地域拠点周辺と中山間地域を結ぶ生活交通の維持・利便性向上

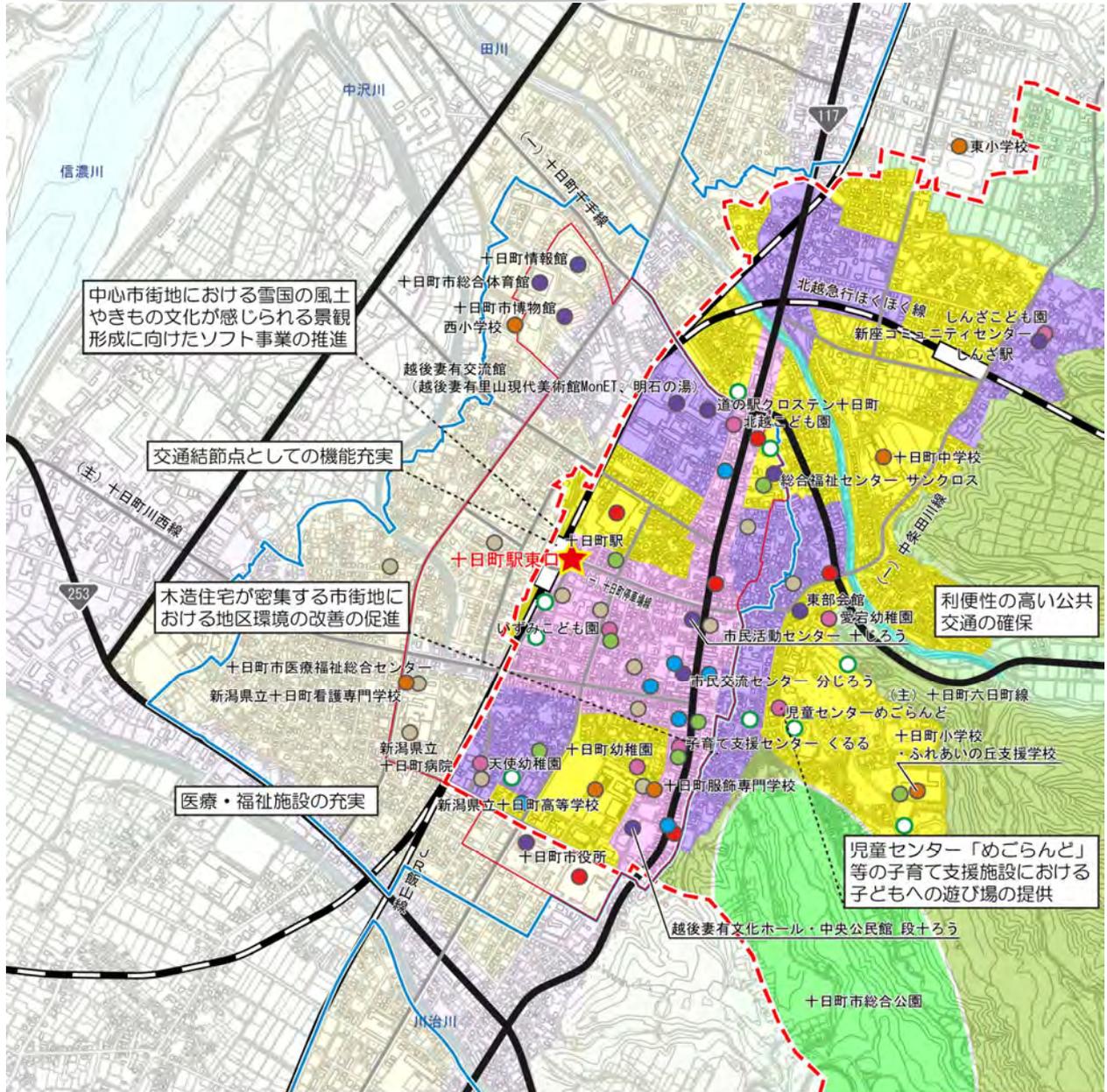
中山間地域の道路における優先度を考慮した安全な除雪作業と作業効率の向上

凡例

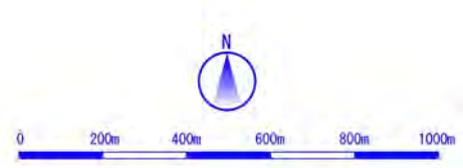
住居系用途地域	田園地域
商業系用途地域	中山間地域
工業系用途地域	河川
交流エリア	公共交通ネットワーク
集落（中山間地域）	幹線道路
拠点施設	その他の道路
	鉄道
	地域界



地域拠点づくりの方針図



- 凡例
- ★ 拠点施設
 - 商業施設
 - 医療施設
 - 子育て支援施設
 - 教育施設
 - 福祉施設
 - 金融機関
 - 交流施設
 - 街区公園など
 - 住居系用途地域
 - 商業系用途地域
 - 郊外商業集積エリア
 - 工業系用途地域
 - 田園地域
 - 中山間地域
 - 交流エリア
 - 河川
 - 幹線道路
 - その他の道路
 - 鉄道
 - - - 地域界
 - 都市機能誘導区域
 - 居住誘導区域

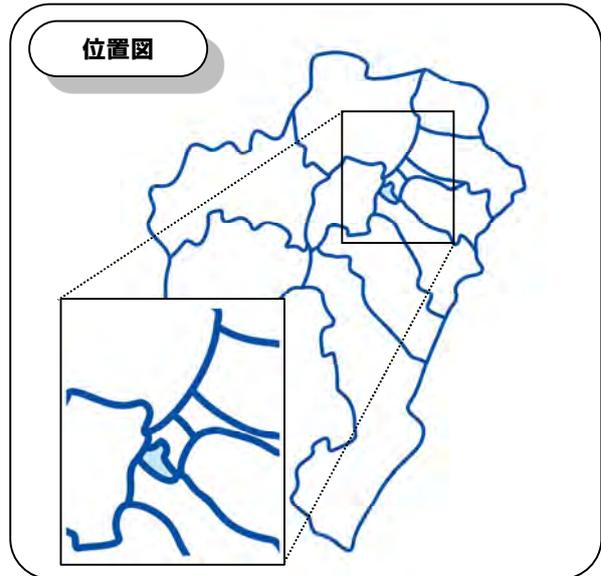


(2) 高山地域

1) 地域の現況と課題

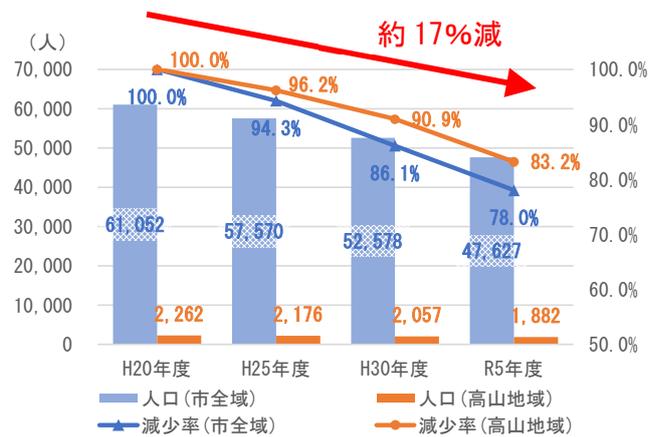
① 概況

- 高山地域は、中心市街地に隣接した住宅地と商業地のバランスがとれた生活環境が形成されています。
- 地域内には、東西方向に国道253号、主要地方道十日町川西線などの幹線道路が並行しているほか、南北方向に通る市道高山太子堂線沿いには、商業施設が集積して立地しています。
- 高山コミュニティセンターでは、各種団体による地域発展のための活動が進められています。



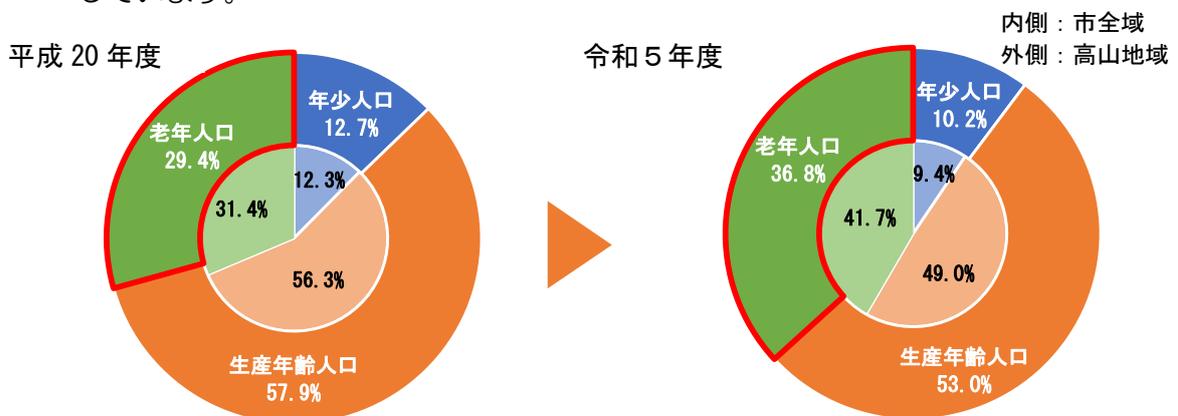
② 人口

- 高山地域の総人口は、15年間で約17%（380人）減少していますが、市全域の人口減少率（-22%）を下回っています。
- 高山地域の年齢3区分構成割合については、少子高齢化が進行しており、特に、老年人口の割合は、市全域の老年人口の割合（41.7%）を下回るものの、令和5年度では36.8%まで増加しています。



資料：十日町市

図 高山地域の人口の推移



※年少人口：0～14歳、生産年齢人口：15～64歳、老年人口：65歳以上

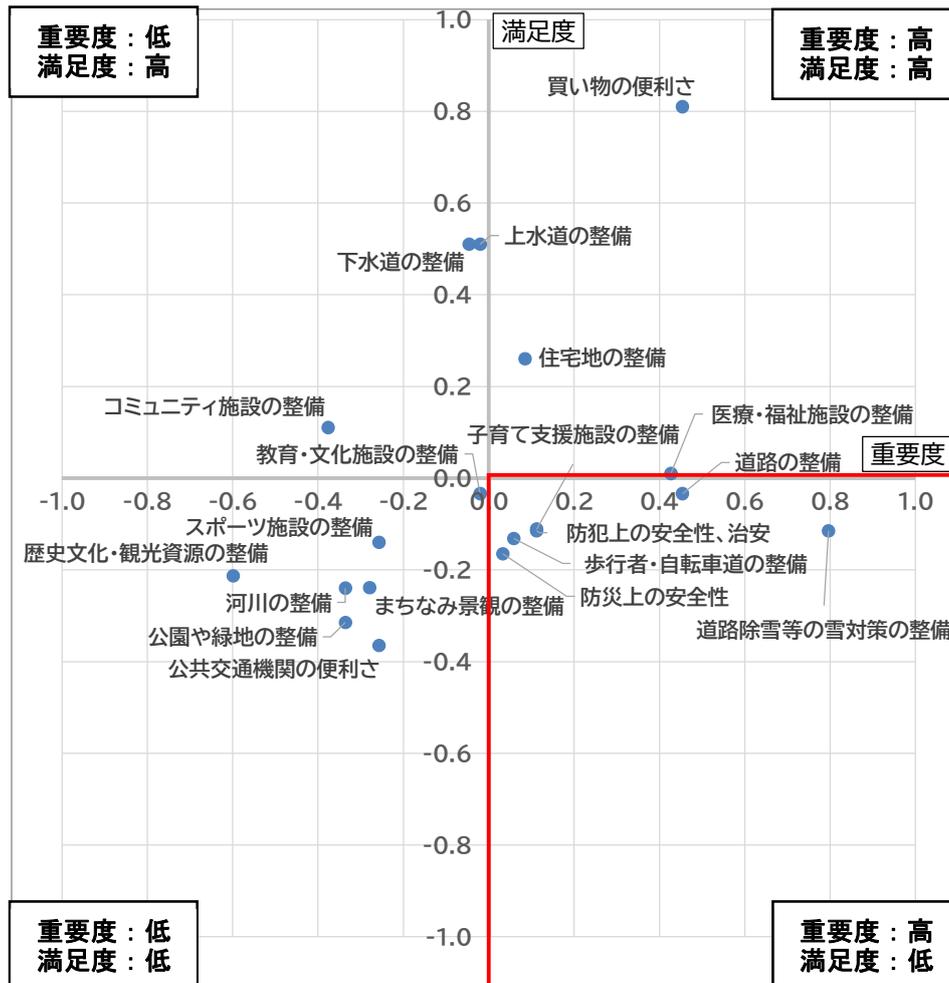
資料：十日町市

図 高山地域の年齢3区分別人口割合の推移

③ 住民意向

【市民アンケートの意見概要】

- 令和4年に実施したまちづくりに関する市民アンケート調査結果では、高山地域における地域拠点は「十日町病院」周辺と回答された方が最も多くなっています。
- 生活環境における優先的に改善すべき事項（満足度が低く、重要度が高い）として、「防災上の安全性」「歩行者・自転車道の整備」「道路除雪等の雪対策の整備」「防犯上の安全性、治安」「子育て支援施設の整備」「道路の整備」の項目が該当しています。



【市民意見交換会の意見概要】

- 若者の定住に向けた魅力あるまちづくりが必要
- 狭あい道路における道路拡幅整備の検討が必要
- 雪処理の空間確保が必要
- 都市施設等を結ぶ交通ネットワークの整備が必要
- 冬期に国道 117 号が通行止めとなった場合の対策として、国道 117 号バイパスの整備検討が必要
- 高齢者世帯への除雪支援が必要

④ 総合計画における位置づけ

【振興方針（基本構想）】

安全で安心して暮らせる^{たかやま}郷土、豊かな心を地域で育む^{たかやま}郷土

地域コミュニティの機能をさらに強化し、連携して幼児から高齢者までの各世代の交流を推進するとともに、居住環境の向上、防災・安全意識の高揚を目指します。

【振興方策】

- 都市サービス拠点が集積する優位性の活用
- 地域コミュニティの活性化による地域力向上
- 交通安全対策の強化
- 防災体制の強化
- 地域ぐるみの健康づくりの促進



高山コミュニティセンター



たかやまみんなの文化祭



どんど焼き

⑤ 地域づくりの主要課題

1 土地利用に関する課題

- ・ 適正な開発誘導と秩序ある土地利用の展開
- ・ 若者の働く場などの確保
- ・ 空地・空家対策の促進
- ・ 農地の保全

2 都市施設整備に関する課題

- ・ 幹線道路の整備充実
- ・ 安全な歩行者空間の確保
- ・ バスなど公共交通機関の利便性向上
- ・ 子育て支援施設等の維持・充実

3 防災に関する課題

- ・ 地震・雪害・水害・土砂災害等の自然災害対策の推進
- ・ 避難や救助活動ができる防災組織体制の強化

4 自然環境保全・都市環境形成に関する課題

- ・ 河川環境の保全
- ・ 適正な地下水の利用
- ・ 環境に配慮した再生可能エネルギーの取組

5 克雪・利雪・親雪に関する課題

- ・ 道路の除雪体制の充実強化
- ・ 冬期の安全な歩行空間の確保
- ・ 安全で快適な冬期生活環境の確保

6 都市景観形成・文化財保全に関する課題

- ・ 良好な居住空間の景観形成
- ・ 市道高山太子堂線沿いの良好な沿道景観の形成

7 地域コミュニティ活性化に関する課題

- ・ 中心市街地における地域コミュニティの活性化
- ・ 地域コミュニティの維持に向けた対策の強化
- ・ 防犯・治安対策の充実

2) 地域の将来像

世代間の交流を深め 豊かな心を育みながら 誰もが快適に暮らせる地域づくり

子どもから高齢者まで、各世代の交流を推進し、地域コミュニティの活性化を図ります。また、中心市街地や郊外商業集積エリアと近接した地域特性を生かして、居住環境の向上を目指します。

高山地域における地域拠点：『十日町病院周辺』

3) 地域づくりの方針

① 土地利用の方針

- 中心市街地や郊外商業集積エリアと近接した利便性の高い良好な住宅地としての土地利用を推進します。
- 市道高山太子堂線沿道において、周辺環境との調和に配慮し、適切な土地利用の誘導および規制誘導策の検討を図るとともに、適切な開発を促進します。
- 都市計画上の住居系と工業系の用途区分に基づく適正な土地利用を推進することにより、良好な住宅地の形成と働く場の確保を図ります。
- 空地・空家を活用した移住定住促進を図ります。
- 高品質・良食味米の生産基盤として、また、良好な景観資源として、農地を守る土地利用を推進するとともに、営農環境の向上を図ります。



高山太子堂線の歩道整備

② 都市施設整備の方針

- 主要地方道十日町川西線や国道 253 号十日町橋の整備を促進するとともに、上越魚沼地域振興快速道路へのアクセス道である市道高山水沢線の整備を推進します。
- 各道路の必要性や優先度を見極めながら、狭あい箇所の改善や歩行者空間の確保を推進します。
- 十日町駅をはじめ、市街地の高校、病院等への運行体制の充実など、利便性の高い公共交通の確保を図ります。
- 身近な公園の計画的な整備・更新・維持管理を図るとともに、公園の利用状況を踏まえて再編を検討します。
- 子育て支援のための各種施設の維持・充実を図ります。

③ 防災の方針

- 公園は憩いの場や運動等の目的のほかに、防災に供する広場として活用を図ります。
- 危険区域における急傾斜地崩壊防止対策を計画的に進め、災害の防止に努めます。
- 住民と行政が協力しながら、地震や豪雨などの災害時における備えなどの対策を計画的に進めます。
- 地域住民の防災意識を高揚し、防災組織体制の強化を図るとともに、災害時における高齢者世帯や障がい者などの災害弱者への対応に備えた取組を推進します。

④ 自然環境保全・都市環境形成の方針

- 信濃川や川治川の環境美化に努めるとともに、良好な水辺空間の保全を図ります。
- 地下水利用の現状把握に努めるとともに、消雪パイプの節水タイマー設置の拡充、新技術や地中熱など他の手段への切り替えを検討します。
- 都市環境に配慮した再生可能エネルギーの活用を推進します。

⑤ 克雪・利雪・親雪の方針

- 除雪車のオペレーターの人材確保と育成などに努め、除雪体制の維持を図ります。
- 新たな雪捨て場の整備や、家屋が連たんしている箇所における消雪パイプの更新を順次進めます。
- 集落安心づくり事業や冬期集落安全・安心確保対策事業を活用し、住民が主体となった共助による克雪体制の支援を図ります。また、克雪住まいづくり支援事業の活用促進や、住宅の立地特性に応じた補助制度の拡充を検討し、冬期間でも安心して暮らせる居住環境改善に努めます。

⑥ 都市景観形成・文化財保全の方針

- 周辺との調和に配慮しながら、利便性の高い居住環境と良好な住宅地の景観形成を図ります。
- 市道高山太子堂線の沿道において、建築物や屋外広告物の適切な規制誘導等により、周辺環境に調和した秩序ある沿道景観の形成を図ります。

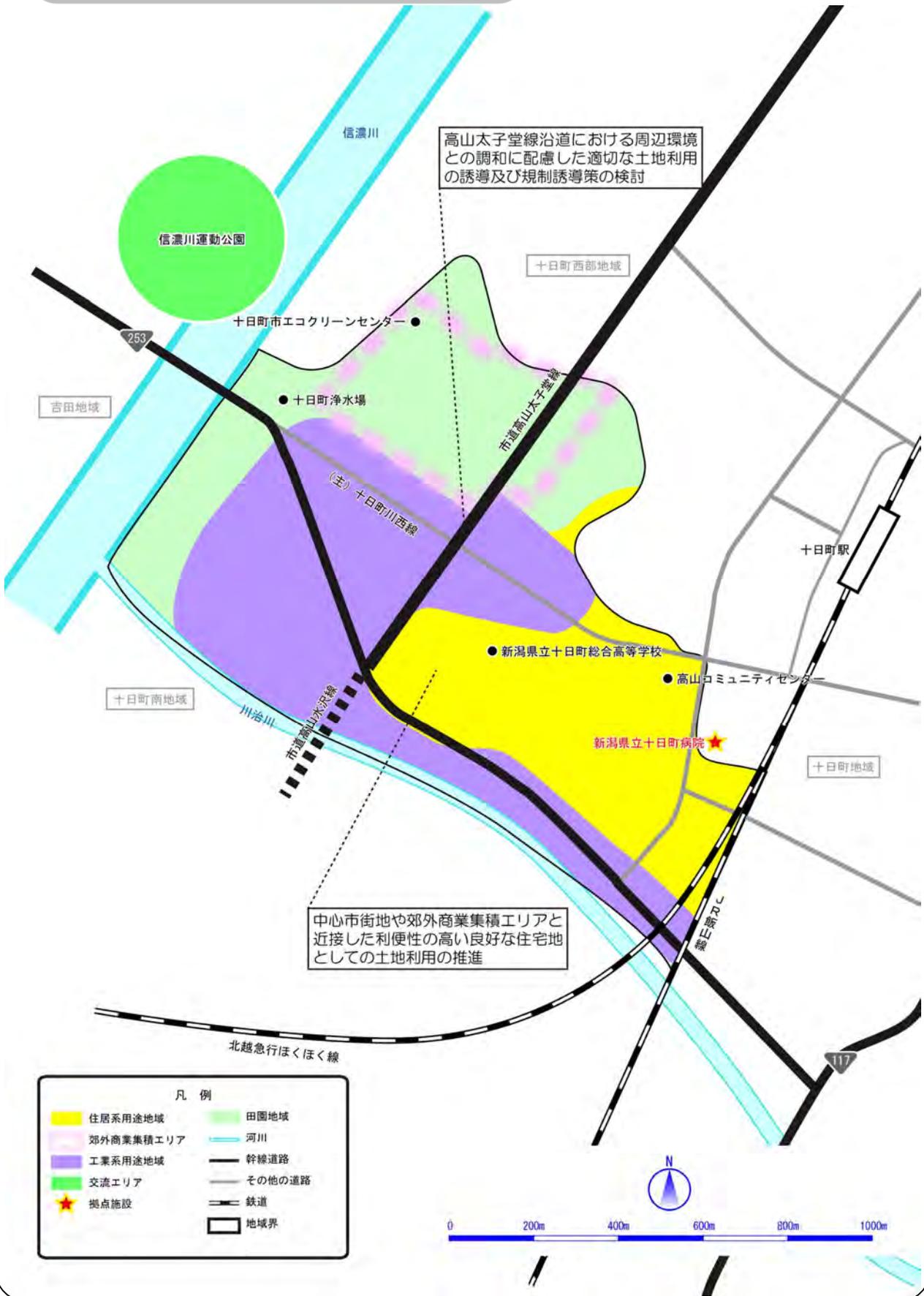
⑦ 地域コミュニティ活性化の方針

- 高山コミュニティセンターを拠点に住民の交流・親睦活動を支援するとともに、地域拠点としての整備を推進します。
- 地域の各種イベントに若者の参加を促すこと等により、地域活動への参画意識の高揚と地域コミュニティの活性化・基盤強化を図ります。
- 地域住民による環境美化活動や防犯・防災活動等を通して地域コミュニティの活性化を図ります。

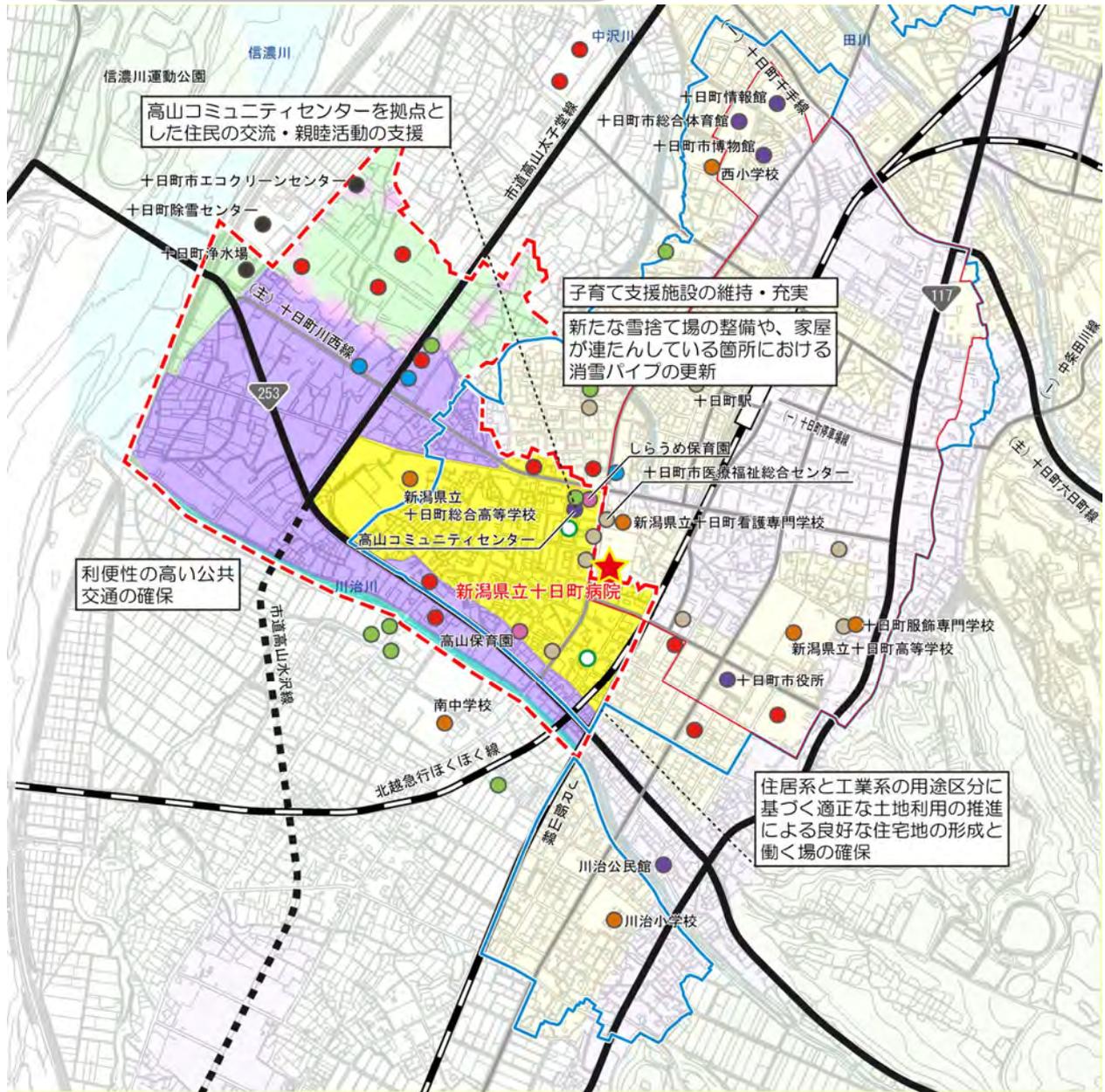


防災訓練

地域づくりの方針図

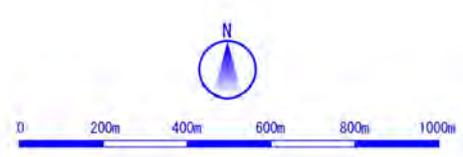


地域拠点づくりの方針図



凡例

★ 拠点施設	■ 住居系用途地域
● 商業施設	■ 商業系用途地域
● 医療施設	■ 郊外商業集積エリア
● 子育て支援施設	■ 工業系用途地域
● 教育施設	■ 田園地域
● 福祉施設	■ 中山間地域
● 金融機関	■ 交流エリア
● 交流施設	■ 河川
● その他施設	— 幹線道路
○ 街区公園など	— その他の道路
	— 鉄道
	■ 地域界
	■ 都市機能誘導区域
	■ 居住誘導区域

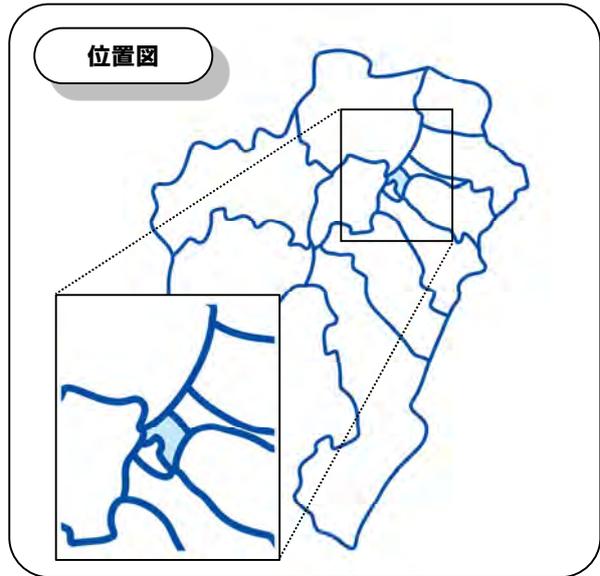


(3) 十日町西部地域

1) 地域の現況と課題

① 概況

- 十日町西部地域は、十日町駅の西側に広がる区域で、新潟県立十日町病院、十日町市博物館、十日町情報館、十日町市総合体育館等が立地しています。
- 地域内には、東西方向に県道十日町千手線、南北方向に市道高山太子堂線、市道本町西線が通っており、市道高山太子堂線沿いには、大規模な商業施設が集積して立地しています。
- 地域の西部を信濃川が流れ、中央を中沢川が貫流しています。



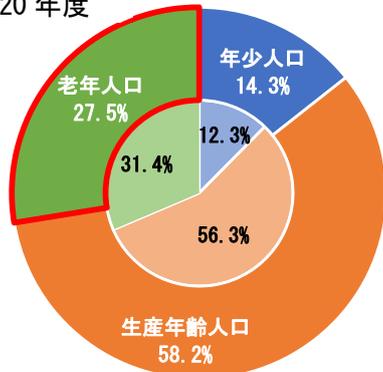
② 人口

- 十日町西部地域の総人口は、15年間で約3%（約70人）の減少に留まり、ほぼ横ばいの状況となっています。
- 十日町西部地域の年齢3区分構成割合については、少子高齢化が進行し、老年人口の割合は増加していますが、令和5年度で32.4%であり、市全域の老年人口の割合（41.7%）を下回っています。

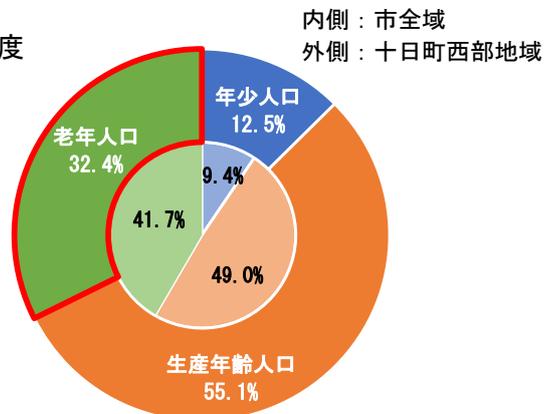


図 十日町西部地域の人口の推移

平成 20 年度



令和 5 年度



※年少人口：0～14歳、生産年齢人口：15～64歳、老年人口：65歳以上

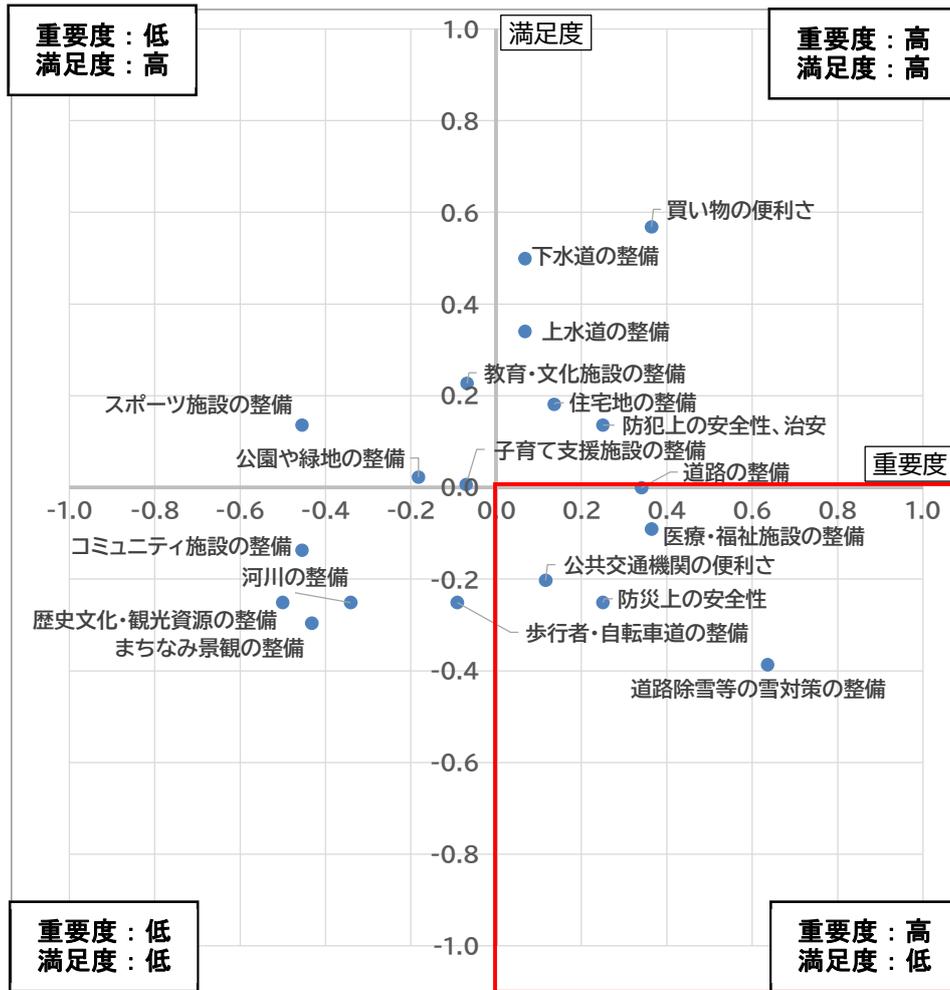
資料：十日町市

図 十日町西部地域の年齢3区分別人口割合の推移

③ 住民意向

【市民アンケートの意見概要】

- 令和4年に実施した市民アンケート調査結果では、十日町西部地域における地域拠点は「十日町駅西口」周辺と回答された方が最も多くなっています。
- 生活環境における優先的に改善すべき事項(満足度が低く、重要度が高い)として、「道路除雪等の雪対策の整備」「防災上の安全性」「公共交通機関の便利さ」「医療・福祉施設の整備」「道路の整備」の項目が該当しています。



【市民意見交換会の意見概要】

- 観光拠点としての機能充実・強化が必要
- 働く場の創出に向けた企業誘致の推進が必要
- 中沢川などにおける河川環境の保全が必要
- 子育て世代の移住を推進するため住宅地としての土地利用を推進することが必要
- 夜間における防犯対策の強化が必要
- 渋滞解消のため、市道本町西線等の道路環境整備が必要
- 十日町駅西口と市道高山太子堂線の接続強化が必要
- 休耕田や耕作放棄地の利用促進が必要
- 高齢者の憩いの場を提供するため公園・緑地の整備検討が必要

④ 総合計画における位置づけ

【振興方針（基本構想）】

安全・安心で住み継がれる地域づくり

ほくほく線十日町駅の玄関口としての情報発信や地域コミュニティの一層の向上を図り、災害に強く安心して快適に暮らせる地域を目指します。

【振興方策】

- 新たな市街地の持続的発展
- 都市機能が集積する優位性の活用
- 元気な高齢者を増やす健康づくりの推進
- 地域コミュニティの活性化
- 防犯・防災体制の確立



県立十日町病院（写真奥）、
十日町市医療福祉総合センター（写真手前）



十日町情報館



十日町市博物館

⑤ 地域づくりの主要課題

1 土地利用に関する課題

- ・市街地の新たな顔となる都市機能の充実
- ・適正な開発誘導と秩序ある土地利用の展開
- ・働く場の確保
- ・子育て世代などの移住・定住を推進する良好な住環境の維持
- ・空地・空家対策の促進
- ・休耕田や耕作放棄地の利用促進
- ・農地の保全

2 都市施設整備に関する課題

- ・幹線道路の整備充実
- ・渋滞解消に向けた道路の整備
- ・鉄道やバスなど公共交通機関の利便性向上
- ・公園・緑地の利用促進と再編・再整備
- ・医療・福祉施設の維持・充実

3 防災に関する課題

- ・地震・雪害・水害・土砂災害等の自然災害対策の推進
- ・避難や救助活動ができる防災組織体制の強化

4 自然環境保全・都市環境形成に関する課題

- ・河川環境の保全
- ・適正な地下水の利用
- ・環境に配慮した再生可能エネルギーの取組

5 克雪・利雪・親雪に関する課題

- ・道路の除雪体制の充実強化
- ・地域拠点周辺における冬期の安全な歩行空間の確保
- ・安全で快適な冬期生活環境の確保

6 都市景観形成・文化財保全に関する課題

- ・文教エリアとしての連携強化
- ・良好な市街地景観の形成
- ・市道高山太子堂線沿いの良好な沿道景観の形成

7 地域コミュニティ活性化に関する課題

- ・中心市街地における地域コミュニティの活性化
- ・地域コミュニティの維持に向けた対策の強化
- ・防犯・治安対策の充実

2) 地域の将来像

人々が集い・ふれあい、生活を楽しむ 十日町の新たな顔づくり

十日町駅西口や文教・スポーツ施設が充実したエリアの特性を生かして多様な交流の場を創出し、人々が住み・集い・憩う、十日町の新たな顔となる拠点づくりを推進します。

十日町西部地域における地域拠点：『十日町駅西口周辺』

3) 地域づくりの方針

① 土地利用の方針

- 十日町市博物館、十日町情報館、十日町市総合体育館などが集積したエリアについては、市民の学びと交流の場として活用を図るとともに、十日町駅西口から緑道を利用して文教エリアへの回遊性を向上させることにより、さらなる賑わいと魅力あふれる地域づくりを推進します。
- 市道高山太子堂線沿道において、周辺環境との調和に配慮し、適切な規制誘導策の検討を図るとともに、適正な開発を促進します。
- 駅西地区において、地区計画に基づく良好な住環境の維持を図ります。
- 十日町駅前の利便性を生かし、商業・宿泊施設などの民間開発を促すことにより、働く場を創出します。
- 子育て世代をはじめ、多様なニーズに応じて都市機能の維持集積を図り、コンパクトで利便性が高い居住空間の形成を図ります。
- 空地・空家を活用した移住定住促進や休耕田の利用促進を検討します。
- 高品質・良食味米の生産基盤として、また、良好な景観資源として、農地を守る土地利用を推進するとともに、営農環境の向上を図ります。

② 都市施設整備の方針

- 十日町駅西口と市道高山太子堂線との連絡強化に向けた交通アクセス機能の向上を図ります。また、駅東口と西口との連絡機能の強化を図ります。
- 主要地方道や県道および市道の整備を推進し、市道高山太子堂線や市道本町西線の渋滞解消を図ります。
- 各道路における必要性や優先度を見極めながら、狭あい箇所の改善や歩行者空間の確保を推進します。

- 鉄道・バス等の公共交通ネットワークの維持・確保とサービスの持続化・効率化を図ります。
- 身近な公園の計画的な整備・更新・維持管理を図るとともに、公園の利用状況を踏まえて再編を検討します。
- 駅近くの利便性が高いエリアに、医療・福祉施設が集積している特性を生かして、住みよい環境形成を図ります。

③ 防災の方針

- 公園は憩いの場や運動等の目的の他に、防災に供する広場としての活用を図ります。
- 危険区域における急傾斜地崩壊防止対策を計画的に進め、災害の防止に努めます。
- 人口減少を踏まえた各道路の必要性や優先度を見極めながら地域内における生活道路の改善を図り、防災機能の向上を図ります。
- 住民と行政が協力しながら、地震や豪雨などの災害時における備えなどの対策を計画的に進めます。
- 地域住民の防災意識を高揚し、防災組織体制の強化を図るとともに、災害時における高齢者世帯や障がい者などの災害弱者への対応に備えた取組を推進します。

④ 自然環境保全・都市環境形成の方針

- 信濃川や中沢川の環境美化に努めるとともに、緑道や信濃川親水公園など良好な水辺空間の保全を図ります。
- 地下水利用の現状把握に努めるとともに、消雪パイプの節水タイマー設置の拡充、新技術や地中熱など他の手段への切替えを検討します。
- 都市環境に配慮した再生可能エネルギーの活用を推進します。

⑤ 克雪・利雪・親雪の方針

- 除雪車のオペレーターの人材確保と育成などに努め、除雪体制の維持を図ります。
- 新たな雪捨て場の整備や、家屋が連たんしている箇所における消雪パイプの更新を順次進めます。
- 集落安心づくり事業や冬期集落安全・安心確保対策事業を活用し、住民が主体となった共助による克雪体制の支援を図ります。また、克雪住まいづくり支援事業の活用促進や、住宅の立地特性に応じた補助制度の拡充を検討し、冬期間でも安心して暮らせる居住環境改善に努めます。

⑥ 都市景観形成・文化財保全の方針

- 十日町市博物館・十日町情報館・十日町市総合体育館を生かしたうるおいのある文教エリアとしての連携強化に努めます。

- 周辺との調和に配慮しながら、利便性の高い居住空間や良好な住宅地の景観形成を図ります。
- 市道高山太子堂線の沿道において、建築物や屋外広告物の適切な規制誘導等により、周辺環境に調和した秩序ある沿道景観の形成を図ります。

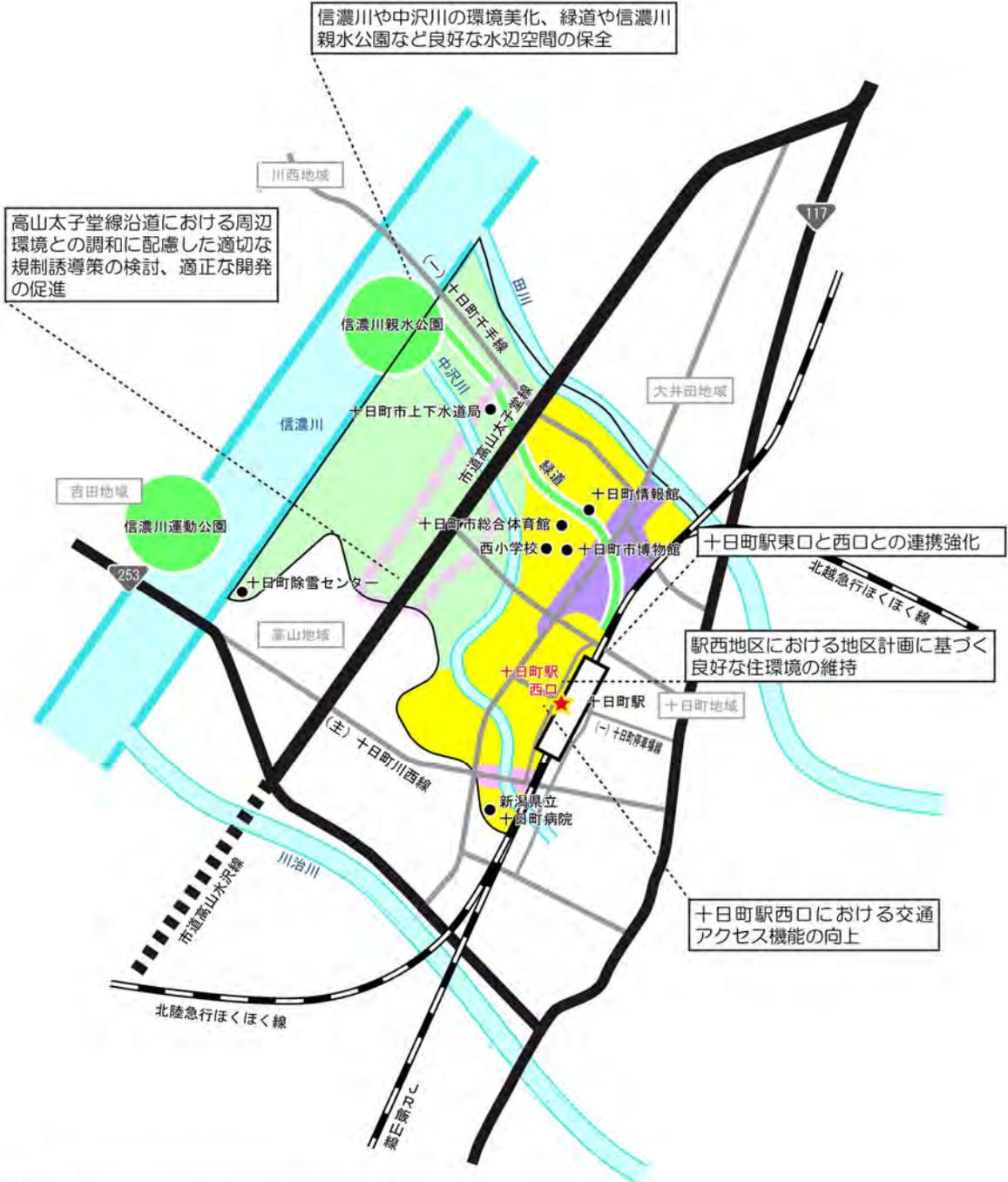
⑦ 地域コミュニティ活性化の方針

- 各地区のコミュニティ活動の拠点となる集会所などの整備・改修を支援します。
- 地域の各種イベントに若者の参加を促すこと等により、地域活動への参画意識の高揚と地域コミュニティの活性化・基盤強化を図ります。
- 地域住民による環境美化活動や防犯・防災活動等を通して地域コミュニティの活性化を図ります。



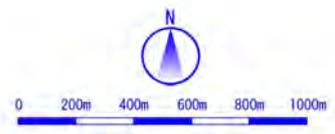
駅西まつり

地域づくりの方針図

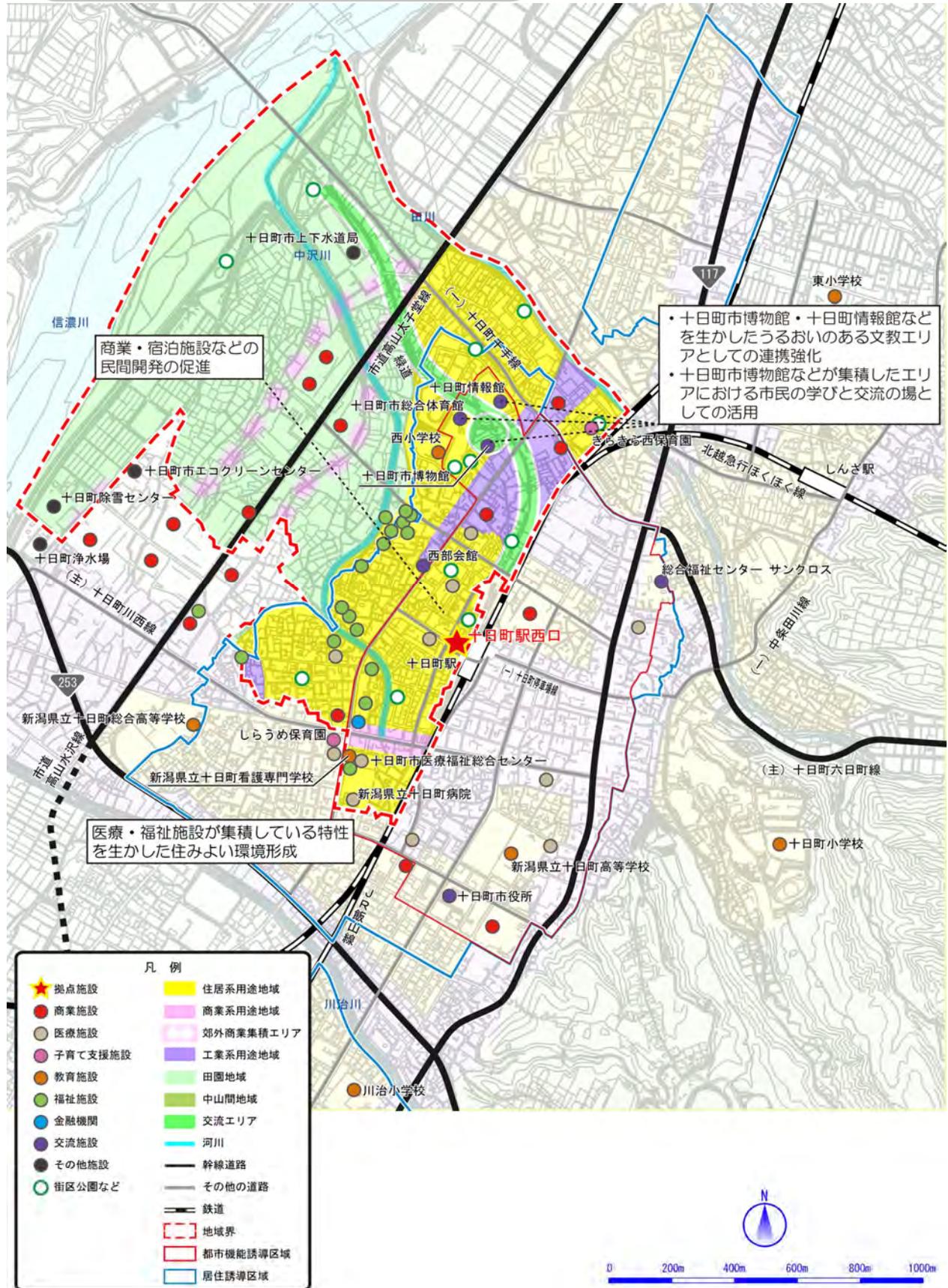


凡例

住居系用途地域	田園地域
商業系用途地域	河川
郊外商業集積エリア	幹線道路
工業系用途地域	その他の道路
交流エリア	鉄道
拠点施設	地域界



地域拠点づくりの方針図



(4) 十日町南地域

1) 地域の現況と課題

① 概況

- 十日町南地域は、中心市街地に隣接する地区と東側に広がる中山間地区からなり、南北方向の国道 117 号と東西方向の国道 253 号が交差する交通の要所となる地域です。
- 関越自動車道六日町 IC と上越方面を結ぶ上越魚沼地域振興快速道路八箇 IC があり、八箇峠道路の一部区間の開通や十日町道路の整備が進んでいます。

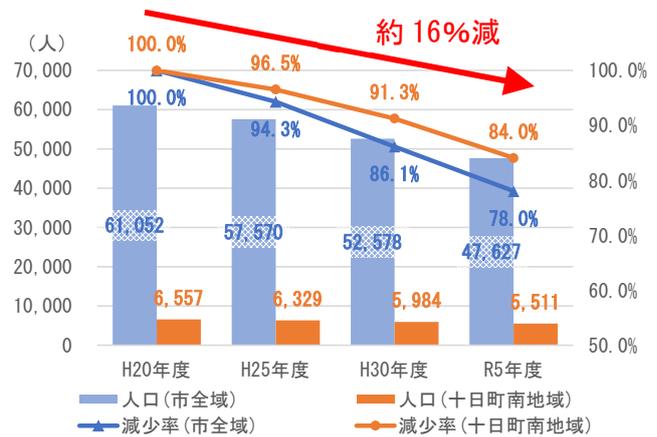


○地域内には、十日町市役所、警察署、地域振興局などの官公庁が立地しています。

② 人口

○十日町南地域の総人口は、15 年間で約 16% (約 1,050 人) 減少していますが、市全域の人口減少率 (-22%) より緩やかな減少となっています。

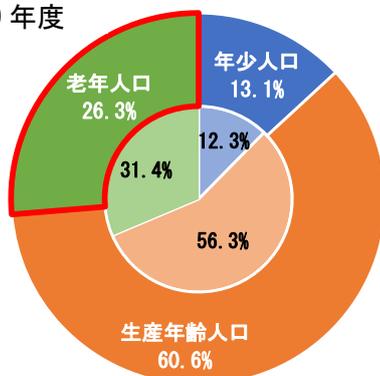
○十日町南地域の年齢3区分構成割合については、少子高齢化が進行しており、特に、老年人口の割合は、市全域の老年人口の割合 (41.7%) を下回るものの、令和5年度では約 38.8%まで増加しています。



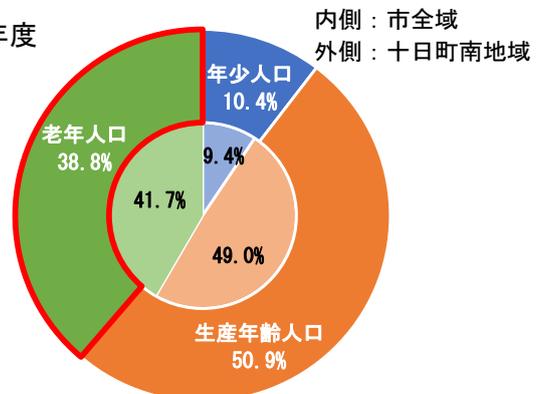
資料：十日町市

図 十日町南地域の人口の推移

平成 20 年度



令和 5 年度



※年少人口：0～14歳、生産年齢人口：15～64歳、老年人口：65歳以上

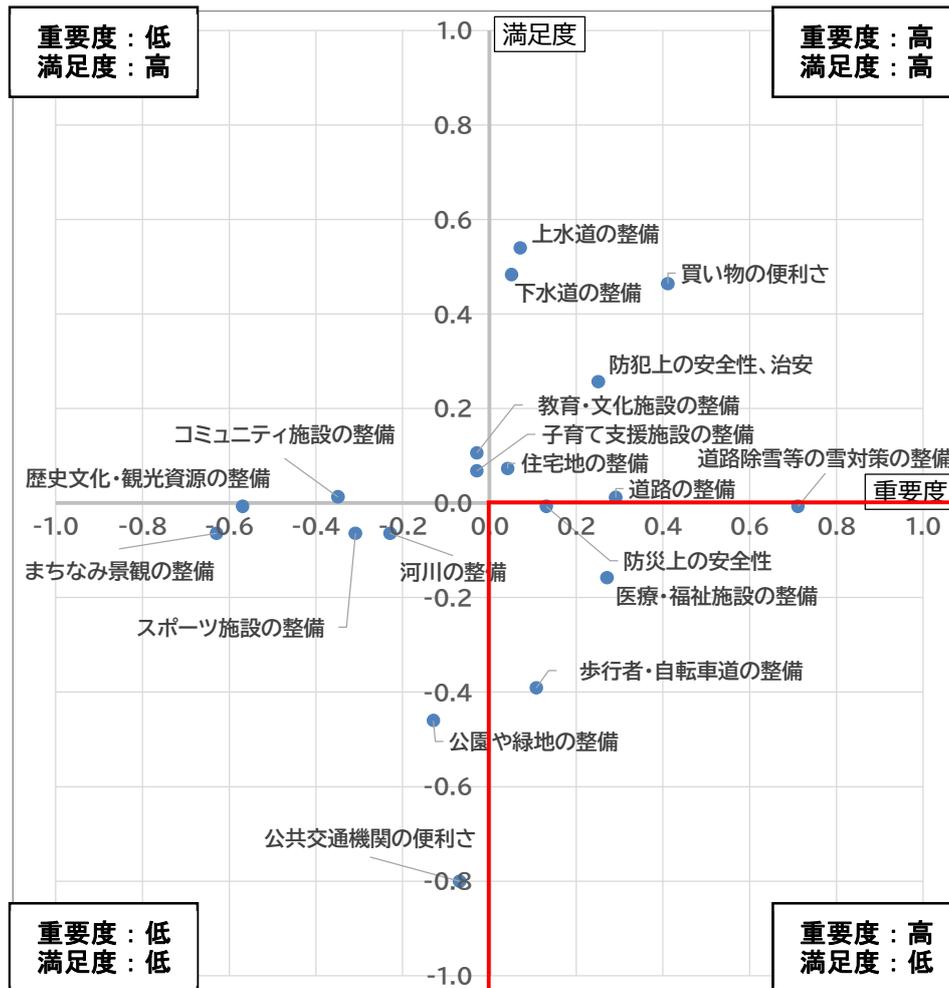
資料：十日町市

図 十日町南地域の年齢3区分別人口割合の推移

③ 住民意向

【市民アンケートの意見概要】

- 令和4年に実施した市民アンケート調査結果では、十日町南地域における地域拠点は「十日町市役所」周辺と回答された方が最も多くなっています。
- 生活環境における優先的に改善すべき事項(満足度が低く、重要度が高い)として、「歩行者・自転車道の整備」「医療・福祉施設の整備」「道路除雪等の雪対策の整備」「防災上の安全性」の項目が該当しています。



【市民意見交換会の意見概要】

- 幹線道路における歩道整備の推進が必要
- 誰もが社会参加できる環境整備が必要
- 十日町紬に触れる機会を増やすため、織物工場の活用が必要
- 地域コミュニティの維持・強化が必要

④ 総合計画における位置づけ

【振興方針（基本構想）】

“南”の和・輪 示そう元気・活力・地域力！

上越魚沼地域振興快速道路八箇峠道路の一部区間開通や十日町道路の事業化決定など着実に道路環境の整備が進んでおり、里山の観光資源を生かした誘客の推進とともに、都市機能の充実を図り、住民同士の交流・コミュニティの向上などを進めます。

【振興方策】

- 道路交通の要衝としての優位性の確立
- 地域コミュニティの活性化
- 地域ぐるみの安全なまちづくり
- 多彩な観光資源や地域イベントで交流促進
- 市街地近郊の食糧庫と地域農業の育成
- 高齢者福祉のまちづくり



国道 253 号八箇峠トンネル



十日町市総合公園（テニスコート・野球場）

⑤ 地域づくりの主要課題**1 土地利用に関する課題**

- ・ 織物工場の活用や工業地への企業誘致
- ・ 農地の保全
- ・ 空地・空家対策の促進

2 都市施設整備に関する課題

- ・ 上越魚沼地域振興快速道路の整備促進
- ・ 幹線道路の整備充実と有機的な交通ルートの確立
- ・ 国道などの交通量の多い幹線道路での歩道整備の推進
- ・ 公園・緑地の利用促進と再編・再整備
- ・ 子育て支援施設の維持・充実
- ・ 医療・福祉施設の維持・充実

3 防災に関する課題

- ・ 地震・雪害・水害・土砂災害等の自然災害対策の推進
- ・ 避難や救助活動ができる防災組織体制の強化

4 自然環境保全・都市環境形成に関する課題

- ・ 身近な自然環境の保全
- ・ 水に親しめる河川環境の保全・整備
- ・ 適正な地下水の利用
- ・ 環境に配慮した再生可能エネルギーの取組

5 克雪・利雪・親雪に関する課題

- ・ 道路の除雪体制の充実強化
- ・ 冬期の安全な歩行空間の確保
- ・ 安全で快適な冬期生活環境の確保

6 都市景観形成・文化財保全に関する課題

- ・ 信濃川等の良好な河川景観や魚沼丘陵地等の森林景観の保全
- ・ 地域資源の良好な景観形成

7 地域コミュニティ活性化に関する課題

- ・ 中心市街地における地域コミュニティの活性化
- ・ 地域コミュニティの維持に向けた対策の強化

2) 地域の将来像

広域交通軸を生かし 産業・観光・暮らしが一体化した 活力のある地域づくり

国道 253 号や上越魚沼地域振興快速道路等の広域交通ネットワークを生かし、商工業の振興や、地域の観光資源を活用した交流促進を図ります。また、快適で利便性の高い住環境の形成を図り、活力ある地域づくりを推進します。

十日町南地域における地域拠点：『十日町市役所周辺』

3) 地域づくりの方針

① 土地利用の方針

- 十日町織物工業団地周辺について、環境に配慮しながら既存の工業地との共存を図るとともに、織物工場の活用や（仮称）十日町インターチェンジに近接した立地の有利さを生かして企業誘致を推進し、地域の発展に寄与する土地利用を図ります。
- 高品質・良食味米の生産基盤として、また、良好な景観資源として、農地を守る土地利用を推進するとともに、営農環境の向上を図ります。
- 空地・空家を活用した移住定住促進を図ります。

② 都市施設整備の方針

- 上越魚沼地域振興快速道路の整備を促進するとともに、（仮称）十日町インターチェンジへのアクセス道路である市道高山水沢線の整備を推進します。
- 上越魚沼地域振興快速道路、国道 117 号、253 号、市道高山水沢線等による有機的な交通ルートの確立により、さらなる地域の振興発展を図ります。
- 国道 117 号のバイパス機能として、国道と並行する六箇～八箇間の道路整備を検討します。
- 歩行者の安全を確保するため、各道路における必要性や優先度を見極めながら、狭あい箇所の改善や国道 117 号の歩道整備を推進します。
- 十日町駅をはじめ、市街地の高校、病院等への運行体制の充実など、利便性の高い公共交通の確保を図ります。また、中山間地域に暮らす人々の通院・買い物等の日常生活を支えるため、地域拠点周辺と中山間地域を結ぶ生活交通の維持・利便性向上を図ります。

- 身近な公園の計画的な整備・更新・維持管理を図るとともに、公園の利用状況を踏まえて再整備を検討します。
- 十日町総合公園について、市民の憩いの場およびレクリエーション拠点として、機能充実と適切な更新・維持管理に努めます。
- 中山間地域における合併処理浄化槽の施設整備を推進します。
- 子育て支援のための各種施設の維持・充実を図ります。
- 日常生活に必要な医療・福祉施設の維持・充実を図ります。

③ 防災の方針

- 公園は憩いの場や運動等の目的の他に、防災に供する広場として活用を図ります。
- 雪崩防止施設の設置や段切り工事等を推進し、雪崩危険箇所の早期解消に努めます。
- 危険区域における地すべり防止対策、急傾斜地崩壊防止対策および土石流災害防止対策を計画的に進め、災害の防止に努めます。
- 自然環境の保全に配慮しながら、森林整備や河川整備、治山・治水施設の整備など総合的な対策を推進し、水害や土砂災害の防止に努めます。
- 住民と行政が協力しながら、地震や豪雨などの災害時における備えなどの対策を計画的に進めます。
- 地域住民の防災意識を高揚し、防災組織体制の強化を図るとともに、災害時における高齢者世帯や障がい者などの災害弱者への対応に備えた取組を推進します。

④ 自然環境保全・都市環境形成の方針

- 魚沼丘陵の良好な森林環境の保全や里山、鎮守の森など、集落周辺の良好な自然環境の保全に努めます。
- 地域西端を流れる信濃川および東側に広がる魚沼丘陵地等の自然環境は、水源かん養や自然災害防止など、多様な公益的機能を担っており、将来にわたり保全していきます。
- 川治川や羽根川等の水辺空間の保全を図ります。
- 地下水利用の現状把握に努めるとともに、消雪パイプの節水タイマー設置の拡充、新技術や地中熱など他の手段への切替えを検討します。
- 豊富な地域資源を生かし、都市環境に配慮した再生可能エネルギーの活用を推進します。

⑤ 克雪・利雪・親雪の方針

- 除雪車のオペレーターの人材確保と育成などに努め、除雪体制の維持を図ります。
- 主要地方道十日町塩沢線の冬期通行規制の解消に向けた道路整備を図ります。

- 中山間地域の道路については、危険性等を踏まえた優先度を考慮しながら、幅員の拡大や急勾配、急カーブ、通行止めの解消等の整備を促進し、安全な除雪作業と作業効率の向上を図ります。
- 川治地区流雪溝整備計画に基づき、流雪溝の整備を推進します。
- 新たな雪捨て場の整備や、家屋が連たんしている箇所における消雪パイプの更新を順次進めます。
- 集落安心づくり事業や冬期集落安全・安心確保対策事業を活用し、住民が主体となった共助による克雪体制の支援を図ります。また、克雪住まいづくり支援事業の活用促進や、住宅の立地特性に応じた補助制度の拡充を検討し、冬期間でも安心して暮らせる居住環境改善に努めます。

⑥ 都市景観形成・文化財保全の方針

- 信濃川等の良好な河川景観や緑豊かな魚沼丘陵地等の森林景観を保全します。
- 地域内に広がる田園風景について、良好な郷土景観として維持・保全に努めます。
- 川治地区内に残る旧善光寺街道（北国脇街道）も貴重な文化資源として保全に努めます。
- あじさい公園や二千年蓮、魚沼スカイラインなどの魅力ある地域資源を活用し、良好な景観形成を図ります。
- 大地の芸術祭においては、地域内の作品を活用して通年誘客や地域振興に取り組みます。

⑦ 地域コミュニティ活性化の方針

- 地域コミュニティの強化に向けて、各地区のコミュニティ活動の拠点となる集会所などの整備・改修を支援します。
- 地域の祭りや行事、伝統文化の伝承を通じて世代を超えた交流を推進し、コミュニティの維持・活性化を図ります。
- スポーツ合宿など、地域への来訪者との交流を通じて、コミュニティの維持・活性化を図ります。

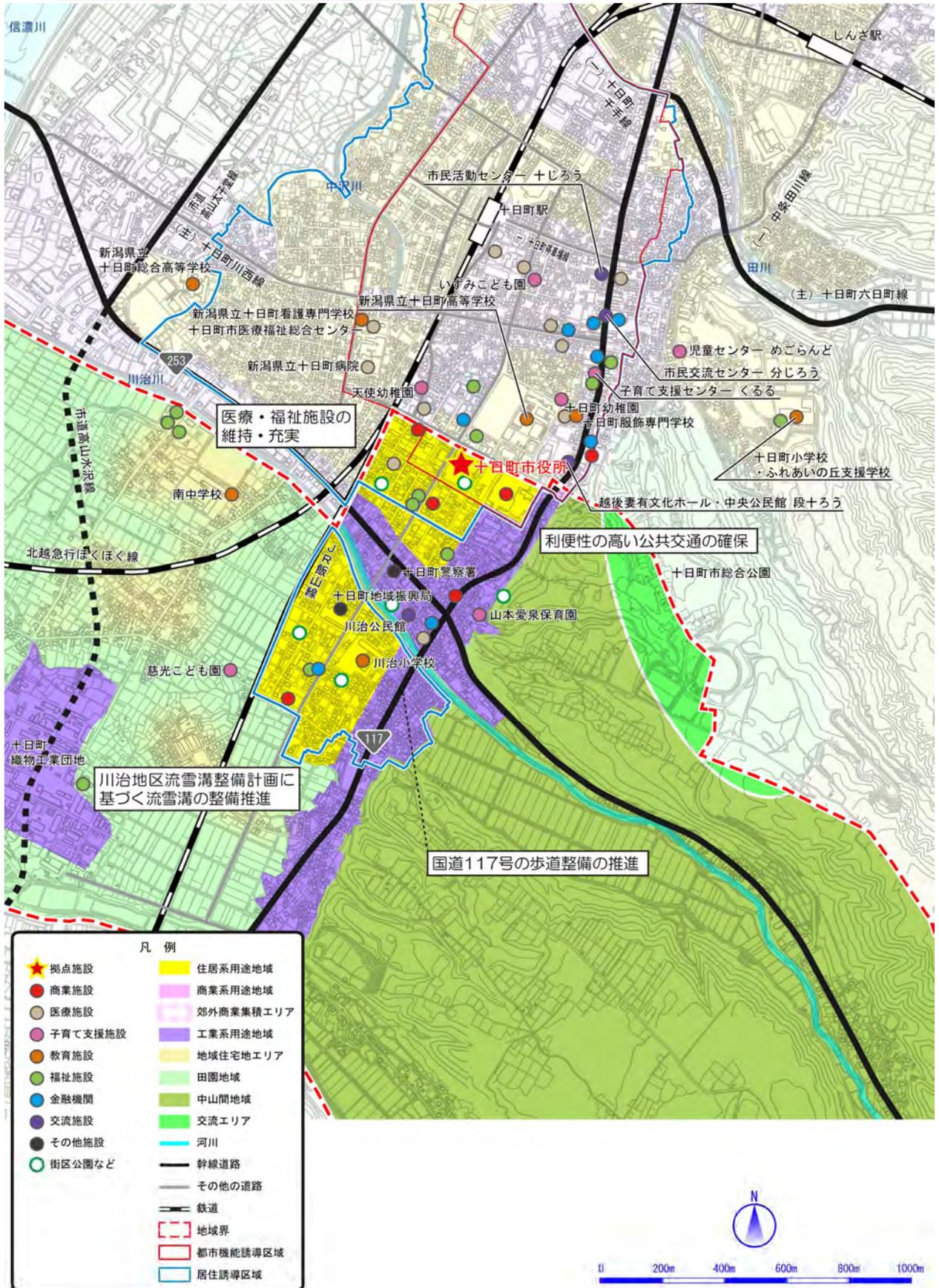


ニツ屋の二千年蓮

地域づくりの方針図



地域拠点づくりの方針図



(5) 中条飛渡地域

1) 地域の現況と課題

① 概況

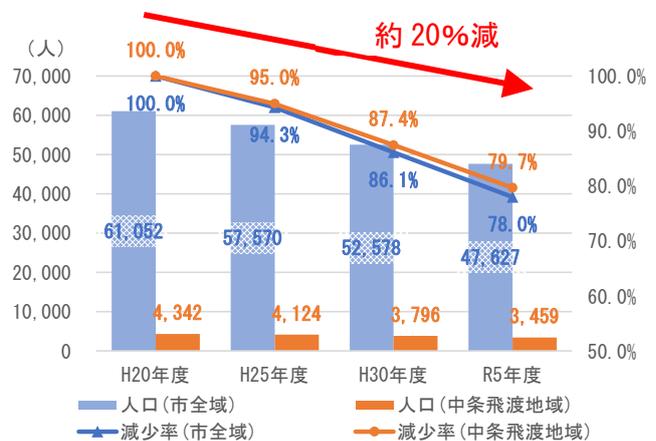
- 中条飛渡地域は、県内唯一の国宝・火焰型土器の出土地や大井田城跡などの歴史的遺産も多い一方で、陸上競技場、笹山野球場を有するスポーツゾーンでもあります。
- 地域内には、南北方向に国道 117 号、県道中条田川線、下条地域との境界付近を東西方向に国道 252 号が通っているほか、JR 飯山線の魚沼中条駅があります。

位置図



② 人口

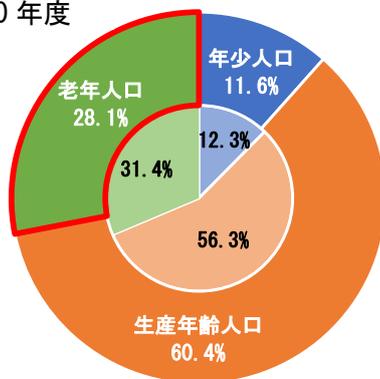
- 中条飛渡地域の総人口は、15 年間で約 20% (約 880 人) 減少していますが、市全域の人口減少率 (-22%) よりやや緩やかな減少となっています。
- 中条飛渡地域の年齢 3 区分構成割合については、少子高齢化が進行しており、特に、老年人口の割合は、市全域の老年人口の割合 (41.7%) を下回るものの、令和 5 年度では 40.7% まで増加しています。



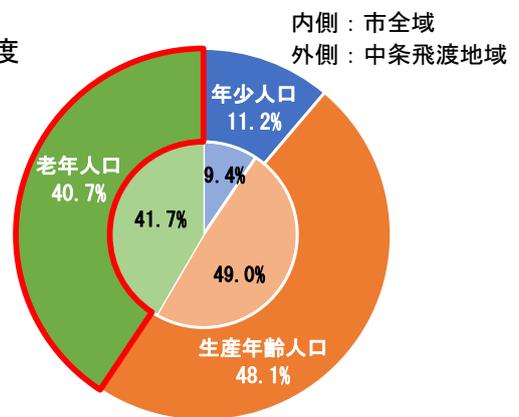
資料：十日町市

図 中条飛渡地域の人口の推移

平成 20 年度



令和 5 年度



※年少人口：0～14 歳、生産年齢人口：15～64 歳、老年人口：65 歳以上

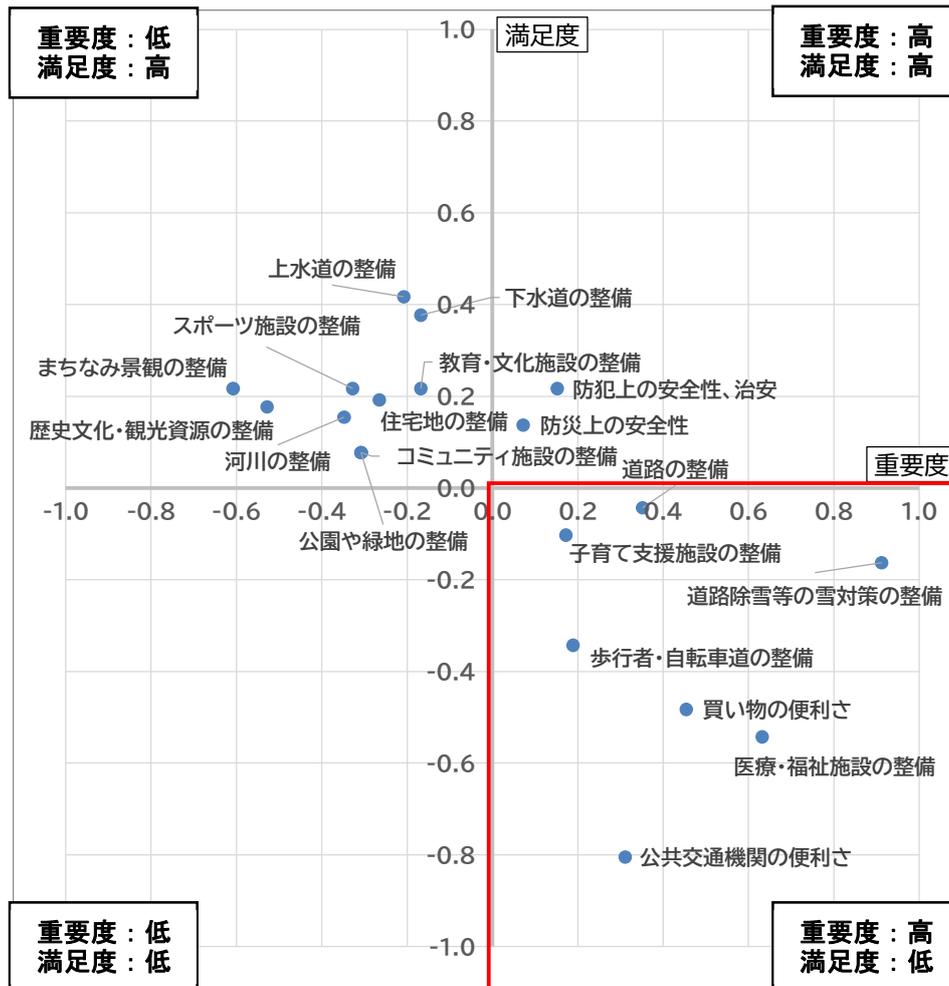
資料：十日町市

図 中条飛渡地域の年齢 3 区分別人口割合の推移

③ 住民意向

【市民アンケートの意見概要】

- 令和4年に実施した市民アンケート調査結果では、中条飛渡地域における地域拠点は「中条公民館」周辺と回答された方が最も多くなっています。
- 生活環境における優先的に改善すべき事項(満足度が低く、重要度が高い)として、「公共交通機関の便利さ」「医療・福祉施設の整備」「買い物の便利さ」「歩行者・自転車道の整備」「道路除雪等の雪対策の整備」「子育て支援施設の整備」「道路の整備」の項目が該当しています。



【市民意見交換会の意見概要】

- 狭いカーブの区間があるので国道 252 号等の道路整備が必要
- 朝の渋滞が発生しており冬期における国道 117 号の渋滞解消が必要
- 子どもや高齢者等が集まれる新しい拠点の整備が必要
- 除雪業者の減少が進んでおり、除雪体制の充実が必要
- 空家の利活用が必要
- 買い物弱者に向けた商業機能の充実が必要
- 笹山遺跡周辺を地域資源として、更なる有効活用が必要
- 地域のスポーツ拠点の有効活用に向けた陸上競技場・笹山野球場の設備充実・強化が必要
- 子育てをしやすい地域とするため、身近な公園等の整備が必要

④ 総合計画における位置づけ

【振興方針（基本構想）】

自然に親しみ歴史に学び～みんなでつくろう夢のある郷土

中条地区と飛渡地区は、一層の連帯を図りながら、国宝・火焰型土器の出土地としての高い価値を生かし、飛渡川や池谷集落を始めとする里山の魅力などをあわせて情報発信します。

【振興方策】

- 笹山遺跡周辺の整備・活用促進による地域活性化
- 地域コミュニティの活性化
- 安全で快適な都市基盤整備の促進
- 南魚沼市、魚沼市への連携ルートの整備
- 里山の魅力とイベントによる交流の促進



十日町市陸上競技場



笹山じょうもん市



田毎の月（三ツ山）

⑤ 地域づくりの主要課題

1 土地利用に関する課題

- ・ 笹山遺跡周辺の歴史・文化拠点の形成
- ・ 飛渡地区の交流人口の拡大
- ・ 農地の保全
- ・ 空地・空家対策の促進

2 都市施設整備に関する課題

- ・ 安全な道路交通環境の創出と道路ネットワークの確立
- ・ 冬期における国道 117 号の渋滞解消に向けた対策の充実
- ・ 国道など交通量の多い幹線道路での歩道整備の推進
- ・ 鉄道やバスなど公共交通機関の利便性向上
- ・ 陸上競技場等の機能維持・保全
- ・ 商業施設の維持
- ・ 子育て支援施設の維持・充実
- ・ 医療・福祉施設の維持・充実

3 防災に関する課題

- ・ 地震・雪害・水害・土砂災害等の自然災害対策の推進
- ・ 避難や救助活動ができる防災組織体制の強化

4 自然環境保全・都市環境形成に関する課題

- ・ 水に親しめる河川環境の保全・整備
- ・ 身近な自然環境の保全
- ・ 適正な地下水の利用
- ・ 環境に配慮した再生可能エネルギーの取組

5 克雪・利雪・親雪に関する課題

- ・ 道路の除雪体制の充実強化
- ・ 冬期の安全な歩行空間の確保
- ・ 安全で快適な冬期生活環境の確保

6 都市景観形成・文化財保全に関する課題

- ・ 地域の文化財の保存・活用
- ・ 信濃川等の良好な河川景観や魚沼丘陵地等の森林景観の保全
- ・ 地域資源の良好な景観形成

7 地域コミュニティ活性化に関する課題

- ・ 地域コミュニティの維持に向けた対策の強化

2) 地域の将来像

自然に親しみ、 いにしへの歴史資源を生かした地域づくり

地域の歴史資源やスポーツ施設を活用するとともに、里山の魅力を生かした地域づくりを推進します。

中条飛渡地域における地域拠点：『中条公民館周辺』

3) 地域づくりの方針

① 土地利用の方針

- 国宝・火焰型土器が出土した笹山遺跡周辺においては、遺跡の保存に努めるとともに、縄文時代を体感できる空間として整備を行い、市民の憩いの場と交流人口を創出し、地域経済の活性化を図ります。
- 飛渡地区においては、里山などの地域の豊かな自然を活用し、移住者の受入れ等、交流人口の拡大に向けた土地利用を図ります。
- 国道 117 号と国道 252 号等の幹線道路の結節点となるエリアでは、その有益性を生かした土地利用を図ります。
- 高品質・良食味米の生産基盤として、また、良好な景観資源として、農地を守る土地利用を推進するとともに、営農環境の向上を図ります。
- 空地・空家を活用した移住定住促進を図ります。

② 都市施設整備の方針

- 国道 117 号とそれを連絡する国道 252 号および主要地方道大和焼野線について、魚沼基幹病院などへのアクセス性を高め、さらなる利便性の向上を図ります。
- 国道 117 号や県道中条田川線における車道の拡幅や未改良区間の早期改善を図るなど、道路ネットワークとしての機能確保や、冬期を含む渋滞解消に努めます。
- 歩行者の安全を確保するため、各道路における必要性や優先度を見極めながら、狭あい箇所の改善や国道 117 号の歩道整備を推進します。

- 地域拠点周辺と十日町駅や市街地の高校、病院等への運行体制の充実など、利便性の高い公共交通の確保を図ります。また、中山間地域に暮らす人々の通院・買い物等の日常生活を支えるため、地域拠点周辺と中山間地域を結ぶ生活交通の維持・利便性向上を図ります。
- 市民のスポーツへの関心を高める場としてハイレベルな大会等の誘致等を図り、陸上競技場等の維持・確保に努めます。
- 日常生活に必要な商業施設の維持を図ります。
- 子育て支援のための各種施設の維持・充実を図ります。
- 日常生活に必要な医療・福祉施設の維持・充実を図ります。
- 中山間地域における合併処理浄化槽の施設整備を推進します。
- 「生活用水確保対策事業補助金要綱」等に基づき、中山間地域の水道未普及地域における生活用水の確保を促進します。

③ 防災の方針

- 雪崩防止施設の設置や段切り工事等を推進し、雪崩危険箇所の早期解消に努めます。
- 自然環境の保全に配慮しながら、森林整備や河川整備、治山・治水施設の整備など、総合的な対策を推進し、水害や土砂災害の防止に努めます。
- 危険区域における地すべり防止対策、急傾斜地崩壊防止対策および土石流災害防止対策を計画的に進め、災害の防止に努めます。
- 住民と行政が協力しながら、地震や豪雨などの災害時における備えなどの対策を計画的に進めます。
- 地域住民の防災意識を高揚し、防災組織体制の強化を図るとともに、災害時における高齢者世帯や障がい者などの災害弱者への対応に備えた取組を推進します。

④ 自然環境保全・都市環境形成の方針

- 信濃川や飛渡川および東側に広がる魚沼丘陵地等の自然環境は、水源かん養や自然災害防止など、多様な公益的機能を担っており、将来にわたり保全していきます。
- 地域住民による環境美化活動などを推進し、里山や鎮守の森など、集落周辺の良好な自然環境の保全に努めます。
- 地下水利用の現状把握に努めるとともに、消雪パイプの節水タイマー設置の拡充、新技術や地中熱など他の手段の切り替えを検討します。
- 豊富な地域資源を生かし、都市環境に配慮した再生可能エネルギーの活用を推進します。

⑤ 克雪・利雪・親雪の方針

- 除雪車のオペレーターの人材確保と育成などに努め、除雪体制の維持を図ります。
- 中山間地域の道路については、危険性等を踏まえた優先度を考慮しながら、幅員の拡大や急勾配、急カーブ、通行止めの解消等の整備を促進し、安全な除雪作業と作業効率の向上を図ります。
- 新たな雪捨て場の整備や、家屋が連たんしている箇所における消雪パイプの更新を順次進めます。
- 集落安心づくり事業や冬期集落安全・安心確保対策事業を活用し、住民が主体となった共助による克雪体制の支援を図ります。また、克雪住まいづくり支援事業の活用促進等により、冬期間でも安心して暮らせる居住環境改善に努めます。

⑥ 都市景観形成・文化財保全の方針

- 「十日町市文化財保存活用地域計画」に基づき、市指定遺跡の「笹山遺跡」およびその出土品、県指定史跡の「大井田城跡」など地域の文化財の保存と管理徹底に努めます。
- 「つなぐ棚田遺産」に認定された池谷・入山の棚田、三ツ山の棚田、枯木又の棚田など、地域内に点在する棚田について、耕作放棄の防止に努め、良好な棚田景観を保全育成します。
- 信濃川等の良好な河川景観や緑豊かな魚沼丘陵地等の森林景観を保全します。
- 伝統的な里山の農村風景や緑豊かな田園景観の保全に努めます。

⑦ 地域コミュニティ活性化の方針

- 大地の芸術祭との連携や地域住民主体で始めた「笹山じょうもん市」など、地域の振興発展に向けた住民主体の活動を支援します。
- 中条地区と飛渡地区が1つの地域としてまとめ、既存の各団体とともに連携していくことで、地域コミュニティの一体感の形成を図り、さらなる地域活性化を図ります。
- 各地区のコミュニティ活動の拠点となる集会所などの整備・改修を支援します。
- 地域の祭り、行事、「天神囃子」などの伝統文化の伝承を通じて世代間の交流を推進し、コミュニティの維持・活性化を図ります。



新水シェアハウス

地域づくりの方針図

国道117号や県道中条田川線の拡幅・未改良区間等の早期改善による道路ネットワークの機能確保

地域拠点周辺と中山間地域を結ぶ生活交通の維持・利便性向上

中山間地域の道路における優先度を考慮した安全な除雪作業と作業効率の向上

魚沼基幹病院などへのアクセス性を高めたさらなる利便性の向上



大地の芸術祭との連携や地域住民主体で始めた「笹山じょうもん市」など、地域の振興発展に向けた住民主体の活動を支援

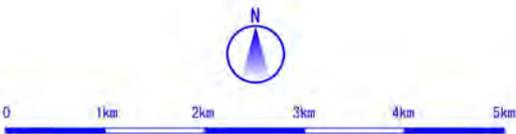
ハイレベルな大会等の誘致等による陸上競技場等の維持・確保

笹山遺跡など地域の文化財の保存と管理徹底

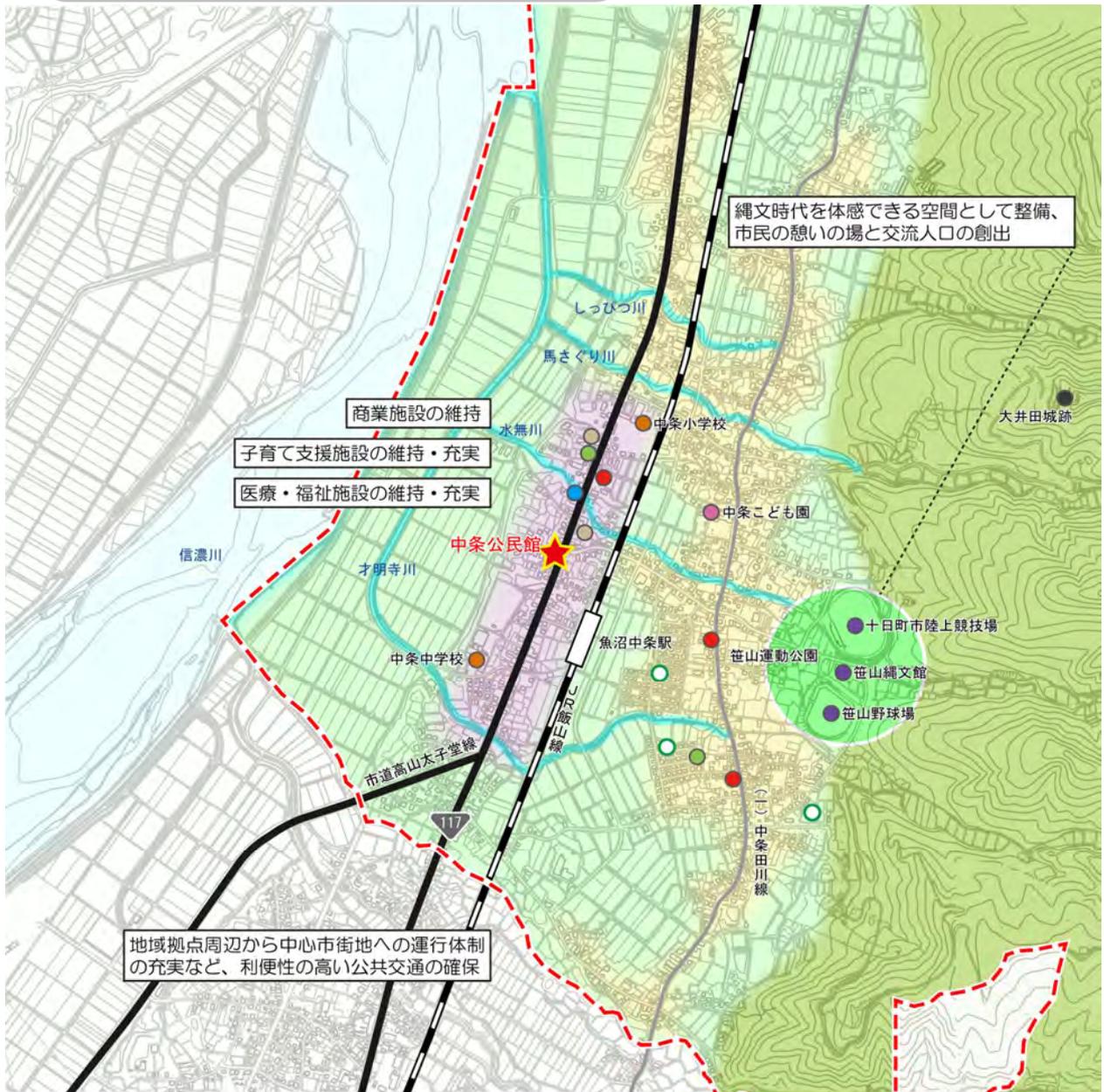
魚沼丘陵地等の自然環境の保全

里山などの地域の豊かな自然を活用した交流人口の拡大に向けた土地利用

凡 例	
地域住宅地エリア	田園地域
地域商業・サービス地エリア	中山間地域
交流エリア	河川
集落（中山間地域）	公共交通ネットワーク
拠点施設	幹線道路
	その他の道路
	鉄道
	地域界



地域拠点づくりの方針図



凡例

★ 拠点施設	地域住宅地エリア
● 商業施設	地域商業・サービスエリア
● 医療施設	田園地域
● 子育て支援施設	中山間地域
● 教育施設	交流エリア
● 福祉施設	河川
● 金融機関	幹線道路
● 交流施設	その他の道路
● その他施設	鉄道
○ 街区公園など	地域界

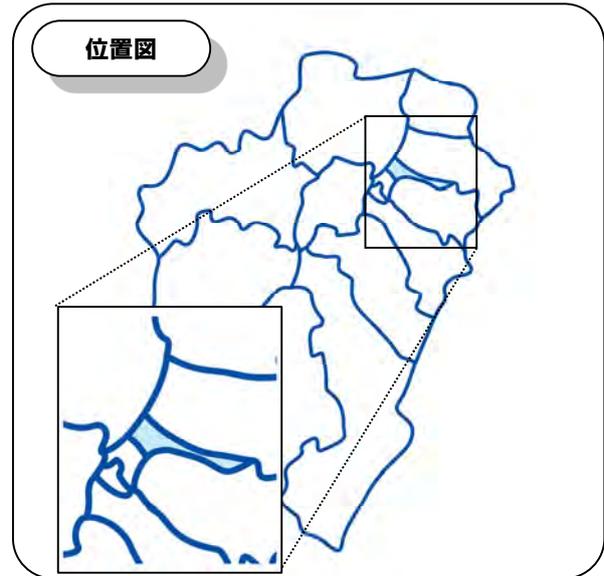


(6) 大井田地域

1) 地域の現況と課題

① 概況

- 大井田地域は、中心市街地に隣接した住宅地が形成されるとともに、その周辺には農地が広がっています。
- 地域内には、南北方向に国道117号、県道中条田川線、JR飯山線が並走しているとともに、市道本町西線や市道高山太子堂線などの道路環境の整備も進められ、市街地への交通ネットワークが形成されています。
- 県指定文化財の神宮寺観音堂・山門を有しているほか、大井田の郷公園などが住民の憩いの場所となっています。



② 人口

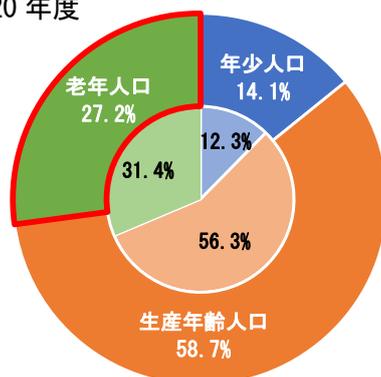
- 大井田地域の総人口は、15年間で約11%（約320人）減少していますが、市全域の人口減少率（-22%）より緩やかな減少となっています。
- 大井田地域の年齢3区分構成割合については、少子高齢化が進行しており、特に、老年人口の割合は、市全域の老年人口の割合（41.7%）を下回るものの、令和5年度では36.5%まで増加しています。



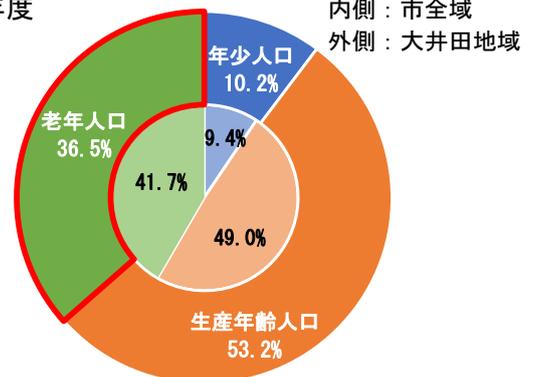
資料：十日町市

図 大井田地域の人口の推移

平成20年度



令和5年度



※年少人口：0～14歳、生産年齢人口：15～64歳、老年人口：65歳以上

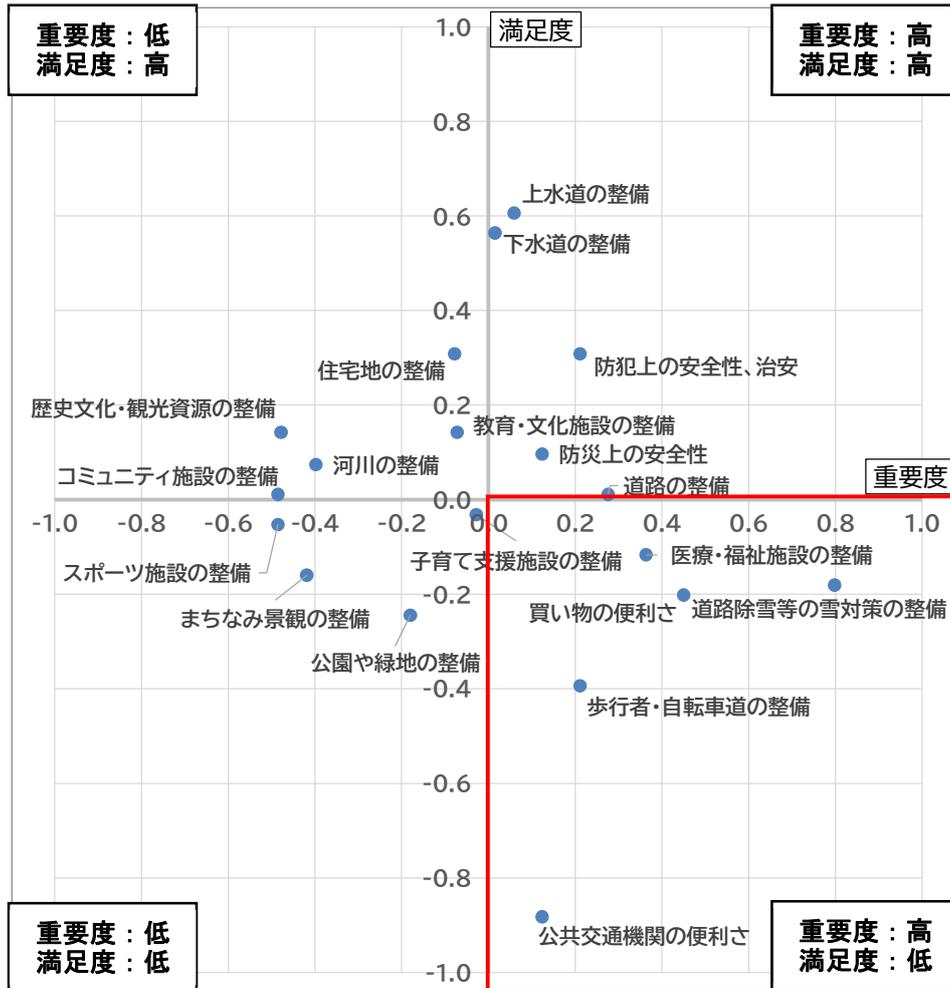
資料：十日町市

図 大井田地域の年齢3区分別人口割合の推移

③ 住民意向

【市民アンケートの意見概要】

- 令和4年に実施した市民アンケート調査結果では、大井田地域における地域拠点
は「大井田コミュニティセンター」周辺と回答された方が最も多くなっています。
- 生活環境における優先的に改善すべき事項(満足度が低く、重要度が高い)として、
「公共交通機関の便利さ」「歩行者・自転車道の整備」「買い物の便利さ」「道路除
雪等の雪対策の整備」「医療・福祉施設の整備」の項目が該当しています。



【市民意見交換会の意見概要】

- 働く場の創出・産業の育成が必要
- 公共交通の充実による生活利便性の向上が必要
- 居住環境の良さを発信し、若者の定住促進につなげることが必要
- 地域資源の情報発信強化が必要
- 地域コミュニティ維持に向けた対策が必要

④ 総合計画における位置づけ

【振興方針（基本構想）】

歴史と文化にふれあい安心して住み続けられる大井田地域をめざして

居住環境などの基盤整備を図るとともに、大井田コミュニティセンターを拠点に住民の交流・親睦活動を推進し、神宮寺周辺の魅力を向上します。

【振興方策】

- 生きがいのあるコミュニティの創造
- 大井田小学校跡地周辺地総合整備計画の推進
- 県指定文化財の神宮寺観音堂・山門を含めた大井田の郷公園付近の整備・保全
- 地域おこしでスモールビジネスの立ち上げ
- 大井田地域の魅力を発信



大井田の郷公園



県指定有形文化財「神宮寺観音堂・山門」

⑤ 地域づくりの主要課題

1 土地利用に関する課題

- ・働く場の確保と商業の育成
- ・農地の保全
- ・空地・空家対策の促進

2 都市施設整備に関する課題

- ・公園・緑地の利用促進と再編・再整備
- ・安全な道路交通環境の創出と道路ネットワークの確立
- ・安全な歩行者空間の確保
- ・バスなど公共交通機関の利便性の向上
- ・商業施設の維持
- ・医療・福祉施設の維持・充実

3 防災に関する課題

- ・地震・雪害・水害・土砂災害等の自然災害対策の推進
- ・避難や救助活動ができる防災組織の体制強化

4 自然環境保全・都市環境形成に関する課題

- ・信濃川や魚沼丘陵地等の良好な自然環境の保全
- ・適正な地下水の利用
- ・環境に配慮した再生可能エネルギーの取組

5 克雪・利雪・親雪に関する課題

- ・道路の除雪体制の充実強化
- ・冬期の安全な歩行空間の確保
- ・安全で快適な冬期生活環境の確保

6 都市景観形成・文化財保全に関する課題

- ・地域の文化財の保存・活用
- ・里山や田園景観の保全

7 地域コミュニティ活性化に関する課題

- ・地域コミュニティ拠点の機能強化
- ・地域コミュニティの維持に向けた対策の強化

2) 地域の将来像

歴史・文化を守りながら 快適に住み続けられる地域づくり

神宮寺観音堂などの歴史・文化資源を保全・活用するとともに、良好な居住環境の確保を図り、快適に住み続けられる地域づくりを推進します。

大井田地域における地域拠点：『大井田コミュニティセンター周辺』

3) 地域づくりの方針

① 土地利用の方針

- 都市計画上の住居系と工業系の用途区分に基づく適正な土地利用を推進することにより、良好な住宅地の形成と働く場の確保を図ります。
- 高品質・良食味米の生産基盤として、また、良好な景観資源として、農地を守る土地利用を推進するとともに、営農環境の向上を図ります。
- 空地・空家を活用した移住定住促進を図ります。

② 都市施設整備の方針

- 地域住民はもとより、他地域の住民からも憩いの場として活用してもらえるよう、神宮寺の森や大井田の郷公園の適正な維持管理に努めるとともに、人口減少などを踏まえた公園の再編整備を検討します。
- 県道中条田川線の拡幅や未改良区間、危険箇所の早期改善を図り、道路ネットワークとしての機能確保に努めます。
- 各道路における必要性や優先度を見極めながら、狭あい箇所の改善や歩行者空間の確保を推進します。
- 高齢者など人にやさしいまちづくりを推進するため、通学路や公共施設、買い物など、歩行者の多い危険箇所を中心に歩道の整備や道路のバリアフリー化を推進します。
- 地域拠点周辺と十日町駅や市街地の高校、病院等への運行体制の充実など、利便性の高い公共交通の確保を図ります。
- 日常生活に必要な商業施設の維持を図ります。
- 日常生活に必要な医療・福祉施設の維持・充実を図ります。

③ 防災の方針

- 地域内に点在する貴重な文化財について、「十日町市文化財保存活用地域計画」に基づき、火災や地震等の災害から保護するため、防災設備の設備や点検管理等の強化を図ります。
- 自然環境の保全に配慮しながら、森林整備や河川整備、治山・治水施設の整備など、総合的な対策を推進し、水害や土砂災害の防止に努めます。
- 危険区域における地すべり防止対策、急傾斜地崩壊防止対策および土石流災害防止対策を計画的に進め、災害の防止に努めます。
- 住民と行政が連携しながら、地震や豪雨などの災害時における備えなどの対策を計画的に進めます。
- 地域住民の防災意識を高揚し、防災組織体制の強化を図るとともに、災害時における高齢者世帯や障がい者などの災害弱者への対応に備えた取組を推進します。

④ 自然環境保全・都市環境形成の方針

- 地域住民による環境美化活動などを推進し、里山や鎮守の森など、集落周辺の良好な自然環境の保全に努めます。
- 地域西端を流れる信濃川および東側に広がる魚沼丘陵地等の自然環境は、水源かん養や自然災害防止など、多様な公益的機能を担っており、将来にわたり保全していきます。
- 地下水利用の現状把握に努めるとともに、消雪パイプの節水タイマー設置の拡充、新技術や地中熱など他の手段の切り替えを検討します。
- 豊富な地域資源を生かし、都市環境に配慮した再生可能エネルギーの活用を推進します。

⑤ 克雪・利雪・親雪の方針

- 除雪車のオペレーターの人材確保と育成などに努め、除雪体制の維持を図ります。
- 必要性や事業実現性を踏まえて、克雪用水の確保を図るとともに、流雪溝の整備を検討します。
- 新たな雪捨て場の整備や、家屋が連たんしている箇所における消雪パイプの更新を順次進めます。
- 集落安心づくり事業や冬期集落安全・安心確保対策事業を活用し、地域や集落が主体となった共助による克雪体制の支援を図ります。また、克雪住まいづくり支援事業の活用促進により、冬期間でも安心して暮らせる居住環境改善に努めます。

⑥ 都市景観形成・文化財保全の方針

- 「十日町市文化財保存活用地域計画」に基づき、県指定有形文化財の「神宮寺観音堂・山門」のほか、神宮寺が所有する県・市指定文化財などの保存と管理の徹底に努めます。
- 里山の農村風景や緑豊かな田園景観の保全に努めます。

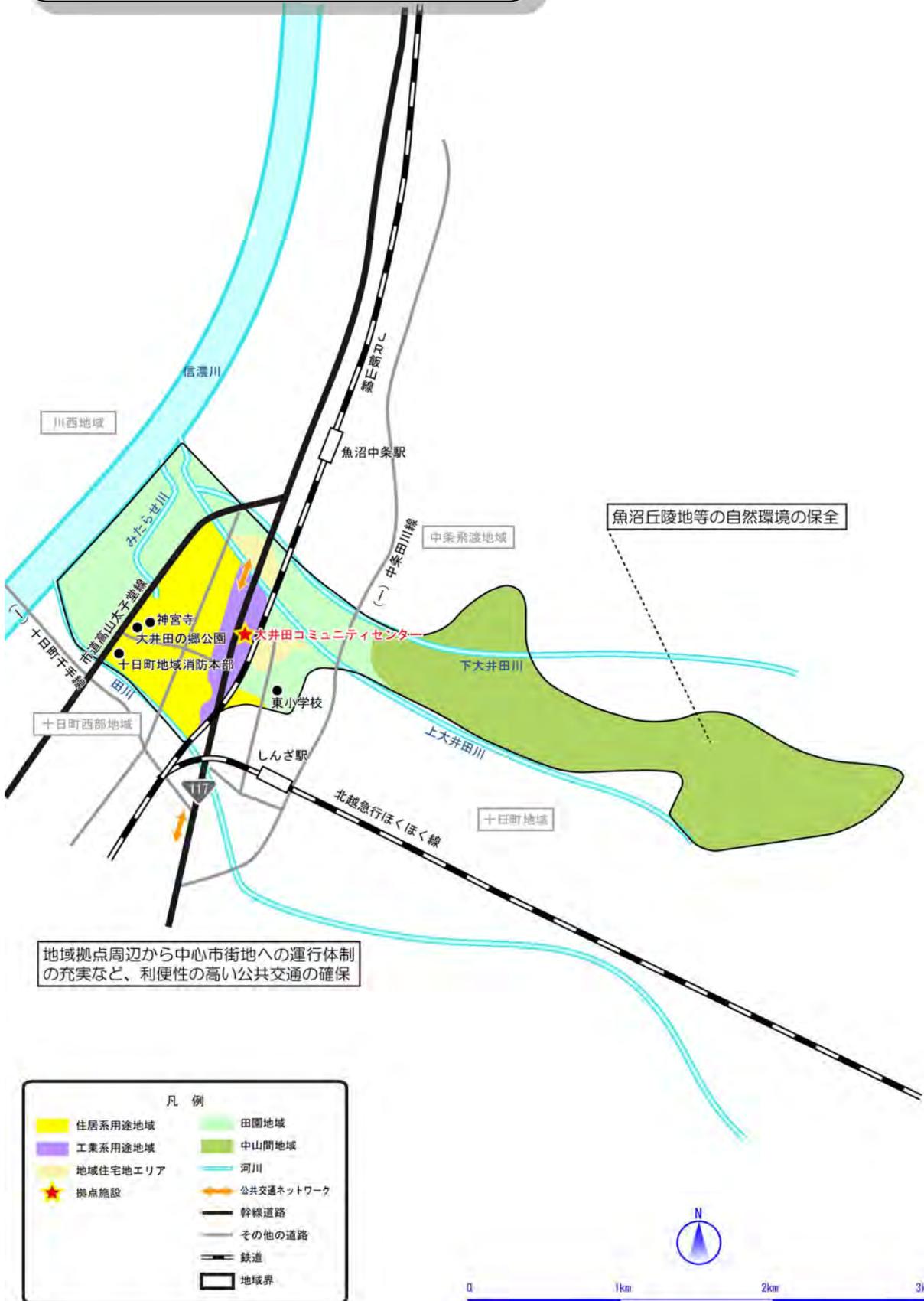
⑦ 地域コミュニティ活性化の方針

- 大井田コミュニティセンターを拠点に住民の交流・親睦活動を支援するとともに、地域拠点としての整備を推進します。
- 各地区のコミュニティ活動の拠点となる集会所などの整備・改修を支援します。
- 地域の祭りや行事、伝統文化の伝承を通じて世代間の交流を推進し、コミュニティの維持・活性化を図ります。



大井田地域の伝統行事「苮蒲ぎり」

地域づくりの方針図



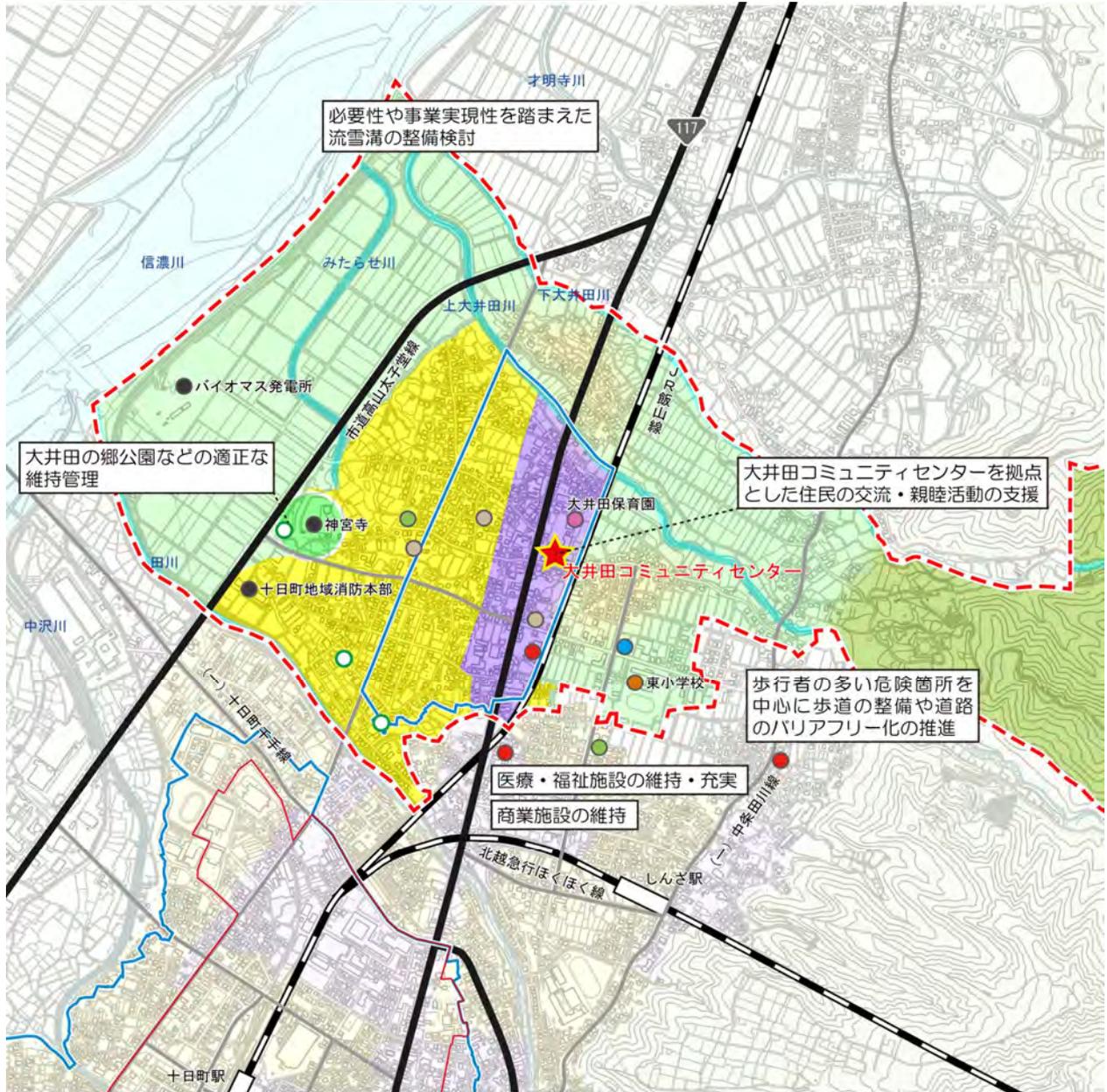
地域拠点周辺から中心市街地への運行体制の充実など、利便性の高い公共交通の確保

凡例

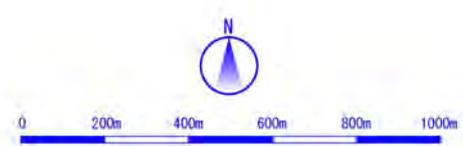
 住居系用途地域	 田園地域
 工業系用途地域	 中山間地域
 地域住宅地エリア	 河川
★ 拠点施設	 公共交通ネットワーク
	 幹線道路
	 その他の道路
	 鉄道
	 地域界



地域拠点づくりの方針図



- 凡例
- ★ 拠点施設
 - 商業施設
 - 医療施設
 - 子育て支援施設
 - 教育施設
 - 福祉施設
 - 金融機関
 - その他施設
 - 街区公園など
 - 住居系用途地域
 - 工業系用途地域
 - 地域住宅地エリア
 - 田園地域
 - 中山間地域
 - 交流エリア
 - 河川
 - 幹線道路
 - その他の道路
 - 鉄道
 - - - 地域界
 - - - 都市機能誘導区域
 - - - 居住誘導区域



(7) 吉田地域

1) 地域の現況と課題

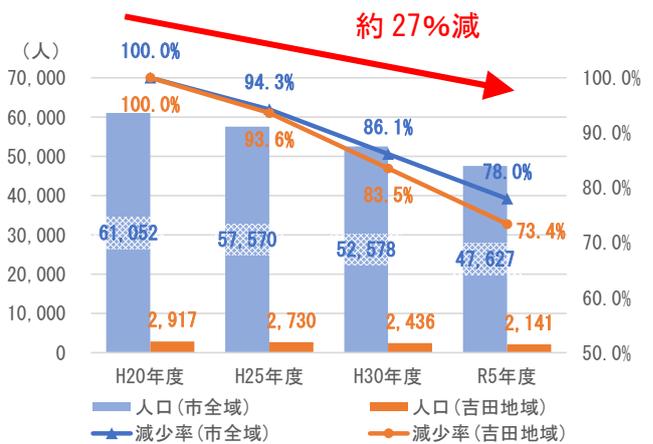
① 概況

- 吉田地域は、河岸段丘上に位置し、中心市街地に近接して本市のほぼ中央に位置しています。
- 地域内には、東西方向に国道 253 号、南北方向に主要地方道小千谷十日町津南線などの幹線道路が通っています。
- 国際スキー連盟公認の吉田クロスカントリー競技場を有したスポーツ活動が盛んな地域です。また、鉢の石仏や中手の黒滝などの豊かな文化・自然資源を有しています。
- 大地の芸術祭の人気作品「絵本と木の実の美術館」は、地域の交流人口拡大の中心施設になっています。



② 人口

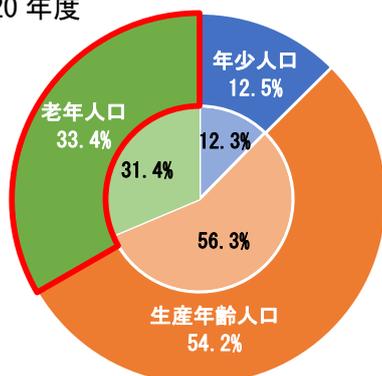
- 吉田地域の総人口は、15 年間で約 27% (約 780 人) 減少しており、市全域の人口減少率 (-22%) を上回っています。
- 吉田地域の年齢 3 区分構成割合については、少子高齢化が進行しており、特に、老年人口の割合は、令和 5 年度で 45.1% となっています。これは、市全域の老年人口の割合 (41.7%) を上回っています。



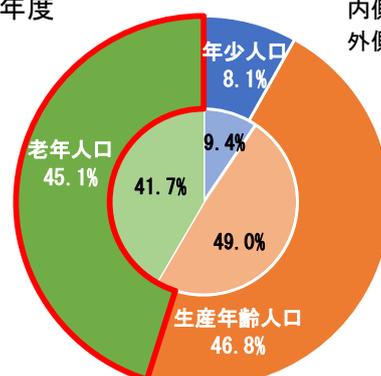
資料：十日町市

図 吉田地域の人口の推移

平成 20 年度



令和 5 年度



内側：市全域
外側：吉田地域

※年少人口：0～14 歳、生産年齢人口：15～64 歳、老年人口：65 歳以上

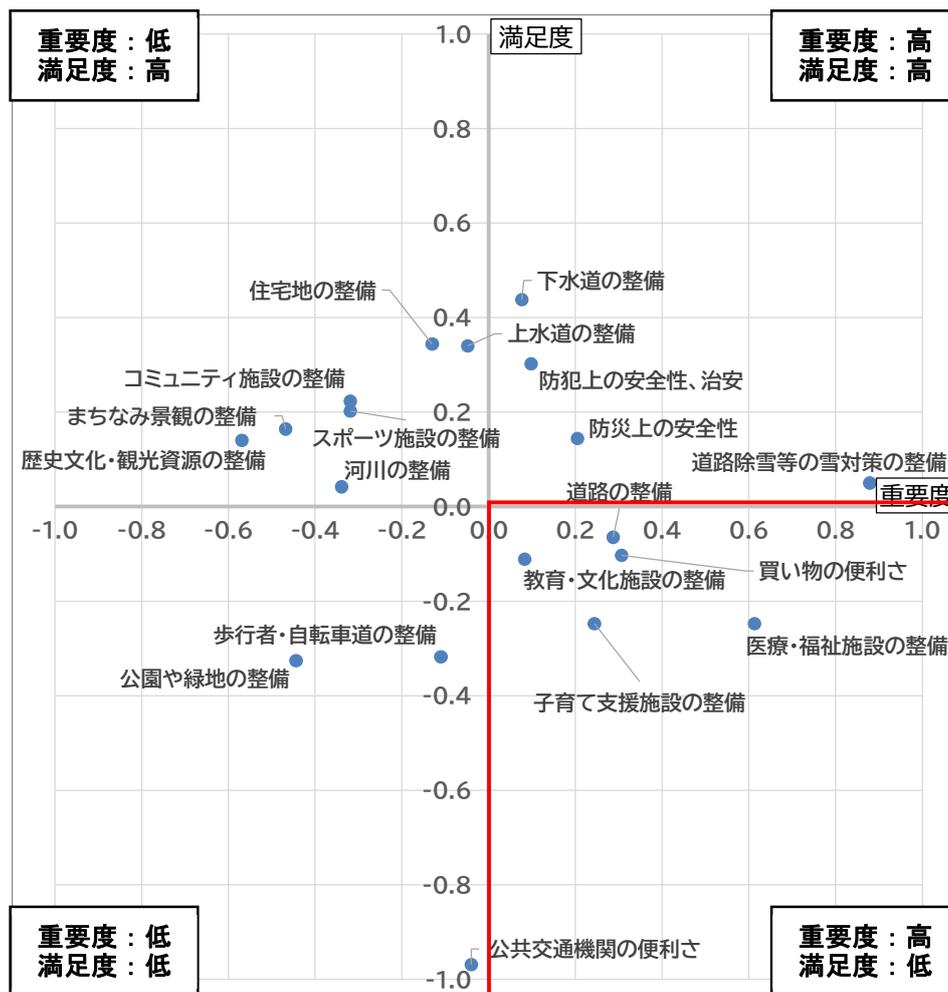
資料：十日町市

図 吉田地域の年齢 3 区分別人口割合の推移

③ 住民意向

【市民アンケートの意見概要】

- 令和4年に実施した市民アンケート調査結果では、吉田地域における地域拠点は「吉田公民館」と「吉田クロスカントリー競技場」周辺と回答された方が多くなっています。
- 生活環境における優先的に改善すべき事項(満足度が低く、重要度が高い)として、「医療・福祉施設の整備」「子育て支援施設の整備」「教育・文化施設の整備」「買い物の便利さ」「道路の整備」の項目が該当しています。



【市民意見交換会の意見概要】

- 子育て・教育環境の更なる充実が必要
- 有名な地域資源を生かすため、吉田クロスカントリー競技場の有効活用が必要
- 空地・空家対策が必要
- 地域に上越魚沼振興快速道路のインターチェンジ整備推進が必要

④ 総合計画における位置づけ

【振興方針（基本構想）】

心を合わせ吉田地域の未来を一步ずつ

一層の農業振興を図るとともに、吉田クロスカントリー競技場への各種大会や合宿の誘致、自然、歴史・文化資源などを活用した交流を図ります。

【振興方策】

- 吉田クロスカントリー競技場を活用した地域の活性化
- 地域資源の積極的PRと活用
- 中魚沼丘陵の新たな魅力の発掘と発進
- 多様な地場特産物の開発
- 安心して暮らせる地域づくり



鉢&田島征三「絵本と木の実の美術館」



吉田クロスカントリー競技場

⑤ 地域づくりの主要課題

1 土地利用に関する課題

- ・ 吉田クロスカントリー競技場の有効活用
- ・ 東頸城丘陵の資源を活用した地域の魅力づくり
- ・ 農地の保全
- ・ 空地・空家対策の促進

2 都市施設整備に関する課題

- ・ 幹線道路の整備充実と道路ネットワークの確立
- ・ バスなど公共交通機関の利便性の向上
- ・ 商業施設の維持
- ・ 子育て支援施設の維持・充実
- ・ 医療・福祉施設の維持・充実

3 防災に関する課題

- ・ 地震・雪害・水害・土砂災害等の自然災害対策の推進
- ・ 避難や救助活動ができる防災組織体制の強化

4 自然環境保全・都市環境形成に関する課題

- ・ 信濃川や東頸城丘陵等の良好な自然環境の保全
- ・ 適正な地下水の利用
- ・ 環境に配慮した再生可能エネルギーの取組

5 克雪・利雪・親雪に関する課題

- ・ 道路の除雪体制の充実強化
- ・ 冬期の安全な歩行空間の確保
- ・ 安全で快適な冬期生活環境の確保

6 都市景観形成・文化財保全に関する課題

- ・ 信濃川等の良好な河川景観や東頸城丘陵等の森林景観の保全
- ・ 地域資源を生かした良好な景観形成

7 地域コミュニティ活性化に関する課題

- ・ 教育・文化環境の維持・充実
- ・ 地域コミュニティの維持に向けた対策の強化

2) 地域の将来像

**スポーツ・レクリエーション空間を活用した
魅力ある拠点の形成と活気ある地域づくり**

魅力あるスポーツ・レクリエーション空間づくりをはじめ、地域資源の活用とPRを推進し、ふれあい・交流による活気ある地域づくりを推進します。

吉田地域における地域拠点：『吉田公民館

・吉田クロスカントリー競技場周辺』

3) 地域づくりの方針

① 土地利用の方針

- 国際スキー連盟公認施設「吉田クロスカントリー競技場」においては、全国規模の大会を誘致・開催するとともに、夏場はレクリエーション空間としてさらなる有効活用を図ります。
- 山谷染色団地など既存の工業地については、上越魚沼地域振興快速道路に近接した立地の有利さを生かして、地域の発展に寄与する土地利用を推進します。
- 沖之原住宅団地について、地域の魅力を生かした良質な宅地供給を推進し、良好な住宅地の形成を図ります。
- 地域西側に広がる東頸城丘陵について、山並みの眺望やハイキング、森林浴、自然観察等が体験できる観光ゾーンとしての土地利用を図ります。
- 高品質・良食味米の生産基盤として、また、良好な景観資源として、農地を守る土地利用を推進するとともに、営農環境の向上を図ります。
- 空地・空家を活用した移住定住促進を図ります。

② 都市施設整備の方針

- 主要地方道、県道の整備改良や市道の拡幅整備等を推進し、上越魚沼地域振興快速道路や国道253号等との有機的な交通ルートの確立によりさらなる地域振興・発展を図ります。
- 上越魚沼地域振興快速道路インターチェンジの誘致を進め、安全安心な道路ネットワークの構築と地域経済の活性化を図ります。
- 各道路における必要性や優先度を見極めながら、狭あい箇所の整備や歩行者空間の確保を推進します。

- 地域拠点周辺と十日町駅や市街地の高校、病院等への運行体制の充実など、利便性の高い公共交通の確保を図ります。また、中山間地域に暮らす人々の通院・買い物等の日常生活を支えるため、地域拠点周辺と中山間地域を結ぶ生活交通の維持・利便性向上を図ります。
- 信濃川運動公園について、市民のスポーツ・レクリエーション拠点として、適切な維持管理に努めます。
- 日常生活に必要な商業施設の維持を図ります。
- 子育て支援のための各種施設の維持・充実を図ります。
- 日常生活に必要な医療・福祉施設の維持・充実を図ります。
- 中山間地域における合併処理浄化槽の施設整備を推進します。

③ 防災の方針

- 雪崩防止施設の設置や段切り工事等を推進し、雪崩危険箇所の早期解消に努めます。
- 自然環境の保全に配慮しながら、森林整備や河川整備、治山・治水施設の整備など、総合的な対策を推進し、水害や土砂災害の防止に努めます。
- 危険区域における地すべり防止対策、急傾斜地崩壊防止対策および土石流災害防止対策を計画的に進め、災害の防止に努めます。
- 住民と行政が協力しながら、地震や豪雨などの災害時における備えなどの対策を計画的に進めます。
- 地域住民の防災意識を高揚し、防災組織体制の強化を図るとともに、災害時における高齢者世帯や障がい者などの災害弱者への対応に備えた取組を推進します。

④ 自然環境保全・都市環境形成の方針

- 東頸城丘陵の良好な森林環境の保全や里山、鎮守の森など、集落周辺の良好な自然環境の保全に努めます。
- うるおい豊かな信濃川の水辺環境の保全を図ります。
- 地下水利用の現状把握に努めるとともに、消雪パイプの節水タイマー設置の拡充、新技術や地中熱など他の手段の切り替えを検討します。
- 豊かな地域資源を生かし、都市環境に配慮した再生可能エネルギーの活用を推進します。

⑤ 克雪・利雪・親雪の方針

- 除雪車のオペレーターの人材確保と育成などに努め、除雪体制の維持を図ります。
- 中山間地域の道路については、危険性等を踏まえた優先度を考慮しながら、幅員の拡大や急こう配・急カーブ・通行止めの解消等の整備を促進し、安全な除雪作業と作業効率の向上を図ります。
- 必要性や事業実現性を踏まえて、克雪用水の確保を図るとともに、流雪溝の整備を検討します。

- 新たな雪捨て場の整備や、家屋が連たんしている箇所における消雪パイプの更新を順次進めます。
- 集落安心づくり事業や冬期集落安全・安心確保対策事業を活用して、地域や集落が主体の共助による克雪体制の支援を図ります。また、克雪住まいづくり支援事業の活用促進により、冬期間でも安心して暮らせる居住環境改善に努めます。
- 吉田クロスカントリー競技場での各種大会や雪を利用したイベントの開催を推進するとともに、積極的に情報を発信します。

⑥ 都市景観形成・文化財保全の方針

- 信濃川や市街地の夜景、魚沼丘陵を望む眺望点を選定し、眺望空間の整備を図ります。
- 河岸段丘上の田園景観の保全に努めます。
- 周辺との調和に配慮しながら、利便性の高い居住空間や良好な住宅地の景観形成を図ります。
- 大地の芸術祭においては、拠点施設である「絵本と木の実の美術館」を中心に、通年誘客や新たな活用策に取り組みます。

⑦ 地域コミュニティ活性化の方針

- 地域全体で子どもたちの育成を支援し、地域活性化を図ります。
- 地域の祭り、行事、伝統文化の伝承を通じて世代間の交流を推進し、コミュニティの維持・活性化を図ります。
- 各地区のコミュニティ活動の拠点となる集会所などの整備・改修を支援します。

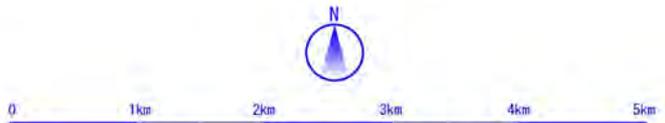


吉田中学校生徒と地元住民が協働で開催する「YOSHIDA 祭」

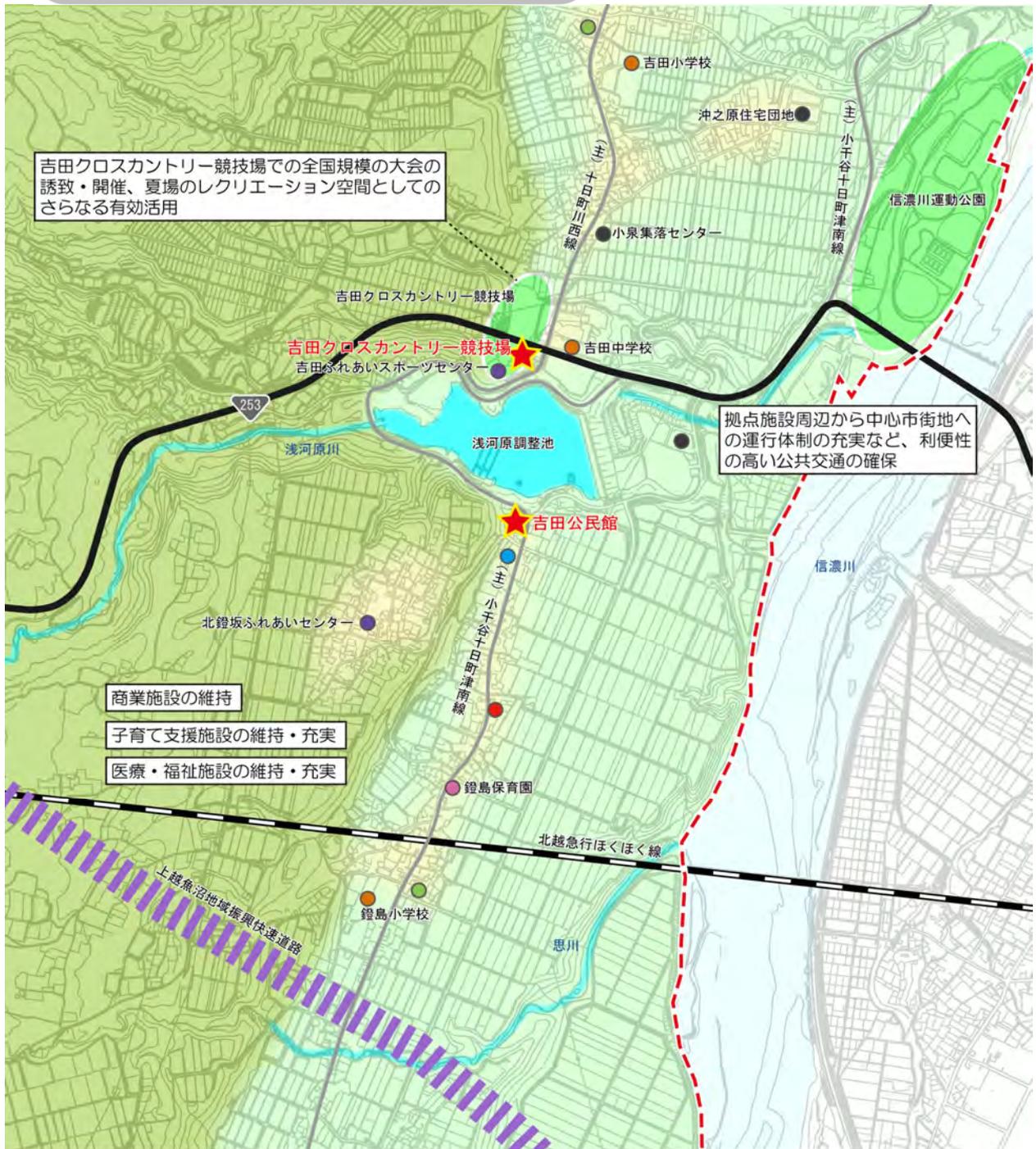
地域づくりの方針図



凡例	
地域住宅地エリア	田園地域
地域工業地エリア	中山間地域
交流エリア	河川
集落（中山間地域）	公共交通ネットワーク
拠点施設	幹線道路
	その他の道路
	鉄道
	地域界



地域拠点づくりの方針図



吉田クロスカントリー競技場での全国規模の大会の誘致・開催、夏場のレクリエーション空間としてのさらなる有効活用

拠点施設周辺から中心市街地への運行体制の充実など、利便性の高い公共交通の確保

- 商業施設の維持
- 子育て支援施設の維持・充実
- 医療・福祉施設の維持・充実

凡例	
★ 拠点施設	地域住宅地エリア
● 商業施設	田園地域
● 子育て支援施設	中山間地域
● 教育施設	交流エリア
● 福祉施設	河川
● 金融機関	幹線道路
● 交流施設	その他の道路
● その他施設	鉄道
	地域界



(8) 下条地域

1) 地域の現況と課題

① 概況

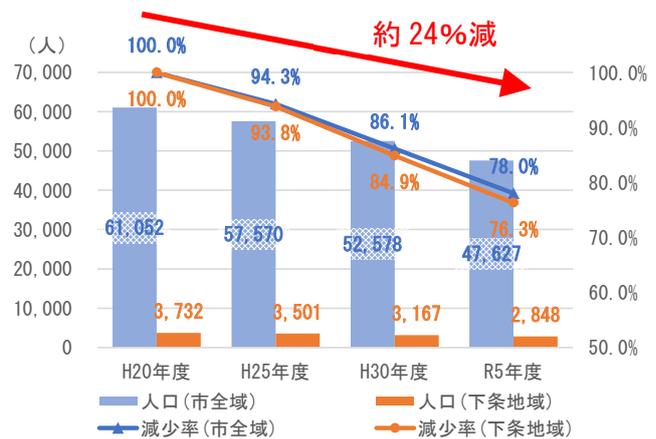
- 本市の北部に位置し、小千谷市と接しており、関越自動車道越後川口ICから本市に向かう入口にあたります。
- 地域内を国道117号、JR飯山線が南北に並行して通っており、下条駅があります。
- 地域の中央に医療・高齢者施設や認定こども園などが集積され、バランスのとれた生活環境が形成されています。

位置図



② 人口

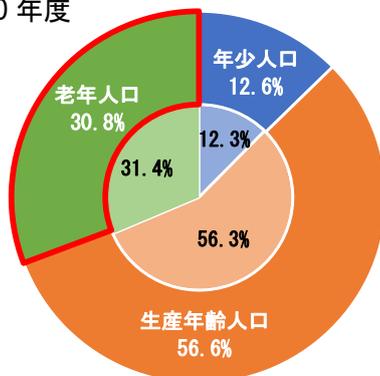
- 下条地域の総人口は、15年間で約24%（約880人）減少しており、市全域の人口減少率（-22%）を上回っています。
- 下条地域の年齢3区分構成割合については、少子高齢化が進行しており、特に、老年人口の割合は、令和5年度で43.2%となっています。これは、市全域の老年人口の割合（41.7%）を上回っています。



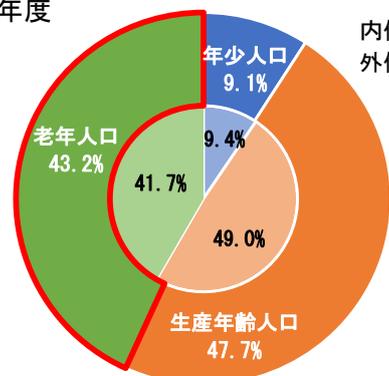
資料：十日町市

図 下条地域の人口の推移

平成20年度



令和5年度



内側：市全域
外側：下条地域

※年少人口：0～14歳、生産年齢人口：15～64歳、老年人口：65歳以上

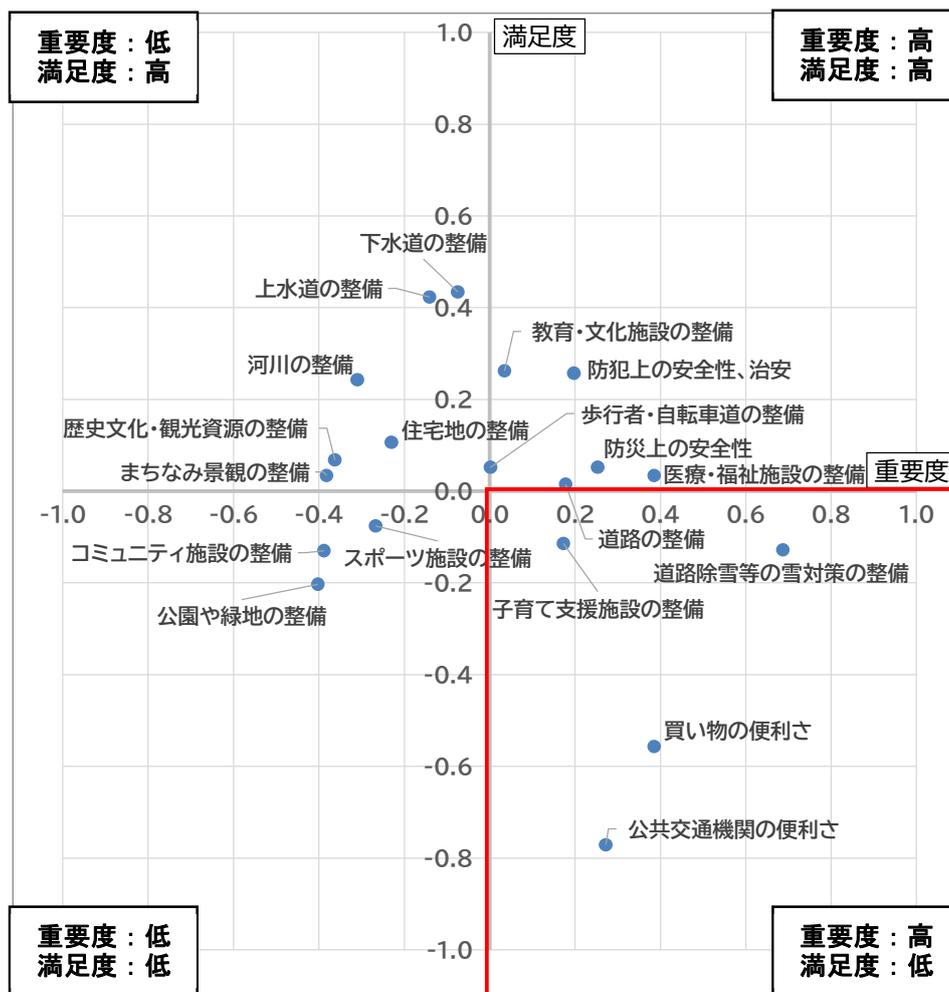
資料：十日町市

図 下条地域の年齢3区分別人口割合の推移

③ 住民意向

【市民アンケートの意見概要】

- 令和4年に実施した市民アンケート調査結果では、下条地域における地域拠点は「下条公民館」周辺と回答された方が最も多くなっています。
- 生活環境における優先的に改善すべき事項(満足度が低く、重要度が高い)として、「公共交通機関の便利さ」「買い物の便利さ」「道路除雪等の雪対策の整備」「子育て支援施設の整備」の項目が該当しています。



【市民意見交換会の意見概要】

- 買い物弱者への対策が必要
- 冬期の渋滞緩和に向けて交通体系の構築が必要
- 災害時の対応として、十日町インターチェンジに連絡できる国道117号バイパスの整備検討が必要
- 地域の公共交通の利便性向上や高齢者の買い物支援に向けて、ライドシェア等の導入検討が必要
- 新たな地域活動の拠点整備が必要
- 空家対策が必要

④ 総合計画における位置づけ

【振興方針（基本構想）】

豊かな自然、確かな絆、明るい明日

子育て、人材の育成、野首遺跡や新保広大寺節など歴史・伝統文化の保存・普及活動、日野市をはじめとした交流活動など、多様で活発な取組を進展させます。

【振興方策】

- 共生社会実現に向けた地域づくりの推進
- 多様な地域資源や人材の活用による将来を担う人づくり
- 交流促進による地域の活性化
- 生活環境の整備および防災体制の強化
- 指定棚田地域振興活動の推進
- 公共施設の有効活用



地元住民と来訪者のふれあい「うぶすなの家」



野首遺跡の出土品（県指定考古資料）



慶地の棚田

⑤ 地域づくりの主要課題

1 土地利用に関する課題

- ・農地の保全
- ・空地・空家対策の促進

2 都市施設整備に関する課題

- ・安全な道路交通環境の創出と道路ネットワークの確立
- ・冬期の渋滞緩和に向けた交通体系の構築
- ・安全な歩行者空間の確保
- ・鉄道やバスなど公共交通機関の利便性向上
- ・緑に親しめる公園や緑地の保全・整備
- ・商業施設の維持
- ・医療・福祉施設の維持・充実
- ・子育て支援施設等の維持・充実

3 防災に関する課題

- ・地震・雪害・水害・土砂災害等の自然災害・原子力災害対策の推進
- ・避難や救助活動ができる防災組織体制の強化

4 自然環境保全・都市環境形成に関する課題

- ・信濃川や魚沼丘陵地等の良好な自然環境の保全
- ・適正な地下水の利用
- ・環境に配慮した再生可能エネルギーの取組

5 克雪・利雪・親雪に関する課題

- ・道路の除雪体制の充実強化
- ・冬期の安全な歩行空間の確保
- ・安全で快適な冬期生活環境の確保

6 都市景観形成・文化財保全に関する課題

- ・棚田の景観の保全
- ・地域の文化財の保存・活用
- ・信濃川等の良好な河川景観や魚沼丘陵地等の森林景観の保全

7 地域コミュニティ活性化に関する課題

- ・地域コミュニティ拠点の機能強化
- ・地域コミュニティの維持に向けた対策の強化

2) 地域の将来像

豊かな自然に囲まれ 確かな絆と支えあいのある安全・安心な地域づくり

災害に対する安全性の向上や公共交通の維持・利便性向上など、安全・安心で住みよい生活環境の確保を図ります。また、伝統文化の継承や地域行事での交流を通じて、住民同士が支えあう地域づくりを推進します。

下条地域における地域拠点：『下条公民館周辺』

3) 地域づくりの方針

① 土地利用の方針

- 中山間地域の棚田や里山環境を保全するため、集落機能の維持・向上に向けた土地利用を図ります。
- 高品質・良食味米の生産基盤として、また、良好な景観資源として、農地を守る土地利用を推進するとともに、営農環境の向上を図ります。
- 空地・空家を活用した移住定住促進を図ります。

② 都市施設整備の方針

- 県道や幹線市道等における車道の拡幅や未改良区間、危険箇所の早期改善を図り、道路ネットワークとしての機能確保に努めるとともに、冬期を含む渋滞解消に向けた対策を検討します。
- 各道路における必要性や優先度を見極めながら、狭あい箇所の改善や歩行者空間の確保を推進します。
- 地域拠点周辺と十日町駅や市街地の高校、病院等への運行体制の充実など、利便性の高い公共交通の確保を図ります。また、中山間地域に暮らす人々の通院・買い物等の日常生活を支えるため、地域拠点周辺と中山間地域を結ぶ生活交通の維持・利便性向上を図ります。
- 神明水辺公園を中心とした、自然とふれあえる憩いの場の整備と維持管理に努めます。
- 日常生活に必要な商業施設の維持を図ります。
- 日常生活に必要な医療・福祉施設の維持・充実を図ります。
- 子育て支援のための各種施設の維持・充実を図ります。
- 中山間地域における合併処理浄化槽の施設整備を推進します。

③ 防災の方針

- 近年多発する自然災害や原子力災害に備え、防災体制の一層の連携強化を進めます。
- 災害時の対応として、国道117号を補完する道路ネットワークを検討します。
- 雪崩防止施設の設置や段切り工事等を推進し、雪崩危険箇所の早期解消に努めます。
- 自然環境の保全に配慮しながら、森林整備や河川整備、治山・治水施設の整備など、総合的な対策を推進し、水害や土砂災害の防止に努めます。
- 危険区域における地すべり防止対策、急傾斜地崩壊防止対策および土石流災害防止対策を計画的に進め、災害の防止に努めます。
- 住民と行政が協力しながら、地震や豪雨などの災害時における備えなどの対策を計画的に進めます。
- 地域住民の防災意識を高揚し、防災組織体制の強化を図るとともに、災害時における高齢者世帯や障がい者などの災害弱者への対応に備えた取組を推進します。

④ 自然環境保全・都市環境形成の方針

- 地域西端を流れる信濃川および東側に広がる魚沼丘陵地等の自然環境は、水源かん養や自然災害防止等の多様な公益的機能を担っており、将来にわたり保全します。
- 地域住民による環境美化活動などを推進し、魚沼丘陵の良好な森林環境の保全や里山、鎮守の森など、集落周辺の良好な自然環境を保全していきます。
- 神明水辺公園を中心とした貝野川の環境整備を進め維持管理に努めます。
- 地下水利用の現状把握に努めるとともに、消雪パイプの節水タイマー設置の拡充、新技術や地中熱など他の手段の切り替えを検討します。
- 豊富な地域資源を生かし、都市環境に配慮した再生可能エネルギーの活用を推進します。

⑤ 克雪・利雪・親雪の方針

- 除雪車のオペレーターの人材確保と育成などに努め、除雪体制の維持を図ります。
- 中山間地域の道路については、危険性等を踏まえた優先度を考慮しながら、幅員の拡大や急勾配、急カーブ、通行止めの解消等の整備を促進し、安全な除雪作業と作業効率の向上を図ります。
- 新たな雪捨て場の整備や、家屋が連たんしている箇所における消雪パイプの更新を順次進めます。
- 集落安心づくり事業や冬期集落安全・安心確保対策事業を活用し、住民が主体となった共助による克雪体制の支援を図ります。また、克雪住まいづくり支援事業の活用促進を図るなど、冬期間でも安心して暮らせる居住環境改善に努めます。

⑥ 都市景観形成・文化財保全の方針

- 「つなぐ棚田遺産」に認定された慶地の棚田と伝統的な里山の農村風景を保全するとともに、地域内に広がる緑豊かな田園風景を良好な郷土景観として維持・保全に努めます。
- 「十日町市文化財保存活用地域計画」に基づき、出土品が県指定考古資料となっている「野首遺跡」など歴史文化遺産の保存と管理の徹底に努めます。
- 信濃川等の良好な河川景観や緑豊かな魚沼丘陵地等の森林景観を保全します。
- 大地の芸術祭においては、拠点施設である「うぶすなの家」を中心に、通年誘客や新たな活用策に取り組みます。

⑦ 地域コミュニティ活性化の方針

- 新保広大寺節など地域の伝統文化を子どもたちに継承するとともに、こども園・小中学校と連携して将来を担う人材の育成に努めます。また、地域内の多様な人材の力が発揮できる機会づくりを支援します。
- 各地区のコミュニティ活動の拠点となる集会所などの整備・改修を支援します。
- 地域の祭りや行事、伝統文化の伝承を通じて世代間の交流を推進し、コミュニティの維持・活性化を図ります。
- 地域コミュニティ拠点施設のあり方などの検討を進め、行政とともに公共施設の改廃および有効活用に取り組みます。

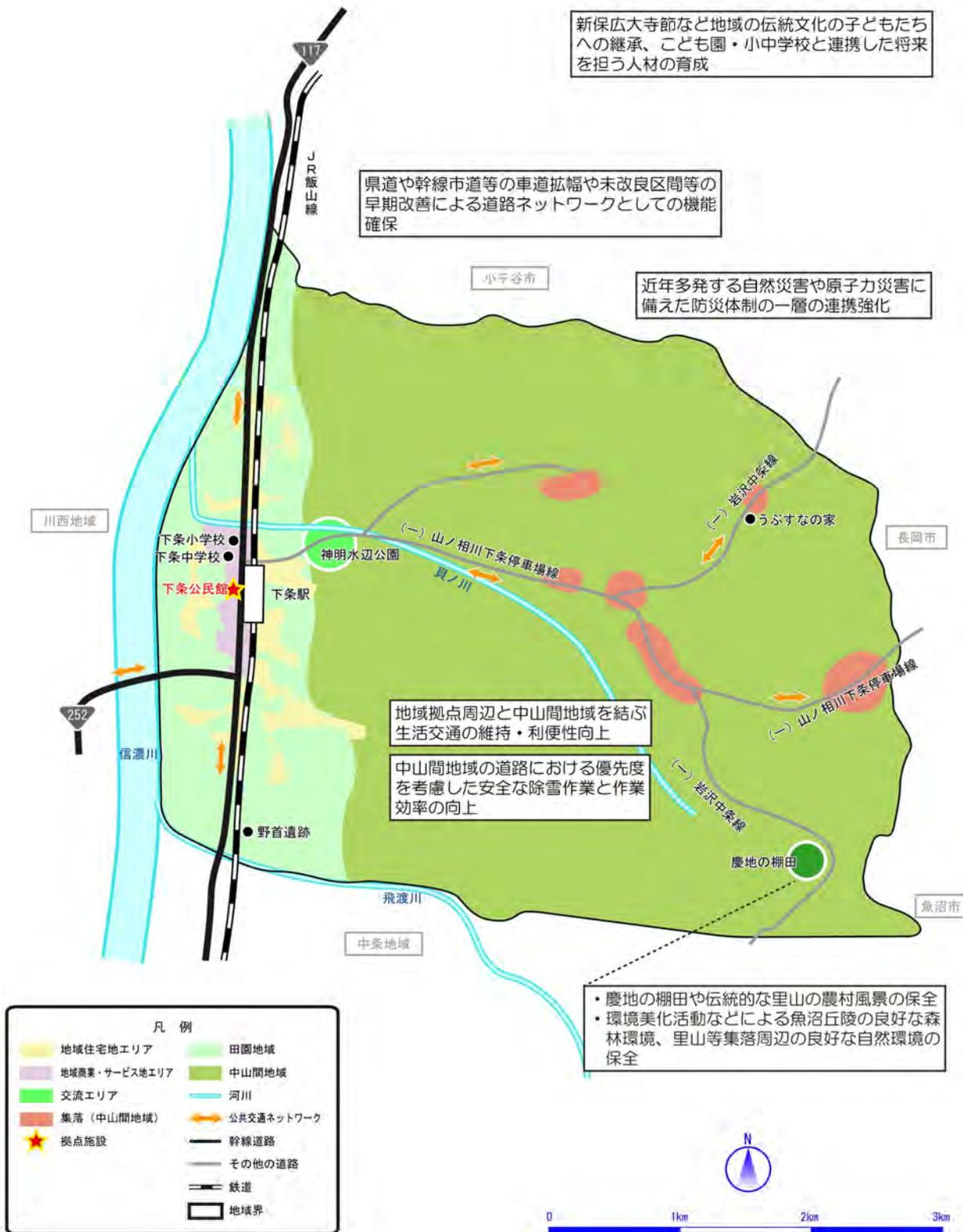


大地の芸術祭来訪者へのおもてなし



市無形民俗文化財「新保広大寺節」

地域づくりの方針図



新保広大寺節など地域の伝統文化の子どもたちへの継承、こども園・小中学校と連携した将来を担う人材の育成

県道や幹線市道等の車道拡幅や未改良区間等の早期改善による道路ネットワークとしての機能確保

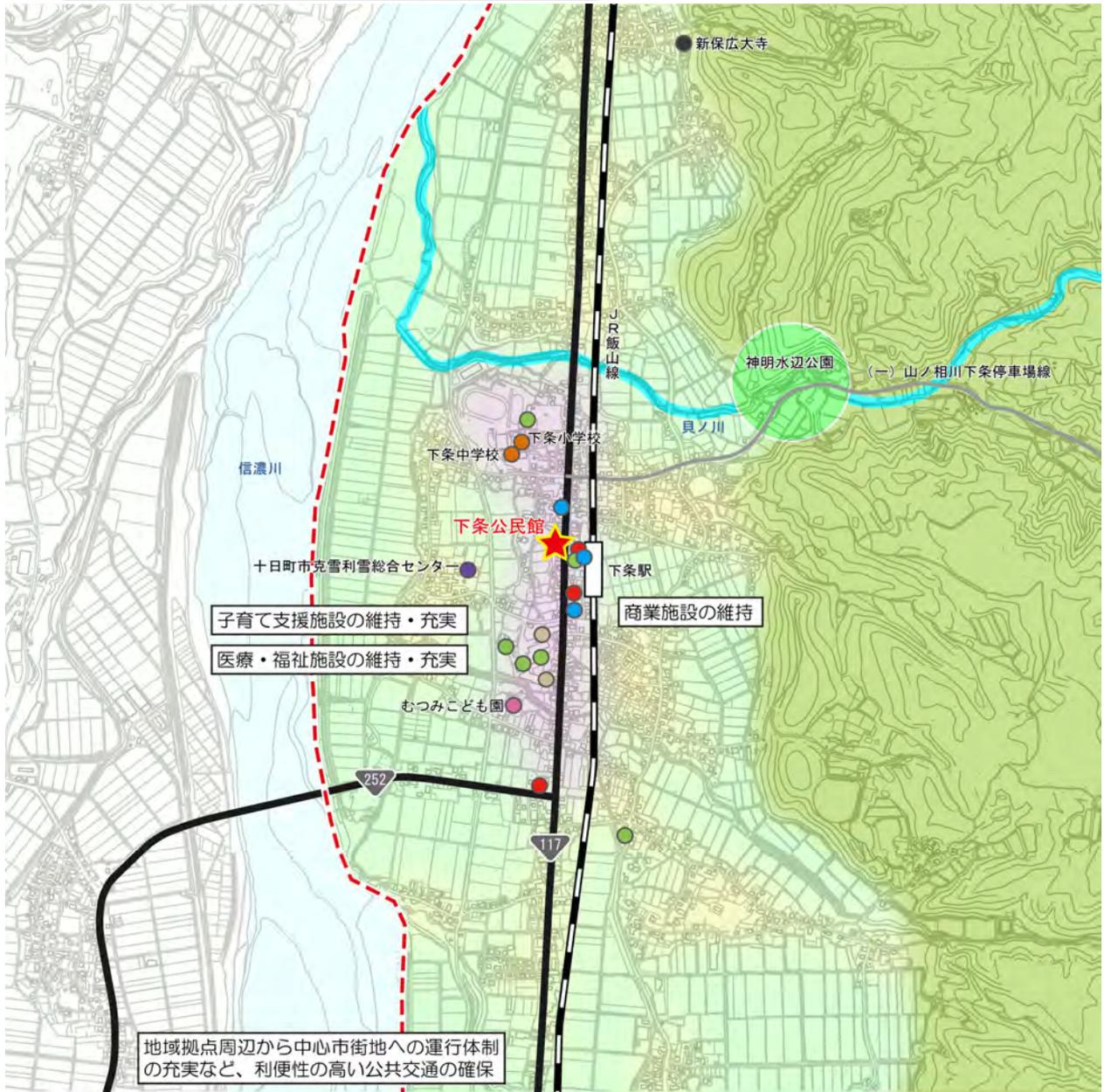
近年多発する自然災害や原子力災害に備えた防災体制の一層の連携強化

地域拠点周辺と中山間地域を結ぶ生活交通の維持・利便性向上

中山間地域の道路における優先度を考慮した安全な除雪作業と作業効率の向上

・慶地の棚田や伝統的な里山の農村風景の保全
・環境美化活動などによる魚沼丘陵の良好な森林環境、里山等集落周辺の良好な自然環境の保全

地域拠点づくりの方針図



- 凡例
- | | |
|-----------|--------------|
| ★ 拠点施設 | 地域住宅地エリア |
| ● 商業施設 | 地域商業・サービスエリア |
| ● 医療施設 | 田園地域 |
| ● 子育て支援施設 | 中山間地域 |
| ● 教育施設 | 交流エリア |
| ● 福祉施設 | 河川 |
| ● 金融機関 | 幹線道路 |
| ● 交流施設 | その他の道路 |
| ● その他施設 | 鉄道 |
| | 地域界 |



(9) 水沢地域

1) 地域の現況と課題

① 概況

○水沢地域は、信濃川の両岸の河岸段丘上に広がる地域で、あてま高原リゾートをはじめ、スキー場やゴルフ場など自然環境を生かした保養空間を形成しているほか、観光栗園、つつじ原公園などの体験型施設があります。

○信濃川右岸側には、南北方向に国道117号とJR飯山線が並走し、地域内にはJR飯山線の土市駅と越後水沢駅があります。また、左岸側には、南北方向に主要地方道小千谷十日町津南線が通っています。

○当間トンネルおよび広域農道の開通によるあてま高原リゾートへのアクセスの向上などが進む一方で、上越魚沼地域振興快速道路十日町道路の整備とともに、(仮称)十日町インターチェンジへのアクセス道となる市道高山水沢線の整備が進められています。

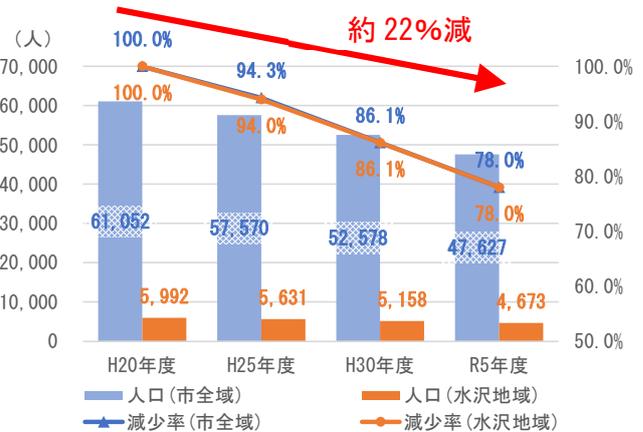
位置図



② 人口

○水沢地域の総人口は、15年間で約22% (約 1,320人) 減少しており、市全域の人口減少率(-22%)と同程度となっています。

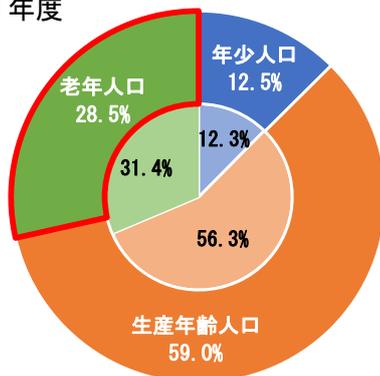
○水沢地域の年齢3区分構成割合については、少子高齢化が進行しており、特に、老年人口の割合は、市全域の老年人口の割合(41.7%)を下回るものの、令和5年度では41.2%まで増加しています。



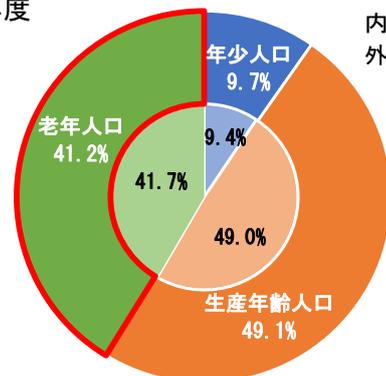
資料：十日町市

図 水沢地域の人口の推移

平成20年度



令和5年度



内側：市全域
外側：水沢地域

※年少人口：0～14歳、生産年齢人口：15～64歳、老年人口：65歳以上

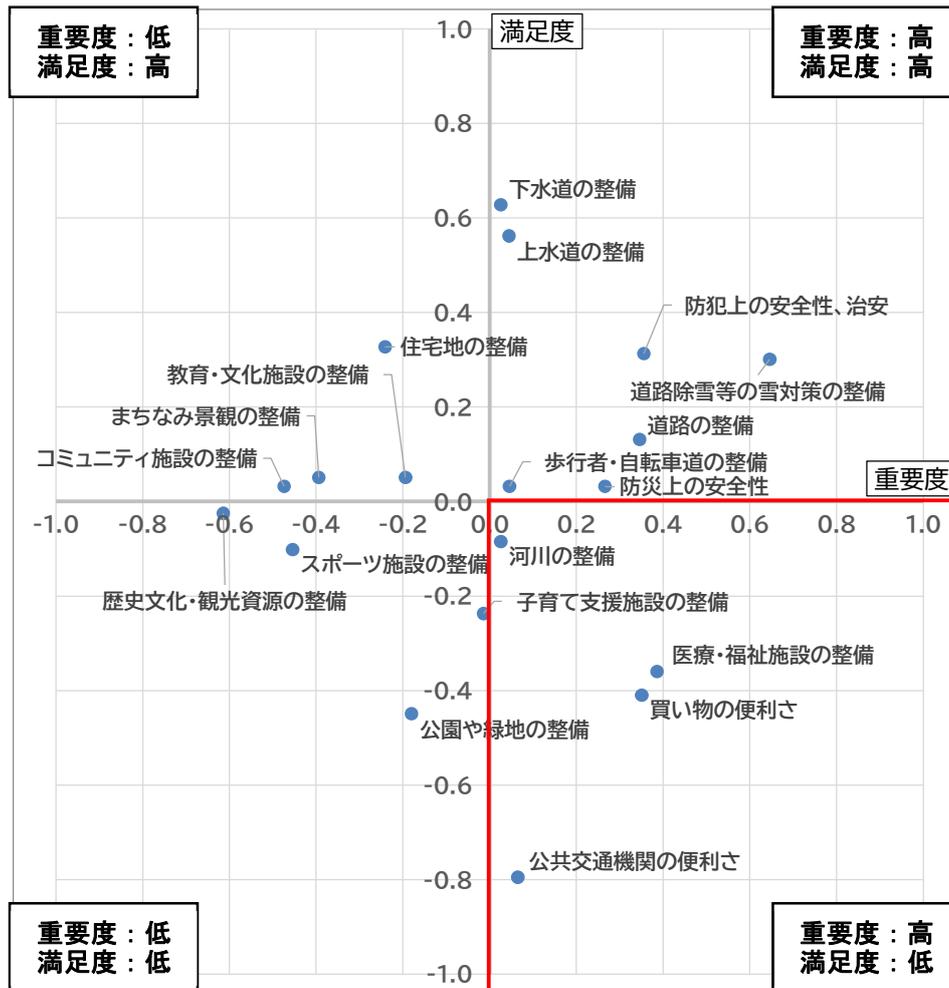
資料：十日町市

図 水沢地域の年齢3区分別人口割合の推移

③ 住民意向

【市民アンケートの意見概要】

- 令和4年に実施した市民アンケート調査結果では、水沢地域における地域拠点は「水沢公民館」周辺と回答された方が最も多くなっています。
- 生活環境における優先的に改善すべき事項(満足度が低く、重要度が高い)として、「公共交通機関の便利さ」「買い物の便利さ」「医療・福祉施設の整備」「河川の整備」の項目が該当しています。



【市民意見交換会の意見概要】

- 定住者を増やすため、上越魚沼地域振興快速道路周辺への住環境整備が必要
- 災害時の対応として、上越魚沼地域振興快速道路から水沢地域・中里地域への道路整備が必要
- 休耕田が増加している棚田の利活用による交流人口の拡大が必要

④ 総合計画における位置づけ

【振興方針（基本構想）】

未来を形に！安全安心で元気で豊かな水沢を造ろう！

当間トンネルおよび広域農道の開通による当間高原リゾートへのアクセスの向上や大規模営農の活性化が進む一方で、上越魚沼地域振興快速道路十日町道路の整備とともに、十日町インターチェンジ（仮称）へのアクセス道となる市道高山水沢線の整備も進められています。インターチェンジ周辺の土地利用を図りながら、地域資源を活用します。

【振興方策】

- 滞在・体験型の交流による活性化
- 上越魚沼地域振興快速道路インターチェンジの設置と周辺整備
- 農産物を生かした地域の活性化
- 地域コミュニティを生かした地域の活性化
- 防犯・防災のまちづくりの推進
- 健康増進・介護予防の向上



当間高原リゾート



土市駅「Kiss & Goodbye」（ジミー・リャオ）



当間多目的グラウンド（クロアチアピッチ）

⑤ 地域づくりの主要課題

1 土地利用に関する課題

- ・ 上越魚沼地域振興快速道路の（仮称）十日町インターチェンジ周辺における計画的な土地利用の推進
- ・ 観光の振興
- ・ 農地の保全
- ・ 空地・空家対策の促進

2 都市施設整備に関する課題

- ・ 上越魚沼地域振興快速道路の整備促進
- ・ 幹線道路の整備充実と道路ネットワークの確立
- ・ 国道等の交通量の多い幹線道路での歩道整備の推進
- ・ 鉄道やバスなど公共交通機関の利便性向上
- ・ 商業施設の維持
- ・ 医療・福祉施設の維持・充実

3 防災に関する課題

- ・ 地震・雪害・水害・土砂災害等の自然災害対策の推進
- ・ 避難や救助活動ができる防災体制の強化

4 自然環境保全・都市環境形成に関する課題

- ・ 信濃川や魚沼丘陵地等の良好な自然環境の保全
- ・ 適正な地下水の利用
- ・ 環境に配慮した再生可能エネルギーの取組

5 克雪・利雪・親雪に関する課題

- ・ 道路の除雪体制の充実強化
- ・ 冬期の安全な歩行空間の確保
- ・ 安全で快適な冬期生活環境の確保

6 都市景観形成・文化財保全に関する課題

- ・ 信濃川と河岸段丘、田園景観の保全
- ・ 地域資源を生かした景観形成
- ・ リゾート地にふさわしい景観形成

7 地域コミュニティ活性化に関する課題

- ・ 地域コミュニティの維持に向けた対策の強化

2) 地域の将来像

**広域交通拠点を生かし
誰もが快適さや楽しさを実感できる
元気で豊かな地域づくり**

(仮称)十日町インターチェンジ周辺の土地利用を図りながら、あてま高原リゾートなどの観光資源を活用した地域づくりを推進します。

水沢地域における地域拠点：『水沢公民館周辺』

3) 地域づくりの方針

① 土地利用の方針

- 上越魚沼地域振興快速道路インターチェンジ周辺においては、「(仮称)十日町インターチェンジ周辺土地利用基本構想」などを踏まえ、道の駅整備等について立地適正化計画との整合を図りながら、効果的な土地利用を検討します。
- あてま高原リゾート・上越国際スキー場当間グレンデ・十日町カントリークラブなど自然を生かしたリゾート・レジャー施設を活用して交流人口の拡大を図ります。
- 当間多目的運動公園(クローチアピッチ)においては、国際・全国規模の大会やスポーツキャンプを開催・誘致することで交流人口の増加や地域経済の活性化を図ります。
- 高品質・良食味米の生産基盤として、また、良好な景観資源として、農地を守る土地利用を推進するとともに、営農環境の向上を図ります。
- 空地・空家を活用した移住定住促進を図ります。



上越魚沼地域振興快速道路の中心線を設置する水沢中学校生徒

② 都市施設整備の方針

- 上越魚沼地域振興快速道路およびインターチェンジへのアクセス道路となる市道高山水沢線の整備を推進します。
- 各道路における必要性や優先度を見極めながら、狭あい箇所の改善や国道 117 号の歩道整備を推進します。
- 地域拠点周辺と十日町駅や市街地の高校、病院等への運行体制の充実など、利便性の高い公共交通の確保を図ります。また、中山間地域に暮らす人々の通院・買い物等の日常生活を支えるため、地域拠点周辺と中山間地域を結ぶ生活交通の維持・利便性向上を図ります。
- 日常生活に必要な商業施設の維持を図ります。
- 日常生活に必要な医療・福祉施設の維持・充実を図ります。
- 中山間地域における合併処理浄化槽の施設整備を推進します。
- 「生活用水確保対策事業補助金要綱」等に基づき、中山間地域の水道未普及地域における生活水の確保を促進します。

③ 防災の方針

- 災害時の対応として、国道 117 号を補完する道路ネットワークを検討します。
- 雪崩防止施設の設置や段切り工事等を推進し、雪崩危険箇所の早期解消に努めます。
- 自然環境の保全に配慮しながら、森林整備や河川整備、治山・治水施設の整備など、総合的な対策を推進し、水害や土砂災害の防止に努めます。
- 危険区域における地すべり防止対策、急傾斜地崩壊防止対策および土石流災害防止対策を計画的に進め、災害の防止に努めます。
- 住民と行政が協力しながら、地震や豪雨などの災害時における備えなどの対策を計画的に進めます。
- 地域住民の防災意識を高揚し、防災組織体制の強化を図るとともに、災害時における高齢者世帯や障がい者などの災害弱者への対応に備えた取組を推進します。
- 将来の道路整備による交通量や交流促進による地域内外での人の流れの変化を見据えて、住民と関係団体が協力した地域の防犯・防災対策の継続により、安全・安心に暮らせる地域づくりを推進します。

④ 自然環境保全・都市環境形成の方針

- 地域内を流れる信濃川および東側に広がる魚沼丘陵地等の自然環境は、水源かん養や自然災害防止など、多様な公益的機能を担っており、将来にわたり保全していきます。
- 森林の公益的機能を発揮させるため、森林の適正な維持管理に努めます。
- 自然環境の保全体制のあり方を検討しながら、山地、丘陵地、平地、水辺など、それぞれに特徴ある多様な自然資源と、貴重な動植物が生息できる自然環境の保全に努めます。

- ブナ林を活用した散策道の整備など、水とみどりに親しめる空間整備を図ります。
- 地下水利用の現状把握に努めるとともに、消雪パイプの節水タイマー設置の拡充、新技術や地中熱など他の手段の切り替えを検討します。
- 豊富な地域資源を生かし、都市環境に配慮した再生可能エネルギーの活用を推進します。

⑤ 克雪・利雪・親雪の方針

- 除雪車のオペレーターの人材確保と育成などに努め、除雪体制の維持を図ります。
- 中山間地域の道路については、危険性等を踏まえた優先度を考慮しながら、幅員の拡大や急勾配、急カーブ、通行止めの解消等の整備を促進し、安全な除雪作業と作業効率の向上を図ります。
- 新たな雪捨て場の整備や、家屋が連たんしている箇所における消雪パイプの更新を順次進めます。
- 集落安心づくり事業や冬期集落安全・安心確保対策事業を活用し、住民が主体となった共助による克雪体制の支援を図ります。また、克雪住まいづくり支援事業の活用促進を図り、冬期間でも安心して暮らせる居住環境改善に努めます。

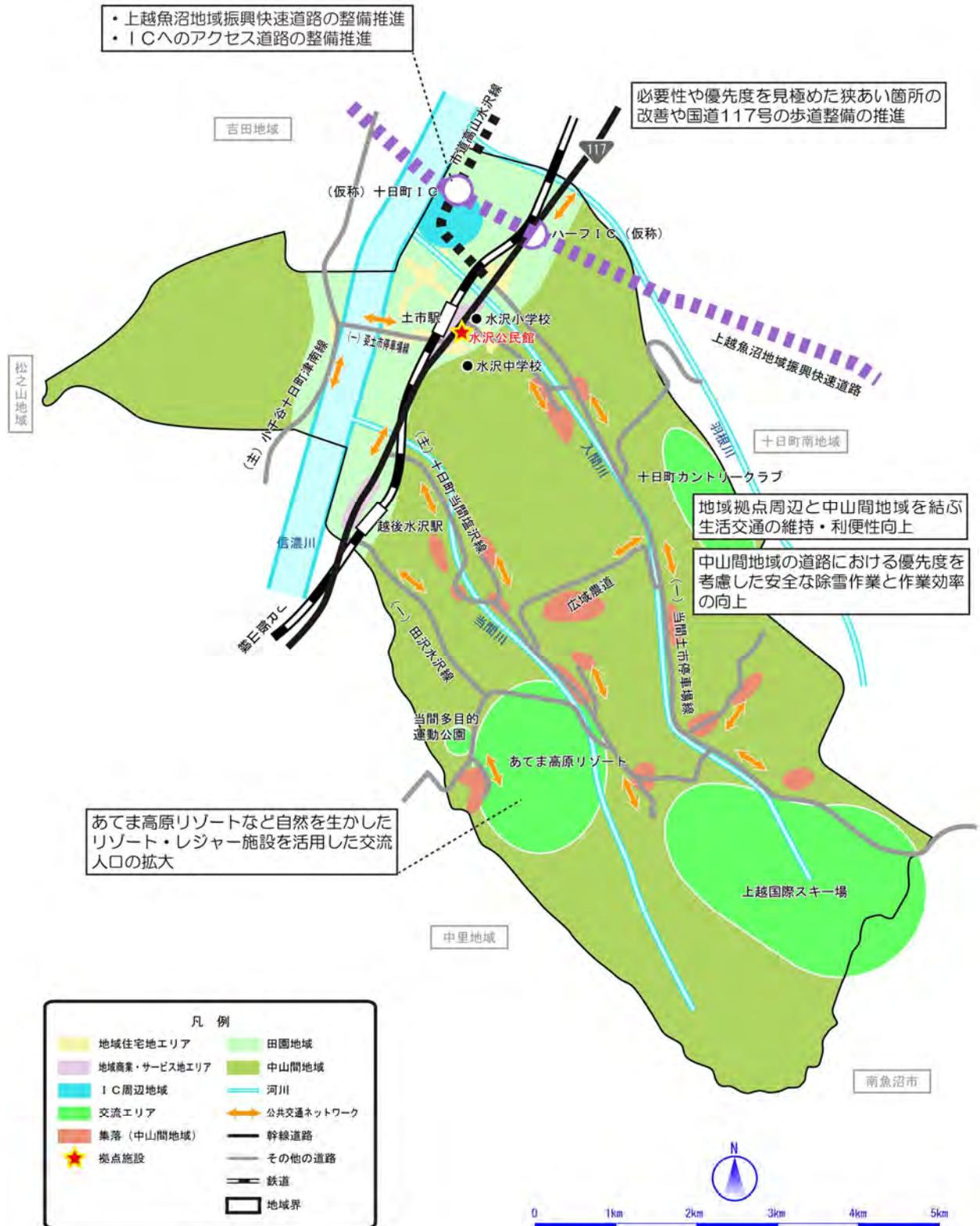
⑥ 都市景観形成・文化財保全の方針

- 信濃川とその河岸段丘、西部および東部の山並みを背景とした田園景観を保全するとともに、市街地周辺において、都市的な景観との調和に努めます。
- 豊かな自然に包まれた里山の農村風景の保全に努めます。
- あてま高原リゾートについては、魅力あるリゾート地にふさわしい良好な景観形成を図ります。
- 大地の芸術祭においては、「Kiss&Goodbye」（土市駅、越後水沢駅）など地域内の作品を活用して、通年誘客や地域振興に取り組みます。

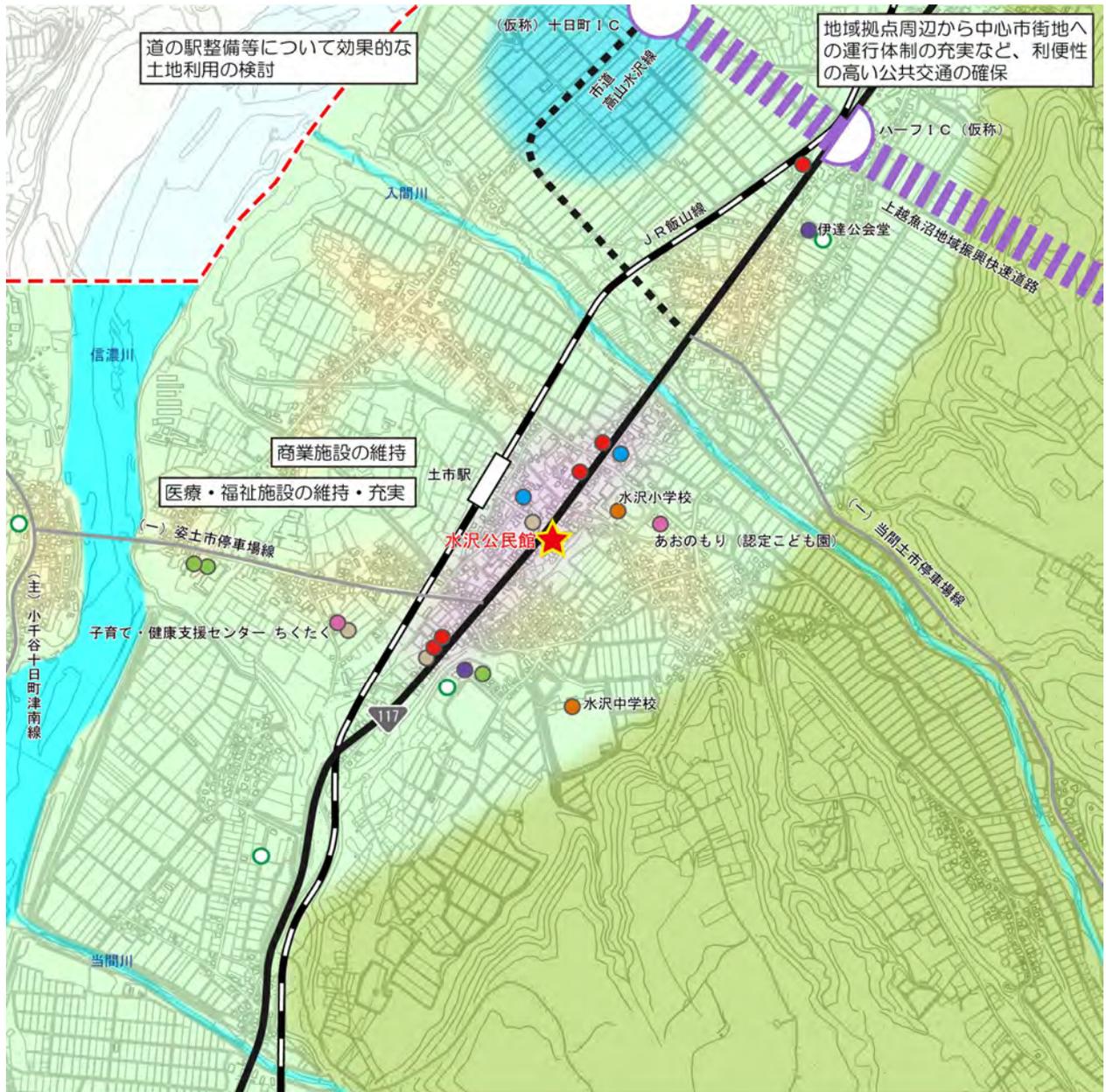
⑦ 地域コミュニティ活性化の方針

- 各地区のコミュニティ活動の拠点となる集会所などの整備・改修を支援します。
- 地域の祭り、行事、伝統文化の伝承を通じて世代間の交流を推進し、コミュニティの維持・活性化を図ります。

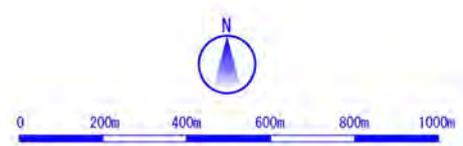
地域づくりの方針図



地域拠点づくりの方針図



凡例	
★ 拠点施設	地域住宅地エリア
● 商業施設	地域商業・サービスエリア
● 医療施設	I C 周辺地域
● 子育て支援施設	田園地域
● 教育施設	中山間地域
● 福祉施設	河川
● 金融機関	幹線道路
● 交流施設	その他の道路
● 街区公園など	鉄道
	地域界



(10) 川西地域

1) 地域の現況と課題

① 概況

○本市の北部、信濃川左岸に位置し、小千谷市、長岡市、柏崎市と接しています。

○川西地域は、信濃川左岸沿いに広がる台地状の平坦地からなる東部地区と渋海川に沿って集落が点在する西部地区に分かれており、東部地区に支所や公共施設、商業施設が集積しています。

○国道 252 号、国道 403 号、主要地方道小千谷十日町津南線など複数の県道により、広域的な交通ネットワークが形成されています。

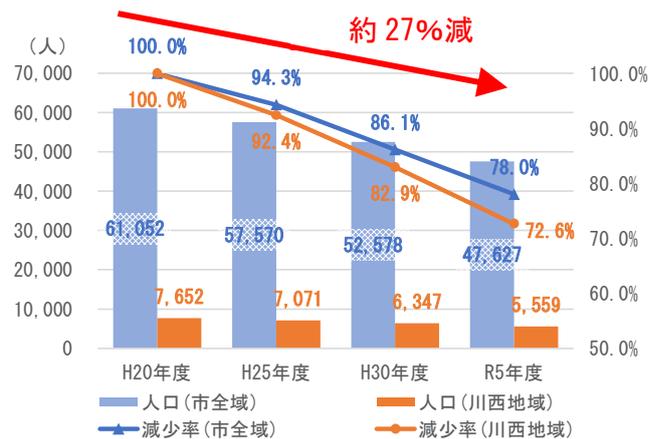
○コシヒカリの生産や野菜栽培など農業が盛んな地域です。



② 人口

○川西地域の総人口は、15 年間で約 27%（約 2,090 人）減少しており、市全域の人口減少率（-22%）を上回っています。

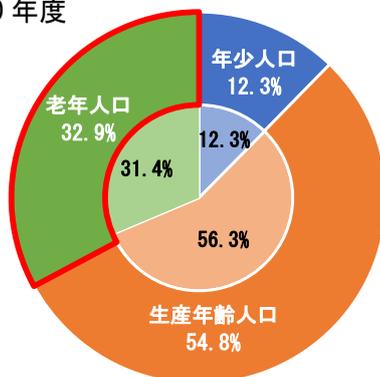
○川西地域の年齢 3 区分構成割合については、少子高齢化が進行しており、特に、老年人口の割合は、令和 5 年度で 44.1%となっています。これは、市全域の老年人口の割合（41.7%）を上回っています。



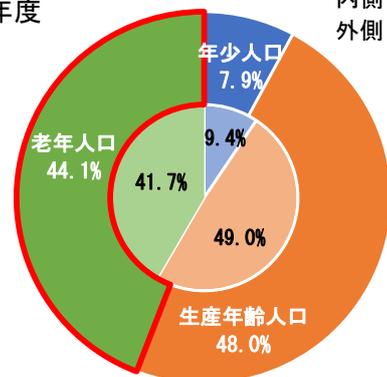
資料：十日町市

図 川西地域の人口の推移

平成 20 年度



令和 5 年度



※年少人口：0～14 歳、生産年齢人口：15～64 歳、老年人口：65 歳以上

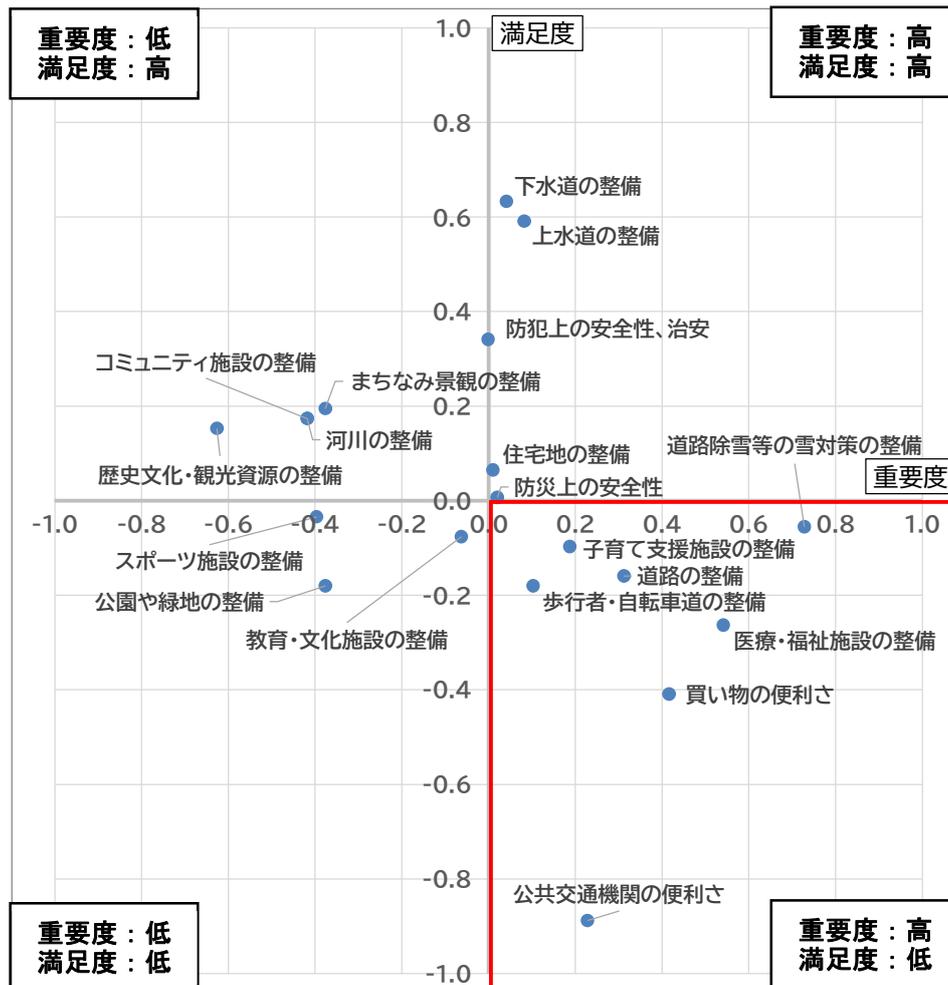
資料：十日町市

図 川西地域の年齢 3 区分別人口割合の推移

③ 住民意向

【市民アンケートの意見概要】

- 令和4年に実施したまちづくりに関する市民アンケート調査結果では、川西地域における地域拠点「川西支所」周辺と回答された方が最も多くなっています。
- 生活環境における優先的に改善すべき事項（満足度が低く、重要度が高い）として、「公共交通機関の便利さ」「買い物の便利さ」「医療・福祉施設の整備」「歩行者・自転車道の整備」「道路の整備」「子育て支援施設の整備」「道路除雪等の雪対策の整備」の項目が該当しています。



【市民意見交換会の意見概要】

- 定住・移住に向けた住環境の整備が必要
- 空地・空家対策が必要
- 公共交通の利便性向上が必要
- 後継不足や消費人口減少が進んでおり、商店街の活性化が必要
- 農業の維持に向けた対策が必要
- 人口減少を踏まえ、住居系用途地域の見直し検討が必要
- 地域コミュニティ維持に向けた対策が必要
- 森林の適切な維持管理が必要

④ 総合計画における位置づけ

【振興方針（基本構想）】

住んでしあわせ 来てしあわせ 笑顔で暮らせる ふるさと川西

共助、協働、支え合いにより子どもから高齢者まで安全で安心して暮らせる地域づくりを推進します。

【振興方策】

- 環境と調和した産業の振興
- 安全・安心な生活環境づくり
- 地域農業を支える地産地消と食育の推進
- 田舎を武器にした地域間交流の推進
- 地域を担う人材育成
- 地域支え合いの推進



ナカゴグリーンパーク



「光の館」（ジェームズ・タレル）



ひだまりプール

⑤ 地域づくりの主要課題

1 土地利用に関する課題

- ・ 地域拠点周辺の賑わい創出
- ・ 農地の保全
- ・ 良好な住環境の形成
- ・ 人口減少を踏まえた用途地域の見直し
- ・ 空地・空家対策の促進

2 都市施設整備に関する課題

- ・ 幹線道路の整備充実と道路ネットワークの確立
- ・ 安全な歩行者空間の確保
- ・ バスなど公共交通機関の利便性の向上
- ・ 子育て支援施設の維持・充実
- ・ 医療・福祉施設の維持・充実
- ・ 商業施設の維持

3 防災に関する課題

- ・ 地震・雪害・水害・土砂災害等の自然災害・原子力災害対策の推進
- ・ 避難や救助活動ができる防災組織体制の強化

4 自然環境保全・都市環境形成に関する課題

- ・ 信濃川や東頸城丘陵、関田丘陵等の良好な自然環境の保全
- ・ 適正な地下水の利用
- ・ 環境に配慮した再生可能エネルギーの取組

5 克雪・利雪・親雪に関する課題

- ・ 道路の除雪体制の充実強化
- ・ 冬期の安全な歩行空間の確保
- ・ 安全で快適な冬期生活環境の確保

6 都市景観形成・文化財保全に関する課題

- ・ 地域資源を生かした良好な景観形成
- ・ 地域の文化財の保存・活用

7 地域コミュニティ活性化に関する課題

- ・ 地域コミュニティの維持に向けた対策の強化

2) 地域の将来像

住む人、来る人が魅力を感じ 自然、人、農業が調和した活気ある地域づくり

農業を柱とし、地域住民や来訪者が魅力を感じる活力ある地域づくりを目指すとともに、安全で安心して暮らせる都市基盤の整備を推進します。また、人と自然、農業が共生する環境のなかで、人々が支え合いながら、快適に暮らせる地域づくりを推進します。

川西地域における地域拠点：『川西支所周辺』

3) 地域づくりの方針

① 土地利用の方針

- 川西支所、千手中央コミュニティセンター、ひだまりプール、雁木通り、千手温泉「千年の湯」などのエリアー帯については、市民の憩いの場と交流を生み出す空間として活用を図ります。
- 農地の適切な維持管理・保全を図るとともに、高品質・良食味米やブランド野菜など高付加価値型農業や環境にやさしい農業を支援する土地利用を展開し、本地域の農業の健全な発展を推進します。
- 主要地方道小千谷十日町津南線沿いの既成市街地について、街路事業を促進し、都市計画上の用途区分に基づく適正な土地利用を推進することにより、商店街の活性化と良好な住環境整備の誘導を図ります。
- 中山間地域に点在する農村集落について、自然環境および周辺景観と調和した居住環境の形成を図ります。
- 少子高齢化や人口減少等の状況を見据えた用途地域の見直しを検討します。
- 空地・空家を活用した移住定住促進を図ります。

② 都市施設整備の方針

- 国道 252 号や国道 403 号、主要地方道小千谷十日町津南線において、狭あい区間の改良や危険箇所の早期改善を図り、地域間の連続性を高めるとともに、上越魚沼地域振興快速道路へのアクセス性向上を図るなど道路ネットワークとしての機能確保に努めます。
- 各道路における必要性や優先度を見極めながら、狭あい箇所の整備改善や歩行者空間の確保を推進します。

- 地域拠点周辺と十日町駅や市街地の高校、病院等への運行体制の充実など、利便性の高い公共交通の確保を図ります。また、中山間地域に暮らす人々の通院・買い物等の日常生活を支えるため、地域拠点周辺と中山間地域を結ぶ生活交通の維持・利便性向上を図ります。
- ナカゴグリーンパークなど、自然とふれあえる憩いの場の整備と維持管理に努めます。
- 水力発電施設等との共存を図ります。
- 日常生活に必要な商業施設の維持を図ります。
- 子育て支援のための各種施設の維持・充実を図ります。
- 日常生活に必要な医療・福祉施設の維持・充実を図ります。
- 中山間地域における合併処理浄化槽の施設整備を推進します。
- 「生活用水確保対策事業補助金要綱」等に基づき、中山間地域の水道未普及地域における生活用水の確保を促進します。

③ 防災の方針

- 近年多発する自然災害や原子力災害に備え、防災体制の一層の連携強化を進めます。
- 雪崩防止施設の設置や段切り工事等を推進し、雪崩危険箇所の早期解消に努めます。
- 自然環境の保全に配慮しながら、森林整備や河川整備、治山・治水施設の整備など、総合的な対策を推進し、水害や土砂災害の防止に努めます。
- 危険区域における地すべり防止対策、急傾斜地崩壊防止対策および土石流災害防止対策を計画的に進め、災害の防止に努めます。
- 住民と行政が協力しながら、地震や豪雨などの災害時における備えなどの対策を計画的に進めます。
- 地域住民の防災意識を高揚し、防災組織体制の強化を図るとともに、災害時における高齢者世帯や障がい者などの災害弱者への対応に備えた取組を推進します。

④ 自然環境保全・都市環境保全の方針

- 地域東側を流れる信濃川について、河岸段丘と調和した美しい郷土景観として、また、自然性豊かな水辺空間として保全していきます。
- 森林や池沼等の優れた自然や生態系の保全に努めます。
- 地域西側に連なる東頸城丘陵、関田丘陵について、水源かん養や生態系保全、自然災害防止など、多様な公益機能を担っており、将来に渡って保全していきます。
- 長安寺北西部のブナ林や二六公園内のブナ林について、優れた自然環境とふれあえる貴重な空間として保全していきます。
- 地下水利用の現状把握に努めるとともに、消雪パイプの節水タイマー設置の拡充、新技術や地中熱など他の手段の切り替えを検討します。
- 豊富な地域資源を生かし、都市環境に配慮した再生可能エネルギーの活用を推進します。

⑤ 克雪・利雪・親雪の方針

- 除雪車のオペレーターの人材確保と育成などに努め、除雪体制の維持を図ります。
- 中山間地域の道路については、危険性等を踏まえた優先度を考慮しながら、幅員の拡大や急こう配、急カーブ、通行止めの解消等の整備を促進し、安全な除雪作業と作業効率の向上を図ります。
- 川西地域流雪溝整備計画に基づき、流雪溝の整備を推進します。
- 新たな雪捨て場の整備や、家屋が連たんしている箇所における消雪パイプの更新を順次進めます。
- 集落安心づくり事業や冬期集落安全・安心確保対策事業を活用し、住民が主体となった共助による克雪体制の支援を図ります。また、克雪住まいづくり支援事業の活用促進を図り、冬期間でも安心して暮らせる居住環境改善に努めます。
- 中山間地域の冬期の孤立化を防止するため、冬期のみ集合住宅への入居を推進し、冬期の暮らしの安全確保を図ります。

⑥ 都市景観形成・文化財保全の方針

- 西部の山並みを背景とした市街地周辺部に広がる田園景観は、信濃川の河岸段丘と調和した特徴ある良好な景観を形成していることから、将来にわたり保全するとともに、景観形成に配慮しながら観光や市民の憩いの場としての活用を図ります。
- 棚田が点在する中山間地域など集落景観の保全に努めます。
- 「十日町市文化財保存活用地域計画」に基づき、国指定重要文化財の「星名家住宅」、「節黒城跡」、「千手観音堂」、「西永寺」、中世の板碑、赤谷十二社の大ケヤキなどの地域の文化財の保存と管理の徹底に努めます。
- 大地の芸術祭においては、拠点施設である「光の館」等を中心に通年誘客や新たな活用策に取り組みます。

⑦ 地域コミュニティ活性化の方針

- 各地区のコミュニティ活動の拠点となる集会所などの整備・改修を支援します。
- 地域の祭り、行事、伝統文化の伝承を通じて世代間の交流を推進し、コミュニティの維持・活性化を図ります。



国指定重要文化財「星名家住宅」



節黒城跡開山まつりの大名行列

地域づくりの方針図

国道252号や国道403号等における狭あい区間の改良等による道路ネットワークの機能確保

河岸段丘と調和した美しい郷土景観である信濃川の自然豊かな水辺空間の保全

近年多発する自然災害や原子力災害に備えた防災体制の一層の連携強化

地域拠点周辺と中山間地域を結び生活交通の維持・利便性向上

中山間地域の道路における優先度を考慮した安全な除雪作業と作業効率の向上



農地の適切な維持管理・保全、高付加価値型農業や環境にやさしい農業を支援する土地利用による本地域の農業の健全な発展の推進

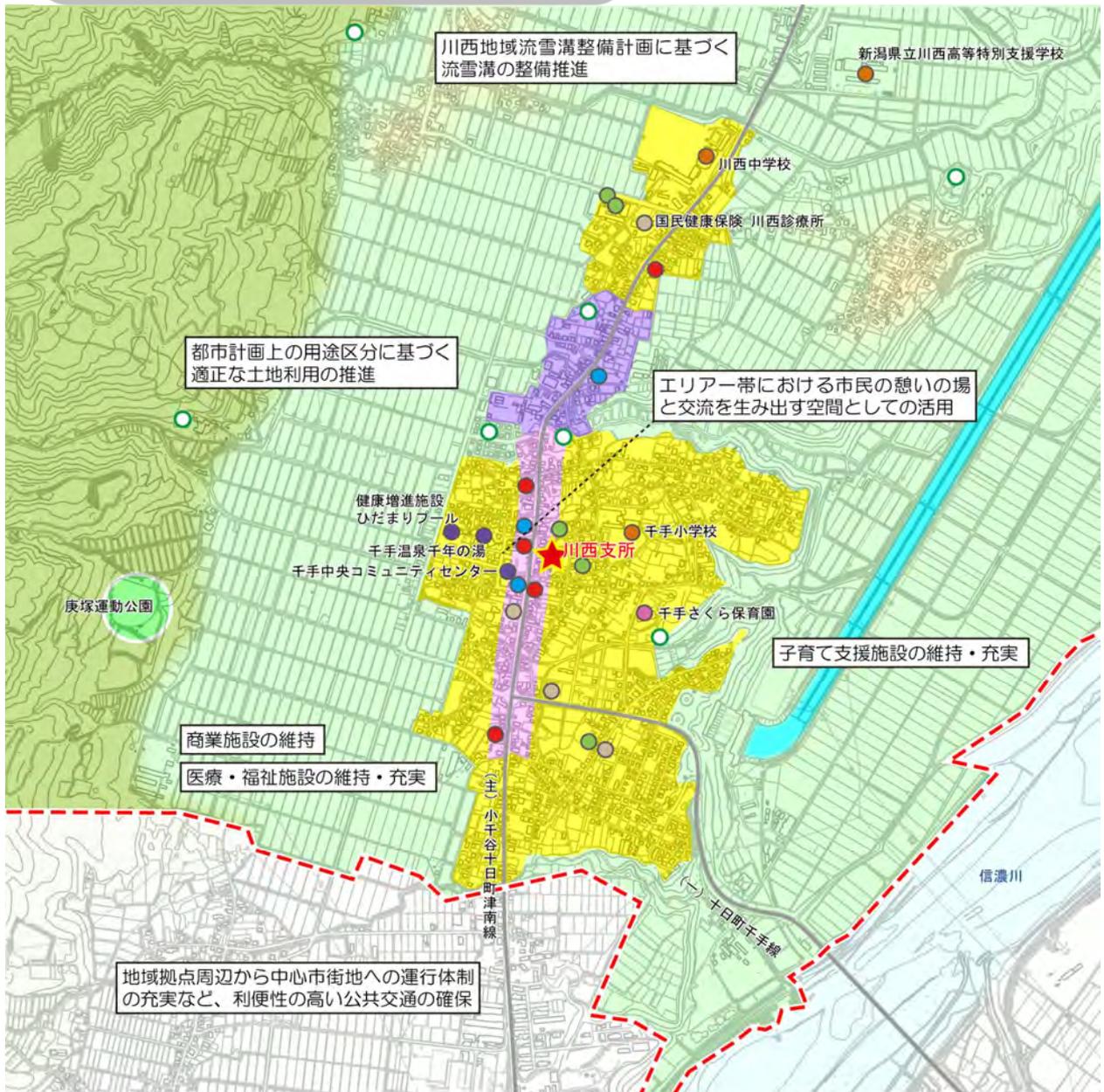
市街地周辺部に広がる田園景観の保全

凡例

住居系用途地域	田園地域
商業系用途地域	中山間地域
工業系用途地域	河川
地域住宅地エリア	公共交通ネットワーク
交流エリア	幹線道路
集落（中山間地域）	その他の道路
拠点施設	鉄道
	地域界



地域拠点づくりの方針図



- 凡例
- ★ 拠点施設
 - 商業施設
 - 医療施設
 - 子育て支援施設
 - 教育施設
 - 福祉施設
 - 金融機関
 - 交流施設
 - 街区公園など
 - 住居系用途地域
 - 商業系用途地域
 - 工業系用途地域
 - 地域住宅地エリア
 - 田園地域
 - 中山間地域
 - 交流エリア
 - 河川
 - その他の道路
 - ⋯ 地域界



(11) 中里地域

1) 地域の現況と課題

① 概況

○中里地域は、本市の南部に位置し、津南町、南魚沼市、湯沢町と接しています。地域の大半を山林が占めており、信濃川と清津川によって、3地区に分かれています。

○地域内には、南北方向に国道117号、東西方向に国道353号などの幹線道路が通っているほか、JR飯山線の越後田沢駅があります。

○米作りや野菜の生産が主産業となっており、カサブランカなどの花卉園芸も盛んです。

○清津峡（上信越高原国立公園）、七ツ釜（国指定名勝天然記念物）、小松原湿原（新潟県自然環境保全地域）等の豊かな自然資源に恵まれているほか、田沢・壬遺跡（国指定史跡）等の歴史資源を有する地域でもあります。



② 人口

○中里地域の総人口は、15年間で約25%（約1,500人）減少しており、市全域の人口減少率（-22%）を上回っています。

○中里地域の年齢3区分構成割合については、少子高齢化が進行しており、特に、老年人口の割合は、令和5年度で43.1%となっています。これは、市全域の老年人口の割合（41.7%）を上回っています。

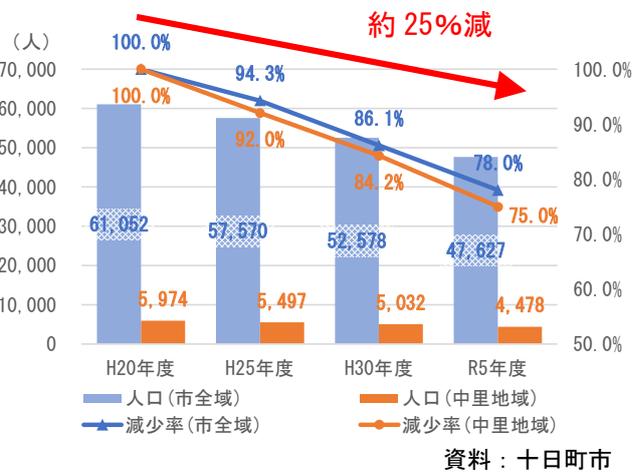
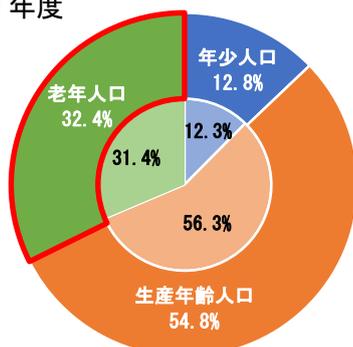
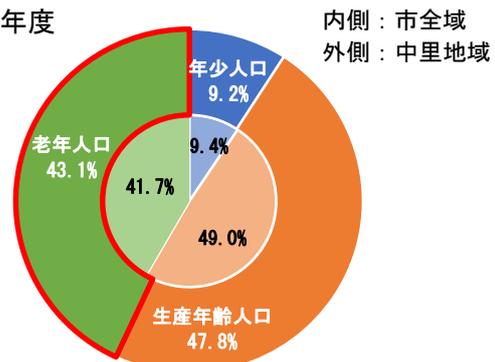


図 中里地域の人口の推移

平成20年度



令和5年度



※年少人口：0～14歳、生産年齢人口：15～64歳、老年人口：65歳

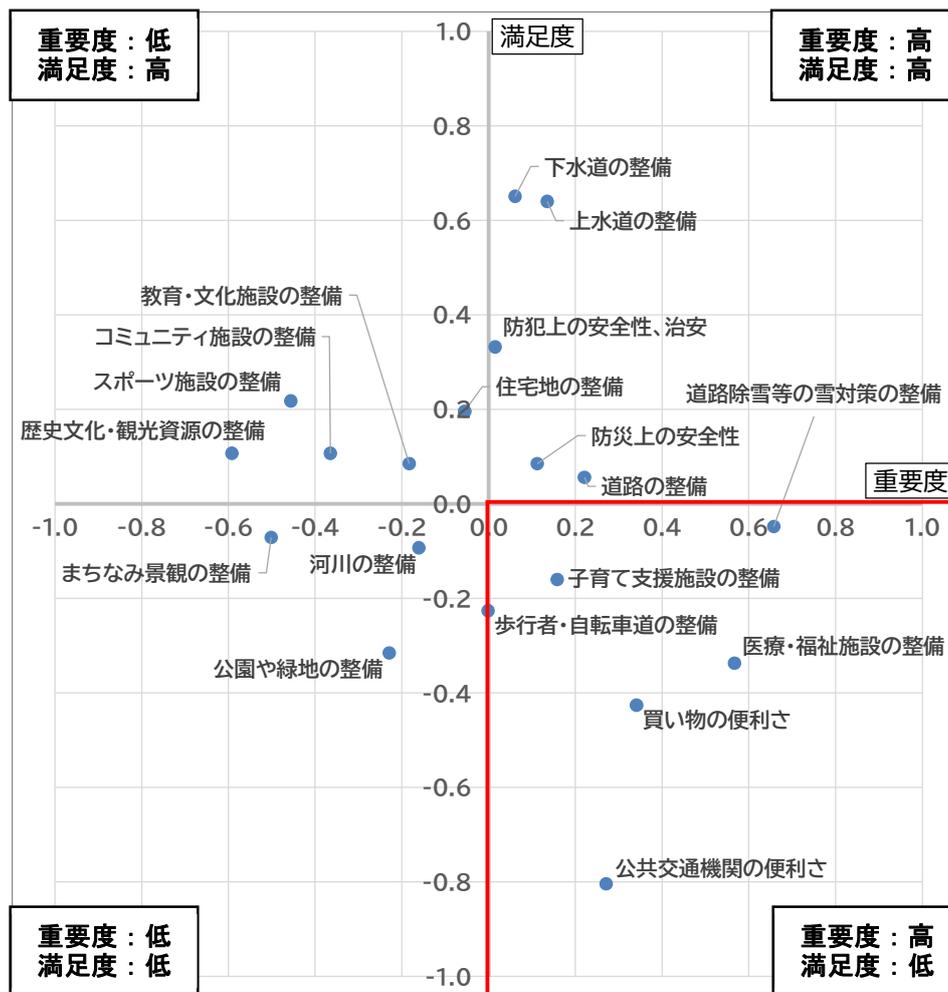
資料：十日町市

図 中里地域の年齢3区分別人口割合の推移

③ 住民意向

【市民アンケートの意見概要】

- 令和4年に実施したまちづくりに関する市民アンケート調査結果では、中里地域における地域拠点「中里支所」周辺と回答された方が最も多くなっています。
- 生活環境における優先的に改善すべき事項(満足度が低く、重要度が高い)として、「公共交通機関の便利さ」「買い物の便利さ」「医療・福祉施設の整備」「子育て支援施設の整備」「道路除雪等の雪対策の整備」の項目が該当しています。



【市民意見交換会の意見概要】

- 公共交通の利用促進が必要
- 高齢者が安心して住み続けられる地域づくりの推進が必要
- 地域内に医療機能の整備が必要
- 通信ネットワークの整備推進が必要
- 市保有の低未利用施設の利活用が必要
- 地域中心部の活性化に向けた方針が必要
- 若者の定住に向けた居住環境の整備が必要
- 更なる観光客増を目指し、清津峡の景観の魅力向上が必要

④ 総合計画における位置づけ

【振興方針（基本構想）】

守ろう豊かな自然。育てようふれあいの中里

上信越高原国立公園内に位置し、日本三大峡谷である、国指定名勝天然記念物の「清津峡」、同じく国指定名勝天然記念物である「七ツ釜」などの観光資源をはじめ、清津峡渓谷歩道トンネルなどのアート作品活用により、首都圏からの南の玄関口として、農業と観光資源を生かした観光産業の創出を図ります。

【振興方策】

- 地域特性を生かした付加価値の高い農業の推進
- 地域が誇れる自然環境の保全と有効活用
- 観光資源の再開発と周遊型観光拠点の魅力・サービスの向上
- 首都圏と奥信越地方を結ぶ交通アクセスの強化
- 都市との体験型交流による観光の推進
- 地域コミュニティ活動の推進と自治意識の醸成
- 安全安心を育てるまちづくり



清津峡渓谷トンネル「Tunnel of Light」
(マ・ヤンソン/MAD アーキテクト)



国の名勝・天然記念物「田代の七ツ釜」



清田山キャンプ場

⑤ 地域づくりの主要課題

1 土地利用に関する課題

- ・ 地域拠点周辺の賑わい創出
- ・ 農地の保全
- ・ 空地・空家対策の促進

2 都市施設整備に関する課題

- ・ 広域圏を結ぶ交通アクセスの強化
- ・ 安全な歩行者空間の確保
- ・ 鉄道やバスなど公共交通機関の利便性向上
- ・ 商業施設の維持
- ・ 子育て支援施設の維持・充実
- ・ 医療・福祉施設の維持・充実

3 防災に関する課題

- ・ 地震・雪害・水害・土砂災害等の自然災害対策の推進
- ・ 避難や救助活動ができる防災組織体制の強化

4 自然環境保全・都市環境形成に関する課題

- ・ 質の高い自然環境の保全と有効活用
- ・ 適正な地下水の利用
- ・ 環境に配慮した再生可能エネルギーの取組

5 克雪・利雪・親雪に関する課題

- ・ 道路の除雪体制の充実強化
- ・ 冬期の安全な歩行空間の確保
- ・ 克雪対策、安全で快適な冬期生活環境の確保

6 都市景観形成・文化財保全に関する課題

- ・ 信濃川と河岸段丘、田園景観の保全
- ・ 地域の文化財の保存・活用
- ・ 観光拠点の整備充実と各拠点間の連携強化並びに周遊性の向上

7 地域コミュニティ活性化に関する課題

- ・ 地域コミュニティの維持に向けた対策の強化

2) 地域の将来像

雄大な自然と、農業・観光・暮らしが 調和した地域づくり

清津峡、七ツ釜、小松原湿原等の雄大な自然環境を守りながら、観光拠点としての魅力向上を図ります。また、地域特性を生かした農業を推進し、自然環境と調和した、安全・安心に住み続けられる地域づくりを推進します。

中里地域における地域拠点：『中里支所周辺』

3) 地域づくりの方針

① 土地利用の方針

- 中里支所周辺では、商業施設などの都市機能を維持しながら、地域拠点の形成と賑わいの創出を図ります。
- 農地の適切な維持管理・保全を図るとともに、高品質・良食味米やブランド野菜など高付加価値型農業や環境に優しい農業を支援する土地利用を展開し、本地域の農業の健全な発展を推進します。
- 清津峡や清津川フレッシュパーク、清田山キャンプ場、ミオンなかさとなどについては、市民の憩いの場と観光拠点としての活用を図ります。
- きのこ生産業など地域の産業振興により、地域活性化を図ります。
- 空地・空家を活用した移住定住促進を図ります。

② 都市施設整備の方針

- 国道 353 号については、関東圏と新潟県南部および長野県北部を結ぶ重要路線として、さらなる土砂災害等の防止対策を図るとともに、十二峠新トンネル開削の事業化を進め、国道 117 号や主要地方道、県道との連携による交通ネットワークを確立し、周辺観光地など広域的な連携強化と周遊性の向上を図ります。
- 地域内に点在する観光施設、観光拠点のネットワーク化を支援する地域内道路網については、各道路の必要性や優先度を見極めながら整備充実を図ります。
- 各道路における必要性や優先度を見極めながら、狭あい箇所の改善や歩行者空間の確保を推進します。

- 地域拠点周辺と十日町駅や市街地の高校、病院等への運行体制の充実など、利便性の高い公共交通の確保を図ります。また、中山間地域に暮らす人々の通院・買い物等の日常生活を支えるため、地域拠点周辺と中山間地域を結ぶ生活交通の維持・利便性向上を図ります。
- 日常生活に必要な商業施設の維持を図ります。
- 子育て支援のための各種施設の維持・充実を図ります。
- 日常生活に必要な医療・福祉施設の維持・充実を図ります。
- 中山間地域における合併処理浄化槽の施設整備を推進します。
- 「生活用水確保対策事業補助金要綱」等に基づき、中山間地域の水道未普及地域における生活用水の確保を促進します。

③ 防災の方針

- 雪崩防止施設の設置や段切り工事等を推進し、雪崩危険箇所の早期解消に努めます。
- 自然環境の保全に配慮しながら、森林整備や河川整備、治山・治水施設の整備など、総合的な対策を推進し、水害や土砂災害の防止に努めます。
- 危険区域における地すべり防止対策、急傾斜地崩壊防止対策および土石流災害防止対策を計画的に進め、災害の防止に努めます。
- 住民と行政が協力しながら、地震や豪雨などの災害時における備えなどの対策を計画的に進めます。
- 地域住民の防災意識を高揚し、防災組織体制の強化を図るとともに、災害時における高齢者世帯や障がい者などの災害弱者への対応に備えた取組を推進します。

④ 自然環境保全・都市環境形成の方針

- 上信越高原国立公園の清津峡や新潟県自然環境保全地域の小松原湿原、国指定名勝天然記念物の七ツ釜等の良好な自然環境の保全・魅力向上を図るため、保全活動の支援などを推進するとともに、信濃川、清津川、釜川などの河川環境の活用やブナ林をはじめとする美しい里山の活用を図ります。
- 地域内を流れる信濃川および東側に広がる魚沼丘陵地等の自然環境は、水源かん養や自然災害防止など、多様な公益的機能を担っており、将来にわたり保全していきます。
- 地下水利用の現状把握に努めるとともに、消雪パイプの節水タイマー設置の拡充、新技術や地中熱など他の手段の切り替えを検討します。
- 豊富な地域資源を生かし、都市環境に配慮した再生可能エネルギーの活用を推進します。

⑤ 克雪・利雪・親雪の方針

- 除雪車のオペレーターの人材確保と育成などに努め、除雪体制の維持を図ります。

- 中山間地域の道路については、危険性等を踏まえた優先度を考慮しながら、幅員の拡大や急勾配、急カーブ、通行止めの解消等の整備を促進し、安全な除雪作業と作業効率の向上を図ります。
- 新たな雪捨て場の整備や、家屋が連たんしている箇所における消雪パイプの更新を順次進めます。
- 集落安心づくり事業や冬期集落安全・安心確保対策事業を活用し、住民が主体となった共助による克雪体制の支援を図ります。また、克雪住まいづくり支援事業の活用促進を図り、冬期間でも安心して暮らせる居住環境改善に努めます。
- 雪原カーニバル等の雪のイベントについては、継続的に運営できる体制の構築を図り、積極的に情報発信し、交流人口の増加を図ります。

⑥ 都市景観形成・文化財保全の方針

- 信濃川とその河岸段丘、西部および東部の山並みを背景とした集落周辺に広がる田園によって形成される景観は、地域を特徴付ける景観であり、将来にわたり保全していきます。
- 自然豊かな里山の農村風景、緑豊かな田園景観の保全に努めます。
- 「十日町市文化財保存活用地域計画」に基づき、国指定名勝・天然記念物の「田代の七ツ釜」と「清津峡」などの地域の文化財の保存と管理の徹底に努めます。また、国指定史跡の「本ノ木・田沢遺跡群」においては、「史跡本ノ木・田沢遺跡群田沢・壬遺跡保存活用地域計画」等に基づき、将来に向けた保全に努めます。
- 「清津峡溪谷トンネル」は、国内外から多くの観光客が訪れる強力な誘客コンテンツとして、情報発信やインバウンド対応を推進するとともに、ここを拠点として市内への誘導を図ります。

⑦ 地域コミュニティ活性化の方針

- 各地区のコミュニティ活動の拠点となる集会所などの整備・改修を支援します。
- 地域の祭り、行事、伝統文化の伝承を通じて世代間の交流を推進し、コミュニティの維持・活性化を図ります。

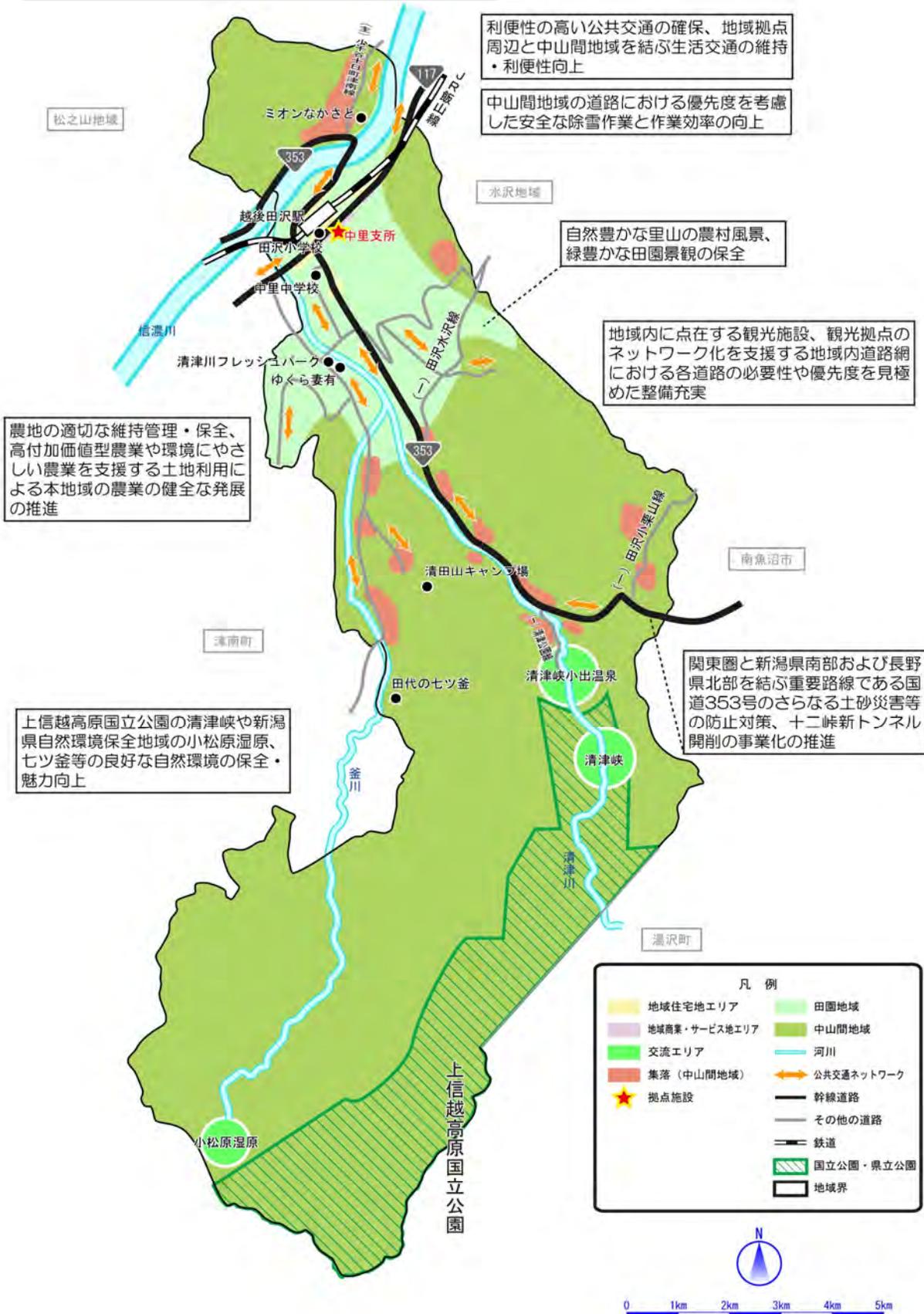


雪原カーニバルなかさと



清津川・川っぺり音楽祭

地域づくりの方針図



利便性の高い公共交通の確保、地域拠点周辺と中山間地域を結ぶ生活交通の維持・利便性向上

中山間地域の道路における優先度を考慮した安全な除雪作業と作業効率の向上

自然豊かな里山の農村風景、緑豊かな田園景観の保全

地域内に点在する観光施設、観光拠点のネットワーク化を支援する地域内道路網における各道路の必要性や優先度を見極めた整備充実

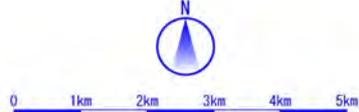
農地の適切な維持管理・保全、高付加価値型農業や環境にやさしい農業を支援する土地利用による本地域の農業の健全な発展の推進

上信越高原国立公園の清津峡や新潟県自然環境保全地域の小松原湿原、七ツ釜等の良好な自然環境の保全・魅力向上

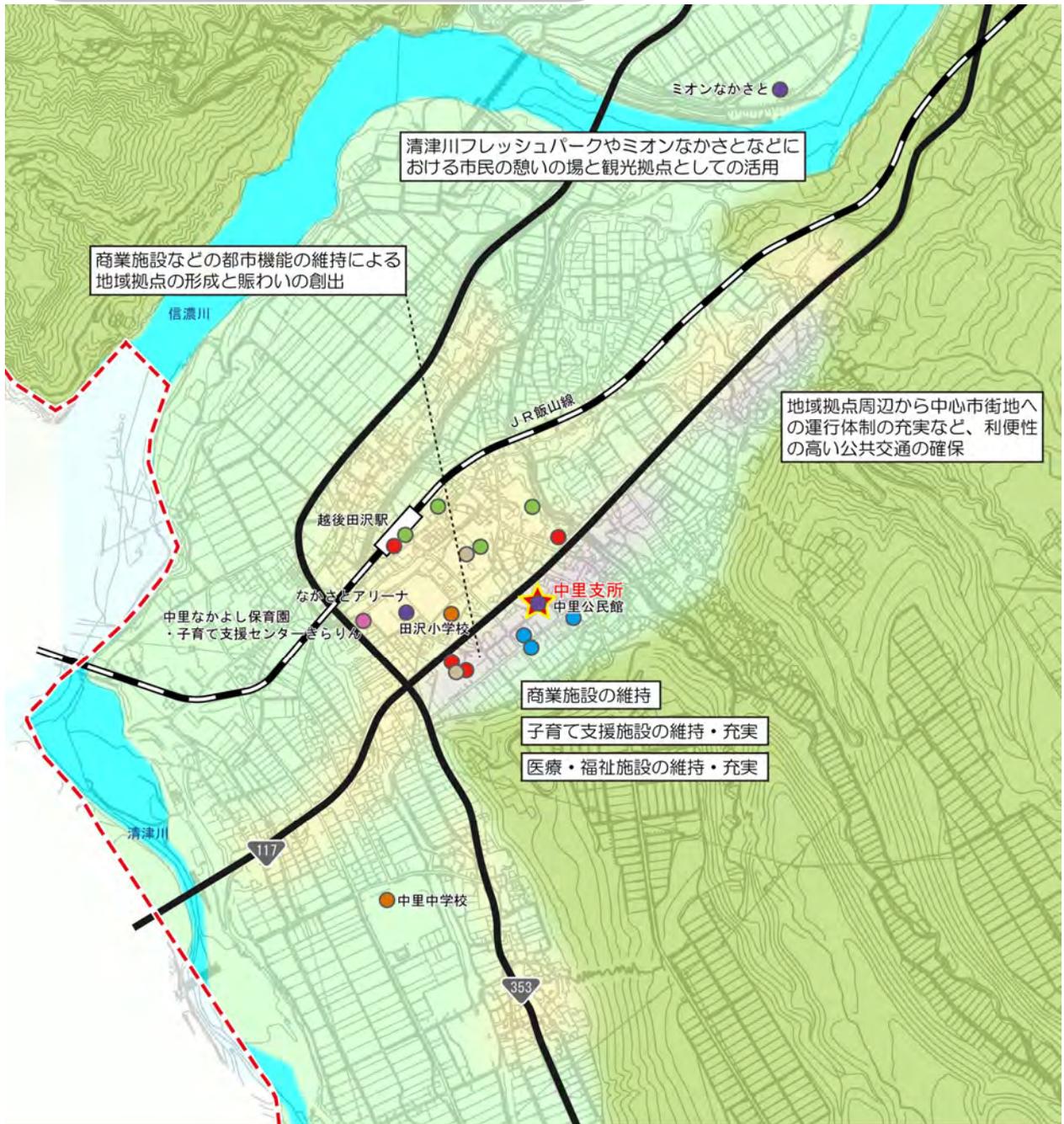
関東圏と新潟県南部および長野県北部を結ぶ重要路線である国道353号のさらなる土砂災害等の防止対策、十二峠新トンネル開削の事業化の推進

凡例

地域住宅地エリア	田園地域
地域商業・サービスエリア	中山間地域
交流エリア	河川
集落（中山間地域）	公共交通ネットワーク
拠点施設	幹線道路
	その他の道路
	鉄道
	国立公園・県立公園
	地域界

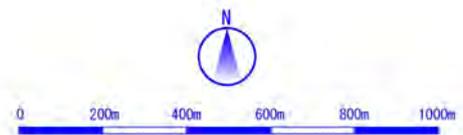


地域拠点づくりの方針図



凡例

★ 拠点施設	地域住宅地エリア
● 商業施設	地域商業・サービスエリア
● 医療施設	田園地域
● 子育て支援施設	中山間地域
● 教育施設	河川
● 福祉施設	幹線道路
● 金融機関	鉄道
● 交流施設	地域界



(12) 松代地域

1) 地域の現況と課題

① 概況

○松代地域は、上越地方と中越地方の接点に位置し、ほくほく線まつだい駅と国道 253 号が近接する交通結節拠点として、本市の西の玄関口となっています。

○地域全体が起伏の多い丘陵地であり、大半が山林、原野、雑種地が占め、渋海川とその支流に沿って集落や農地が点在しているほか、まつだい駅周辺に商業施設や住宅地が集積しています。

○星峠の棚田、歴史の道・松之山街道、国指定重要文化財の松茸神社等の豊かな自然、歴史・文化資源を有する地域です。

○まつだい「農舞台」などの大地の芸術祭関連施設を有するとともに、越後まつだい冬の陣などのイベントが開催されています。



② 人口

○松代地域の総人口は、15 年間で約 31% (約 1,170 人) 減少しており、市全域の人口減少率 (-22%) を上回っています。

○松代地域の年齢3区分構成割合については、少子高齢化が進行しており、特に、老年人口の割合は、令和5年度で50%を超え、地域人口の半数以上が高齢者となっています。これは、市全域の老年人口の割合(41.7%)を上回っています。

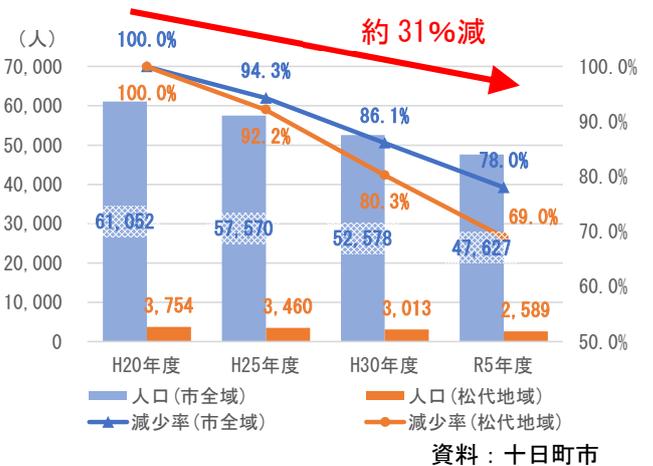
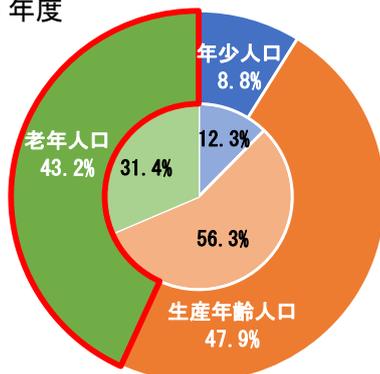
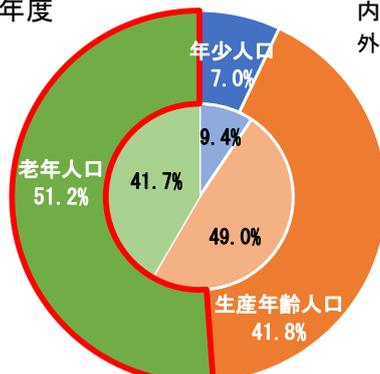


図 松代地域の人口の推移

平成 20 年度



令和 5 年度



内側：市全域
外側：松代地域

※年少人口：0～14 歳、生産年齢人口：15～64 歳、老年人口：65 歳以上

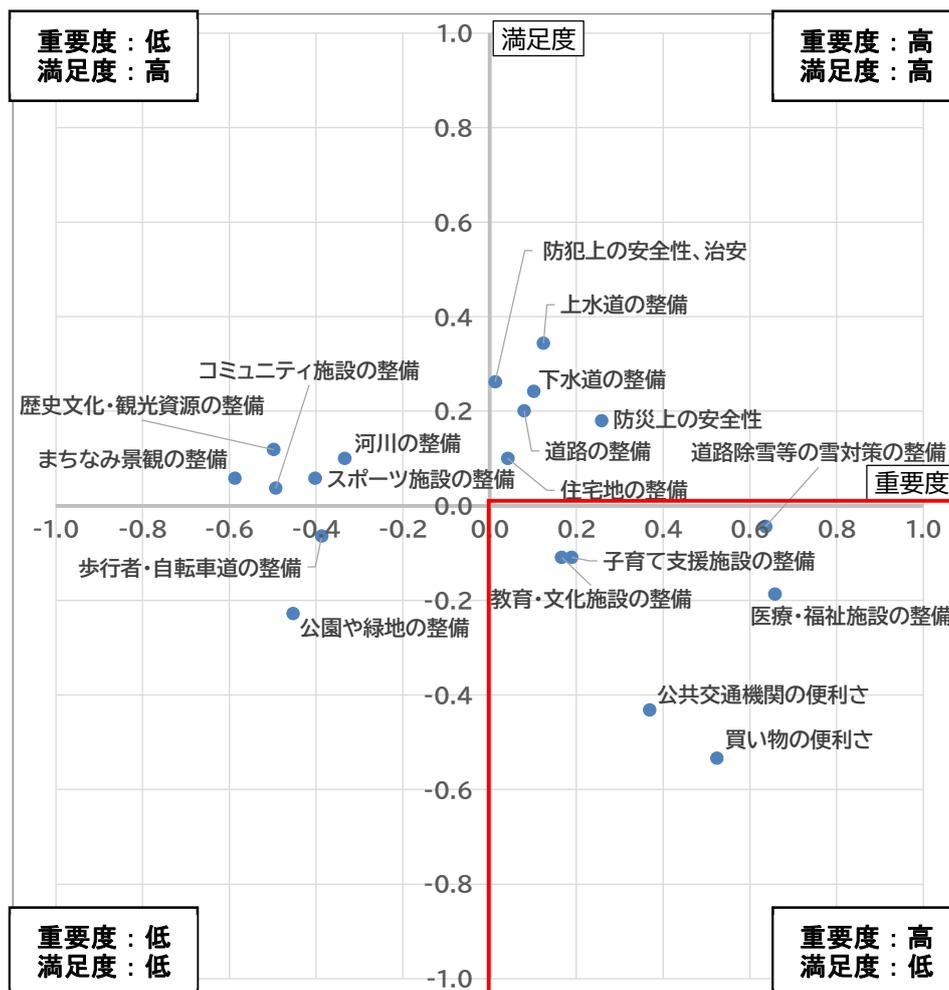
資料：十日町市

図 松代地域の年齢3区分別人口割合の推移

③ 住民意向

【市民アンケートの意見概要】

- 令和4年に実施した市民アンケート調査結果では、松代地域における地域拠点は「松代支所」と「まつだい駅」周辺と回答された方が多くなっています。
- 生活環境における優先的に改善すべき事項(満足度が低く、重要度が高い)として、「買い物の便利さ」「公共交通機関の便利さ」「医療・福祉施設の整備」「子育て支援施設の整備」「教育・文化施設の整備」「道路除雪等の雪対策の整備」の項目が該当しています。



【市民意見交換会の意見概要】

- 上越魚沼地域振興快速道路の整備進捗に併せた方針が必要
- まつだい駅周辺における住環境や商業機能の充実が必要
- 森林環境の整備が必要
- 日本の原風景（棚田、ブナ林）を生かし、交流人口の増加に向けた方針が必要
- 防災に関する方針の充足が必要

④ 総合計画における位置づけ

【振興方針（基本構想）】

住み続けたいまち やすらぎの里まつだい

棚田地域振興法の指定地域として、農業の推進と地域資源を活用した6次産業の振興、世田谷区や早稲田大学などとの都市交流の深化、来訪者の長期滞在化により、多くの人を訪れ、新たなライフスタイルによる地域活力の創出を進めます。

【振興方策】

- 観光交流拠点施設の機能充実による観光と地域間交流の推進
- 大地の芸術祭の里などの地域資源を生かした地域活性化の推進
- 都市農村交流による関係人口の拡大と地方移住の推進
- 指定棚田地域を活用した棚田農業の担い手確保と次世代への継承
- 地域自治意識の高揚と地域を誇れるまちづくり
- 高齢者にもやさしいまちづくり
- 災害や事故に強い安全安心な地域づくり



農舞台と「花咲ける妻有」（草間彌生）



松代棚田ハウス



奴奈川キャンパスで開かれた「大地の運動会」

⑤ 地域づくりの主要課題

1 土地利用に関する課題

- まつだい駅周辺における住宅地や商業地などの誘導・交通アクセス拠点としての機能強化
- 農地の保全
- 安心して住み続けられる集落の環境基盤整備
- 観光振興の推進
- 空地・空家対策の促進

2 都市施設整備に関する課題

- 幹線道路の整備充実と道路ネットワークの確立
- 安全な歩行者空間の確保
- 鉄道やバスなど公共交通機関の利便性向上
- 子育て支援施設の維持・充実
- 教育・文化施設の維持・充実
- 医療・福祉施設の維持・充実

3 防災に関する課題

- 地震・雪害・水害・土砂災害等の自然災害・原子力災害対策の推進
- 避難や救助活動ができる防災組織体制の強化

4 自然環境保全・都市環境形成に関する課題

- 優れた自然環境の保全
- 森林環境の整備
- 環境に配慮した再生可能エネルギーの取組

5 克雪・利雪・親雪に関する課題

- 道路の除雪体制の充実強化
- 冬期の安全な歩行空間の確保
- 克雪対策の充実と安全で快適な冬期生活環境の確保

6 都市景観形成・文化財保全に関する課題

- 棚田などの優れた自然景観の保全
- 地域の文化財の保存・活用

7 地域コミュニティ活性化に関する課題

- 地域コミュニティの維持に向けた対策の強化

2) 地域の将来像

**自然と歴史、文化と芸術が舞台を彩り、
多彩な交流を広げ
誰もがやすらぎを感じる地域づくり**

棚田に代表される自然環境や歴史街道、農村文化、大地の芸術祭などの地域資源を生かしながら、観光と地域間交流を推進し、松代の魅力と活力向上につながる地域づくりを推進します。

松代地域における地域拠点：『松代支所・まつだい駅周辺』

3) 地域づくりの方針

① 土地利用の方針

- ほくほく線まつだい駅および道の駅まつだいふるさと会館周辺を本市西側の玄関口とし、賑わい創出に向けた住宅地や商業地としての土地利用なども含め、適正な土地利用を推進します。
- 高品質・良食味米の生産基盤として、また、良好な景観資源として、農地を守る土地利用を推進するとともに、営農環境の向上を図ります。
- 青葉住宅団地について、地域の魅力を生かした優良な住宅地の供給を推進します。
- 宿泊・交流施設の松代棚田ハウスを拠点とし、農業体験や体験型観光に取り組み、地域農業の次世代への継承を図ります。
- 芝峠温泉、松代ファミリースキー場等については、市民の憩いの場と交流を生み出す空間としての活用を図ります。
- 空地・空家を活用した移住定住促進を図ります。

② 都市施設整備の方針

- 上越魚沼地域振興快速道路の整備を推進するとともに、事業進捗に合わせて周辺整備を検討します。
- 国道253号、353号および403号においては、必要に応じて、改良を促進するとともに、優先度を見極めながら周辺幹線道路との有機的な連携を図り、安全性、信頼性の高い道路ネットワークの構築を図ります。
- 各道路における必要性や優先度を見極めながら、狭あい箇所の改善や歩行者空間の確保を推進します。

- 地域拠点周辺と十日町駅や市街地の高校、病院等への運行体制の充実など、利便性の高い公共交通の確保を図ります。また、中山間地域に暮らす人々の通院・買い物等の日常生活を支えるため、地域拠点周辺と中山間地域を結ぶ生活交通の維持・利便性向上を図ります。
- 日常生活に必要な商業施設の維持を図ります。
- 子育て支援のための施設や教育文化施設の維持・充実を図ります。
- 日常生活に必要な医療・福祉施設の維持・充実を図ります。
- 中山間地域における合併処理浄化槽の施設整備を推進します。
- 「生活用水確保対策事業補助金要綱」等に基づき、中山間地域の水道未普及地域における生活用水の確保を促進します。

③ 防災の方針

- 近年多発する自然災害や原子力災害に備え、防災体制の一層の連携強化を進めます。
- 雪崩防止施設の設置や段切り工事等を推進し、雪崩危険箇所の早期解消に努めます。
- 自然環境の保全に配慮しながら、森林整備や河川整備、治山・治水施設の整備など、総合的な対策を推進し、水害や土砂災害の防止に努めます。
- 危険区域における地すべり防止対策、急傾斜地崩壊防止対策および土石流災害防止対策を計画的に進め、災害の防止に努めます。
- 住民と行政が協力しながら、地震や豪雨などの災害時における備えなどの対策を計画的に進めます。
- 地域住民の防災意識を高揚し、防災組織体制の強化を図るとともに、災害時における高齢者世帯や障がい者などの災害弱者への対応に備えた取組を推進します。

④ 自然環境保全・都市環境形成の方針

- 地域住民による環境美化活動などを推進し、優良農地や集落周辺の良好な自然環境の保全に努めます。
- ブナやコナラ等の広葉樹が広がる良好な森林環境を保全するとともに、針葉樹の適切な管理に努めます。
- 豊富な地域資源を生かし、都市環境に配慮した再生可能エネルギーの活用を推進します。

⑤ 克雪・利雪・親雪の方針

- 除雪車のオペレーターの人材確保と育成などに努め、除雪体制の維持を図ります。

- 中山間地域の道路については、危険性等を踏まえた優先度を考慮しながら、幅員の拡大や急こう配、急カーブ、通行止めの解消等の整備を促進し、安全な除雪作業と作業効率の向上を図ります。
- 集落安心づくり事業や冬期集落安全・安心確保対策事業を活用し、住民が主体となった共助による克雪体制の支援を図ります。また、克雪住まいづくり支援事業の活用促進を図り、冬期間でも安心して暮らせる居住環境改善に努めます。

⑥ 都市景観形成・文化財保全の方針

- 「つなぐ棚田遺産」に認定された星峠の棚田、蒲生の棚田、儀明の棚田など、地域内に点在する棚田群について、耕作放棄地の防止に努め、良好な棚田景観を保全・育成します。
- 「十日町市文化財保存活用地域計画」に基づき、国指定重要文化財の「松茸神社本殿」や「古道松之山街道」などの地域の文化財の保存と管理の徹底に努めます。
- 大地の芸術祭においては、拠点施設である「農舞台」や「奴奈川キャンパス」等を中心に、通年誘客や新たな活用策に取り組みます。

⑦ 地域コミュニティ活性化の方針

- 「まつだい棚田バンク」をはじめとした体験農業や観光などから関係人口の拡大を推進し、それらをきっかけとした二地域居住や移住への誘導を図ることで、地域活性化に取り組みます。
- 早稲田大学や世田谷区等との交流活動を推進する中で、地域の魅力向上や新たな地域コミュニティの形成を図ります。
- 「松代ほくほく通り」においては、古民家再生の特色ある街並みや景観を生かすとともに、地域の祭りや交流イベントを行い、交流人口の創出を図ります。
- 各地区のコミュニティ活動の拠点となる集会所などの整備・改修を支援します。
- 地域の祭り、行事、伝統文化の伝承を通じて世代間の交流を推進し、コミュニティの維持・活性化を図ります。



竹所シェアハウス



松代観音祭（松代ほくほく通り）

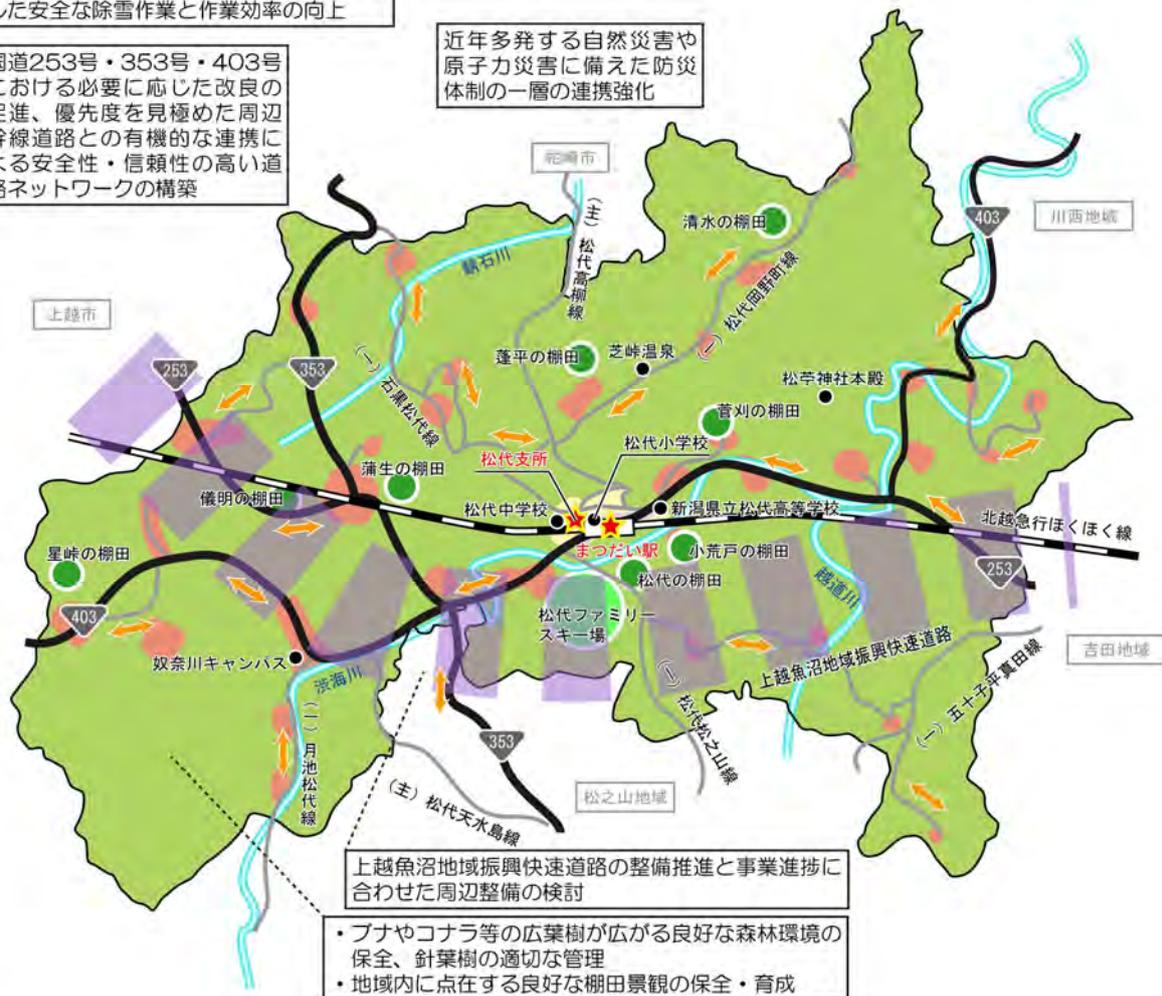
地域づくりの方針図

利便性の高い公共交通の確保、地域拠点周辺と中山間地域を結ぶ生活交通の維持・利便性向上

中山間地域の道路における優先度を考慮した安全な除雪作業と作業効率の向上

国道253号・353号・403号における必要に応じた改良の促進、優先度を見極めた周辺幹線道路との有機的な連携による安全性・信頼性の高い道路ネットワークの構築

近年多発する自然災害や原子力災害に備えた防災体制の一層の連携強化



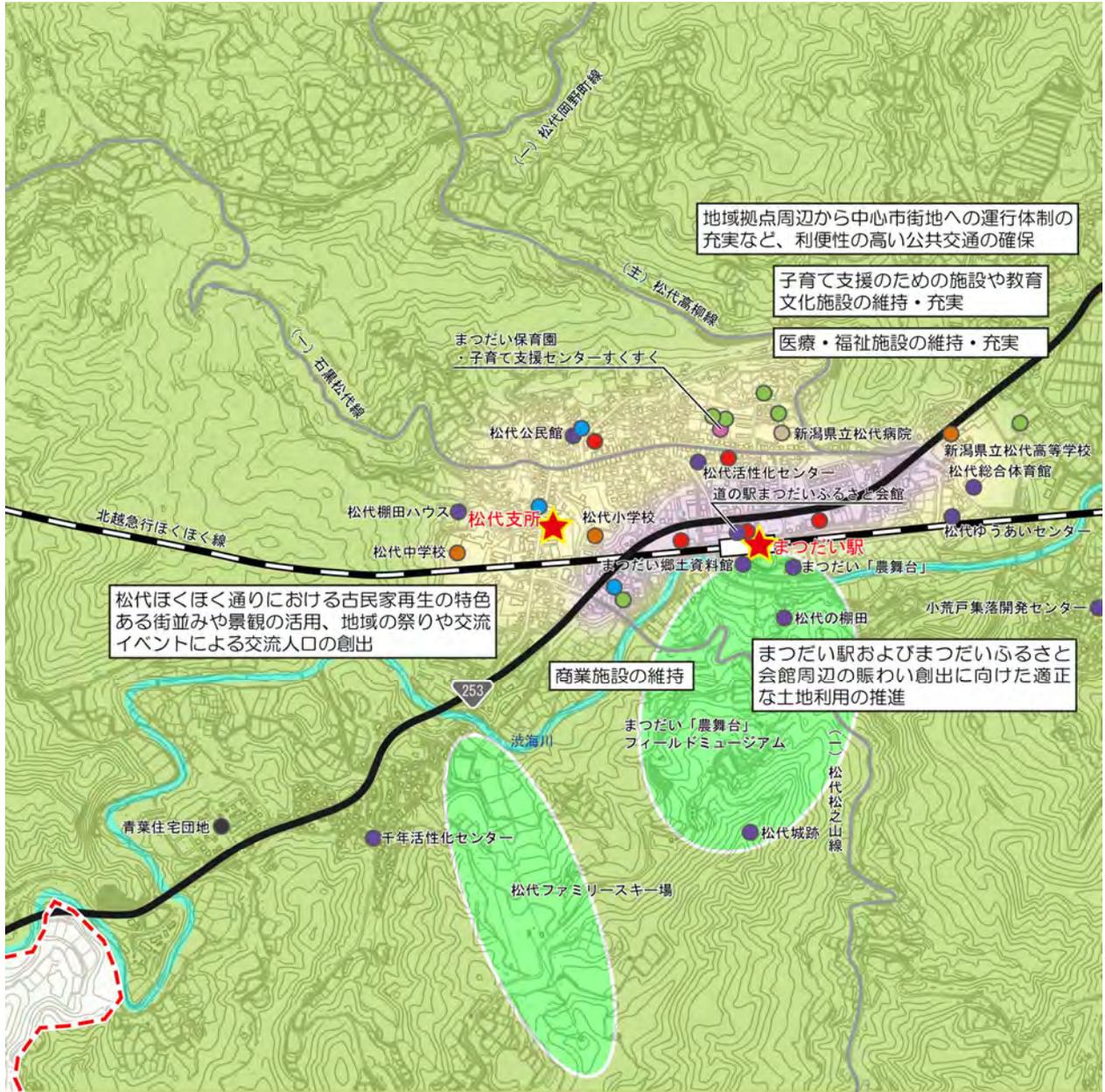
上越魚沼地域振興快速道路の整備推進と事業進捗に合わせた周辺整備の検討

- ・フナやコナラ等の広葉樹が広がる良好な森林環境の保全、針葉樹の適切な管理
- ・地域内に点在する良好な棚田景観の保全・育成

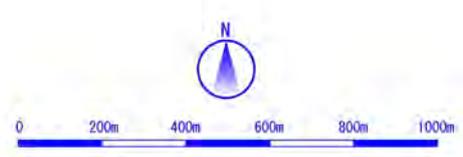
凡例	
地域住宅地エリア	田園地域
地域商業・サービスエリア	中山間地域
交流エリア	河川
集落（中山間地域）	公共交通ネットワーク
★ 拠点施設	幹線道路
	その他の道路
	鉄道
	地域界



地域拠点づくりの方針図



- 凡例
- ★ 拠点施設
 - 商業施設
 - 医療施設
 - 子育て支援施設
 - 教育施設
 - 福祉施設
 - 金融機関
 - 交流施設
 - その他施設
 - 地域住宅地エリア
 - 地域商業・サービスエリア
 - 中山間地域
 - 交流エリア
 - 河川
 - 幹線道路
 - その他の道路
 - 鉄道
 - 地域界



(13) 松之山地域

1) 地域の現況と課題

① 概況

- 松之山地域は、市の西部に位置し、上越市、津南町、長野県に接しています。
- 起伏の多い丘陵地に位置し、面積の約9割が山林、原野等で占められ、農業を基幹産業としています。
- 地域内を国道 353 号、405 号が通過しており、松之山支所のある地域が中心部となっています。
- 美人林など豊かなブナ林や山間地に広がる棚田の風景など、農山村としての原風景を有しているほか、日本三大薬湯の松之山温泉があります。



② 人口

- 松之山地域の総人口は、15年間で約38%（約1,010人）減少しており、市全域の人口減少率（-22%）を上回っています。
- 松之山地域の年齢3区分構成割合については、少子高齢化が進行しており、特に、老年人口の割合は、令和5年度で50%を超え、地域人口の半数以上が高齢者となっています。これは、市全域の老年人口の割合（41.7%）を上回っています。

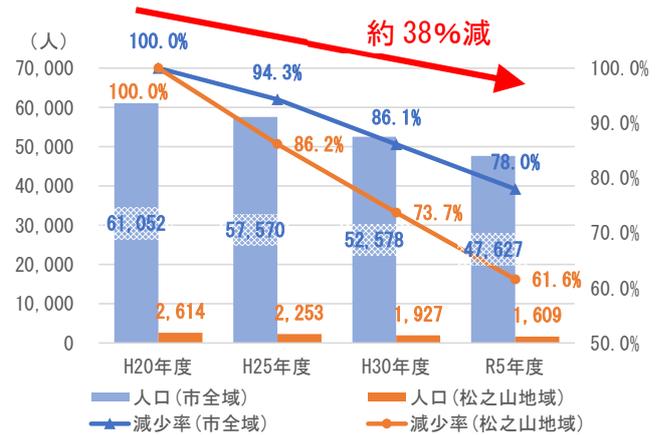
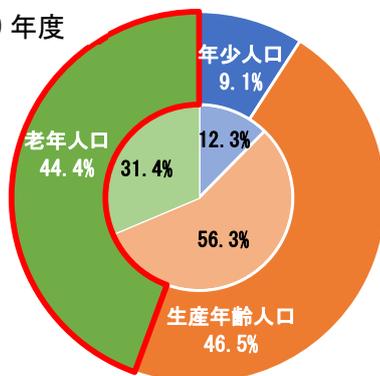
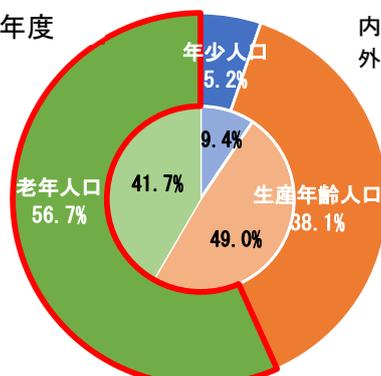


図 松之山地域の人口の推移

平成 20 年度



令和 5 年度



内側：市全域
外側：松之山地域

※年少人口：0～14歳、生産年齢人口：15～64歳、老年人口：65歳以上

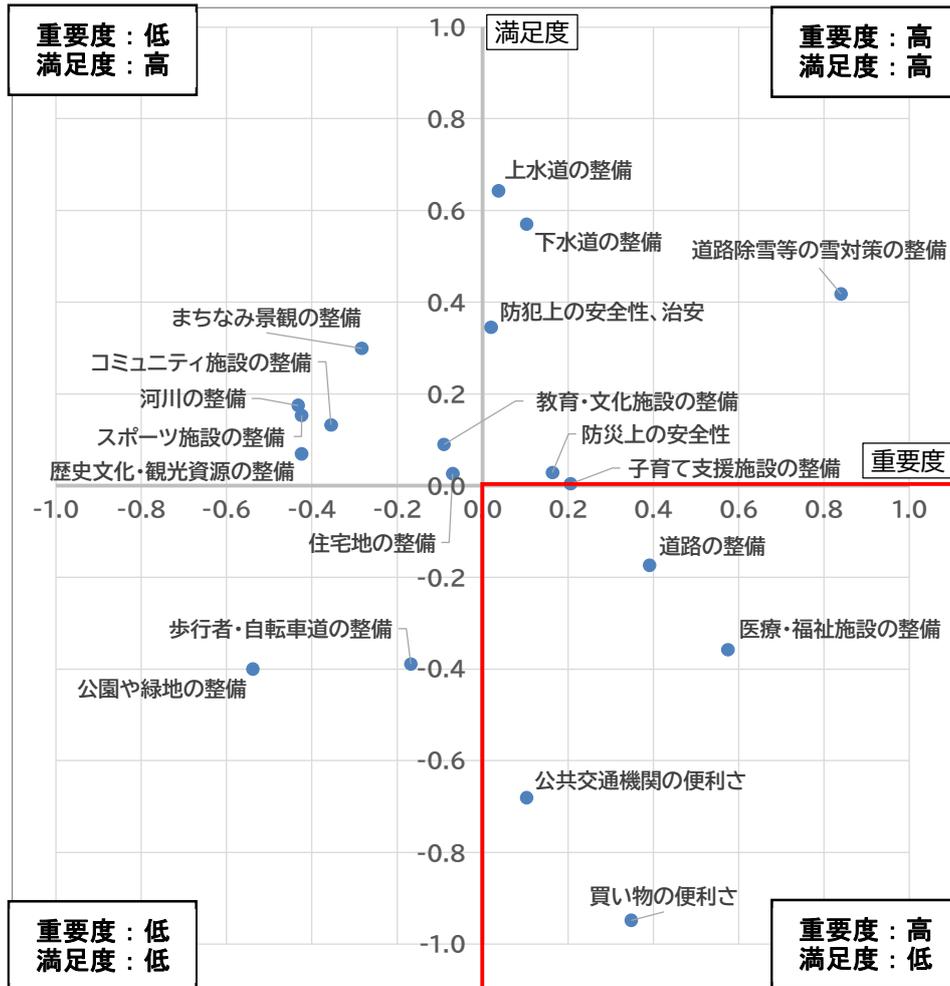
資料：十日町市

図 松之山地域の年齢3区分別人口割合の推移

③ 住民意向

【市民アンケートの意見概要】

- 令和4年に実施した市民アンケート調査結果では、松之山地域における地域拠点
は「松之山支所」周辺と回答された方が最も多くなっています。
- 生活環境における優先的に改善すべき事項(満足度が低く、重要度が高い)として、
「買い物の便利さ」「公共交通機関の便利さ」「医療・福祉施設の整備」「道路の整備」
の項目が該当しています。



【市民意見交換会の意見概要】

- 地域の活性化や地域コミュニティの維持のため、中心部に移住者のための集合住宅や商店、道の駅等の整備検討が必要
- 公共交通の利便性向上が必要
- 高齢者向け集合住宅の整備検討が必要
- 集落の維持に向けた対策が必要
- 高齢者が安心して住み続けられる地域づくりが必要

④ 総合計画における位置づけ

【振興方針（基本構想）】

美しい自然に包まれた創造とやすらぎの里松之山

自然や産業、文化などが連携した癒しとくつろぎの交流型観光地づくりを進めます。

【振興方策】

- 農業を中心とした地域の活性化
- 美しい原風景をかたちづくるブナ林や棚田の保全
- 松之山温泉を核とした観光地づくり
- 体験交流プログラムの充実
- 高齢者が安心して住める地域づくり
- 災害や事故に強い安全安心な地域づくり



松之山温泉



越後松之山「森の学校」キョロロ



大巖寺高原キャンプ場

⑤ 地域づくりの主要課題

1 土地利用に関する課題

- ・ 温泉資源の有効活用
- ・ 農地の保全
- ・ 農林業の振興による地域の活性化
- ・ 空地・空家対策の促進

2 都市施設整備に関する課題

- ・ 幹線道路の整備充実と周遊性を高める交通アクセスの強化
- ・ 安全な歩行者空間の確保
- ・ バスなど公共交通機関の利便性向上
- ・ 商業施設の維持
- ・ 医療・福祉施設の維持・充実

3 防災に関する課題

- ・ 地震・雪害・水害・土砂災害等の自然災害対策の推進
- ・ 避難や救助活動ができる防災組織体制の強化

4 自然環境保全・都市環境形成に関する課題

- ・ ブナ林や棚田など、地域の優れた自然環境の保全
- ・ 環境に配慮した再生可能エネルギーの取組

5 克雪・利雪・親雪に関する課題

- ・ 道路の除雪体制の充実強化
- ・ 冬期の安全な歩行空間の確保
- ・ 克雪対策の充実と安全で快適な冬期生活環境の確保

6 都市景観形成・文化財保全に関する課題

- ・ 松之山温泉における情緒ある温泉地景観の形成
- ・ 棚田の景観の保全
- ・ 地域の文化財の保存・活用

7 地域コミュニティ活性化に関する課題

- ・ 地域コミュニティの維持に向けた対策の強化

2) 地域の将来像

美しい自然に包まれた 山あいの創造とやすらぎのある里づくり

棚田、ブナ林など日本有数の美しい自然環境を守りながら、松之山温泉を核とした癒しとくつろぎを体感できる魅力ある保養環境と、地域の人々の安全・安心で快適な暮らしを維持できる地域づくりを推進します。

松之山地域における地域拠点：『松之山支所周辺』

3) 地域づくりの方針

① 土地利用の方針

- 松之山温泉周辺において、温泉資源を有効活用した施設や新たなニーズに対応した魅力づくりなど、温泉街の活性化を推進します。
- 越後妻有大蔵寺高原キャンプ場、越後妻有松之山温泉スノーパーク（松之山温泉スキー場）、「森の学校」キョロロなどについては、市民の憩いの場と観光拠点としての活用を図ります。
- 周辺の自然環境や営農環境と調和した、良好な集落環境の形成に向けた土地利用を図ります。
- 高品質・良食味米の生産基盤として、また、良好な景観資源として、農地を守る土地利用を推進するとともに、営農環境の向上を図ります。
- きのこ生産業など、地域の産業振興により地域活性化を図ります。
- 空地・空家を活用した移住定住促進を図ります。

② 都市施設整備の方針

- 国道 353 号、405 号において、幅員の拡大や線形改良等の整備を促進するとともに、周辺幹線道路との連携を図り、安全性、信頼性の高い道路ネットワークの構築を図ります。
- 各道路における必要性や優先度を見極めながら、狭あい箇所の改善や歩行者空間の確保を推進します。
- 地域拠点周辺とまつだい駅・十日町駅や市街地の高校、病院等への運行体制の充実など、利便性の高い公共交通の確保を図ります。また、中山間地域に暮らす人々の通院・買い物等の日常生活を支えるため、地域拠点周辺と中山間地域を結ぶ生活交通の維持・利便性向上を図ります。
- 日常生活に必要な商業施設の維持を図ります。

- 日常生活に必要な医療・福祉施設の維持・充実を図ります。
- 中山間地域における合併処理浄化槽の施設整備を推進します。
- 「生活用水確保対策事業補助金要綱」等に基づき、中山間地域の水道未普及地域における生活水の確保を促進します。

③ 防災の方針

- 雪崩防止施設の設置や段切り工事等を推進し、雪崩危険箇所の早期解消に努めます。
- 自然環境の保全に配慮しながら、森林整備や河川整備、治山・治水施設の整備など、総合的な対策を推進し、水害や土砂災害の防止に努めます。
- 危険区域における地すべり防止対策、急傾斜地崩壊防止対策および土石流災害防止対策を計画的に進め、災害の防止に努めます。
- 住民と行政が協力しながら、地震や豪雨などの災害時における備えなどの対策を計画的に進めます。
- 地域住民の防災意識を高揚し、防災組織体制の強化を図るとともに、災害時における高齢者世帯や障がい者などの災害弱者への対応に備えた取組を推進します。

④ 自然環境保全・都市環境形成の方針

- 美人林などの地域資源の価値を維持するため、自然景観の保全活動などの取組を応援する仕組みづくりを推進します。
- 地域住民による環境美化活動などを推進し、優良農地や集落周辺の良好な自然環境の保全に努めます。
- 地域が一体となってブナ・コナラ等の広葉樹や棚田を保全するため、森林環境の適切な維持・管理や休耕田の有効活用などを図ります。
- 直峰松之山大池県立自然公園の良好な自然環境の保全・魅力向上を図るため、保全活動の支援などを推進します。
- うるおい豊かな渋海川等の水辺環境の保全を図ります。
- 豊富な地域資源を生かし、都市環境に配慮した再生可能エネルギーの活用を推進します。

⑤ 克雪・利雪・親雪の方針

- 除雪車のオペレーターの人材確保と育成などに努め、除雪体制の維持を図ります。
- 中山間地域の道路については、危険性等を踏まえた優先度を考慮しながら、幅員の拡大や急こう配、急カーブ、通行止めの解消等の整備を促進し、安全な除雪作業と作業効率の向上を図ります。
- 集落安心づくり事業や冬期集落安全・安心確保対策事業を活用し、住民が主体となった共助による克雪体制の支援を図ります。また、克雪住まいづくり支援事業の活用促進を図り、冬期間でも安心して暮らせる居住環境改善に努めます。
- 必要に応じて高齢者冬季共同住宅の拡充を検討します。

⑥ 都市景観形成・文化財保全の方針

- 周辺の美しい自然環境等と調和した松之山温泉の情緒ある温泉地景観の形成を図ります。
- 「つなぐ棚田遺産」に認定された留守原の棚田、布川の棚田群、三桶の棚田など、地域内に点在する棚田について、耕作放棄の防止に努め、良好な棚田景観を保全育成します。
- 紅葉した山々や棚田の風景等が眺望できる宝溪谷の眺望スポットと眺望景観の保全に努めます。
- 「十日町市文化財保存活用地域計画」に基づき、市指定文化財の「旧村山家主屋・表門」（大棟山美術博物館）や「鏡が池」、「菅領塚」などの由緒ある史跡の保全と管理の徹底に努めます。
- 大地の芸術祭においては、拠点施設である「森の学校」キョロロ」や「最後の教室」等を中心に、通年誘客や新たな活用策に取り組みます。

⑦ 地域コミュニティ活性化の方針

- まつのやま学園の「雪里留学」の取組を推進し、さらなる地域活性化を推進します。
- 各地区のコミュニティ活動の拠点となる集会所などの整備・改修を支援します。
- 地域の祭り、行事、伝統文化の伝承を通じて世代間の交流を推進し、コミュニティの維持・活性化を図ります。



越後妻有松之山温泉スノーパークの
雪上キャンプ



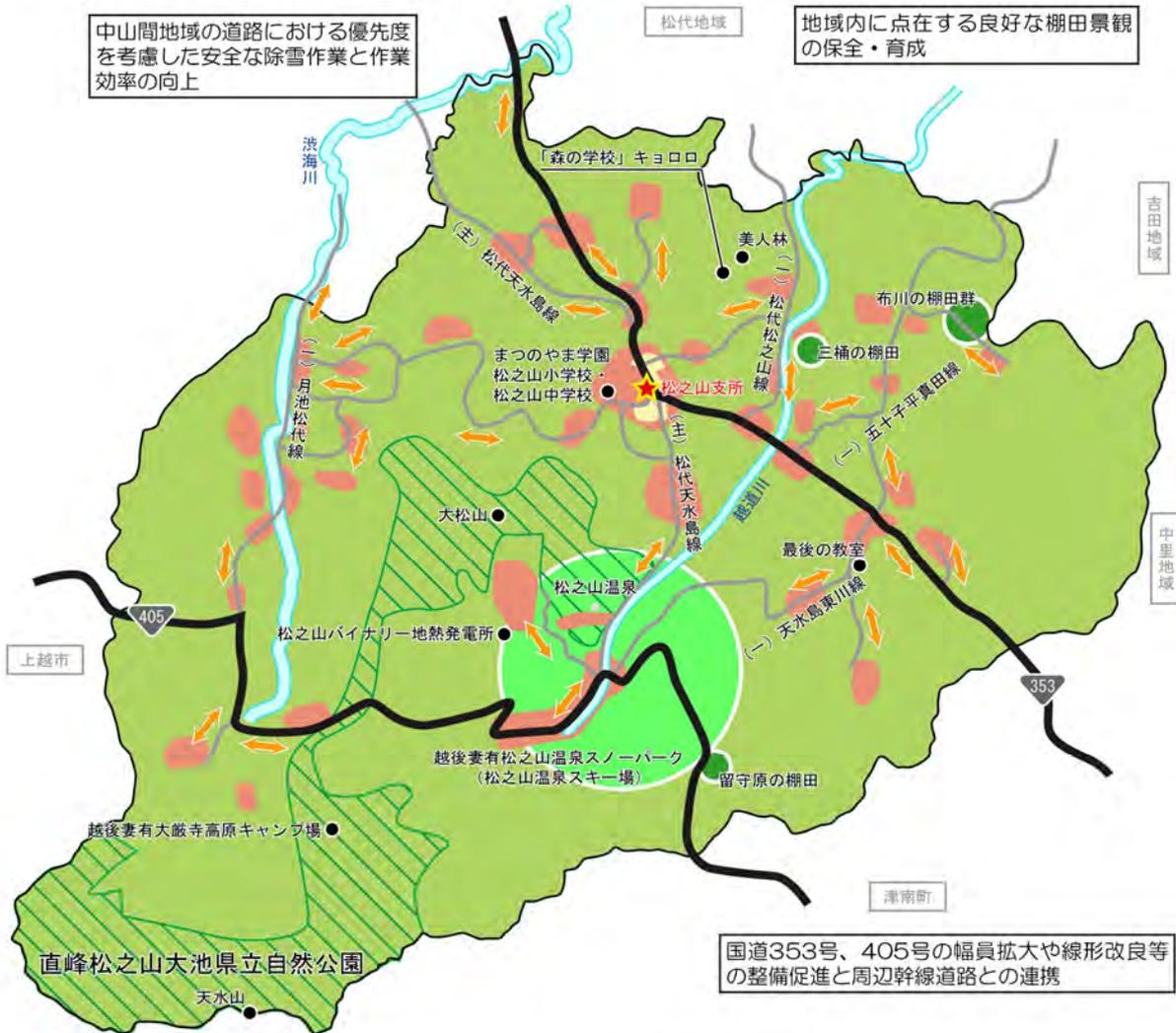
伝統的な小正月行事「婿なげ」

地域づくりの方針図

地域拠点周辺と中山間地域を結び
生活交通の維持・利便性向上

中山間地域の道路における優先度
を考慮した安全な除雪作業と作業
効率の向上

地域内に点在する良好な棚田景観
の保全・育成



国道353号、405号の幅員拡大や線形改良等
の整備促進と周辺幹線道路との連携

大蔵寺高原キャンプ場、越後妻有松之山温泉スノーパーク
(松之山温泉スキー場)、「森の学校」キョロロなどにお
ける市民の憩いの場と観光拠点としての活用

凡例	
地域住宅地エリア	田園地域
地域商業・サービスエリア	中山間地域
交流エリア	河川
集落(中山間地域)	公共交通ネットワーク
★ 拠点施設	幹線道路
	その他の道路
	鉄道
	国立公園・県立公園
	地域界

